

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

平成 23 年度～平成 27 年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」 研究成果報告書概要

1 学校法人名 東邦大学 2 大学名 東邦大学

3 研究組織名 慢性炎症疾患の先進医療技術センター

4 プロジェクト所在地 東京都大田区大森西五丁目 2 1 番 1 6 号

5 研究プロジェクト名 慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の
拠点形成

6 研究観点 研究拠点を形成する研究

7 研究代表者

研究代表者名	所属部局名	職名
赤坂 喜清	先端医科学研究センター	教授

8 プロジェクト参加研究者数 19 名

9 該当審査区分 理工・情報 生物・医歯 人文・社会

10 研究プロジェクトに参加する主な研究者

研究者名	所属・職名	プロジェクトでの研究課題	プロジェクトでの役割
赤坂 喜清 (代表者)	大学院医学研究科(先端医科学研究センター)・教授	慢性炎症性疾患における組織修復機構の解明	組織リモデリングを制御する新規分子の探索
近藤 元就	医学部医学科(免疫学講座)・教授	慢性炎症における T 細胞分化異常の解明	SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応
浜之上 誠	医学部医学科(生理学講座細胞生理学)・講師	神経再生を促進する脊髄修復機構の解明	p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進
杉山 篤	医学部医学科(薬理学講座)・教授	慢性炎症性疾患モデル開発	超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患の病態モデル開発

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

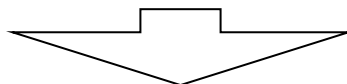
川合 真一	医学部医学科(内科学講座膠原病内科学分野)・教授	アディポカインネットワークによる慢性炎症機構の解明	慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与
小林 秀行	医学部医学科(泌尿器科学講座)・講師	慢性炎症性疾患モデルにおける再生医学による治療法創生	超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法開発

<研究者の変更状況(研究代表者を含む)>

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
骨髄前駆細胞を用いた難治性創傷皮膚炎の治療法開発	医学部医学科(形成外科学講座)・教授	丸山 優	難治性創傷皮膚炎の機序解明と皮膚修復促進法の創成

(変更の時期:平成 24 年 4 月 1 日)



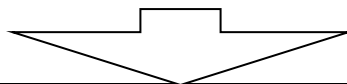
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
医学部医学科(形成外科学講座)・教授	医学部医学科(形成外科学講座)・教授	大西 清	難治性創傷皮膚炎における骨髄間葉系細胞を用いた血管新生療法開発

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
高血圧性心リモデリングの間質修復制御による心不全治療法開発	医学部医学科(内科学講座循環器内科学分野)・教授	山崎 純一	慢性心不全の重症化メカニズム解明と心機能再建法創成

(変更の時期:平成 24 年 7 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
医学部医学科(内科学講座循環器内科学分野)・教授	医学部医学科(内科学講座循環器内科学分野)・教授	池田 隆徳	慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御の解明

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

11 研究の概要(※ 項目全体を10枚以内で作成)

(1) 研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

目的・意義： 現在国民病と呼ばれるメタボリック症候群や慢性心不全に共通する「慢性炎症」は、間質線維化による組織リモデリングにより再生能を欠く実質細胞が脱落し不可逆な機能障害が惹起される。これまでリモデリング抑制による慢性炎症性疾患の進展予防法と不可逆的な臓器障害を再生する機能再建法は開発されてない。本研究では探索された間質線維化制御分子を用いて組織リモデリングを人為的に抑制し、さらに iPS 由来細胞移植により臓器再生を促進する。最終的には組織リモデリング抑制による慢性炎症疾患の進展予防と iPS 細胞を用いた再生医学から機能再建を推進し、次世代の治療法創生の研究基盤を確立する。

研究計画： 実施目標を①「慢性炎症機構の解明」②「組織リモデリングの分子機序の解明」③「組織修復の分子制御による治療法創成」④「臓器再生による治療法創成」と定め、横断的な基礎的・臨床的研究を実施してきた。平成 25 年度末までに各研究グループが慢性発症機構を分子レベルで解析し、平成 26 年度から研究グループ間の相互討議により有効分子による間質線維化抑制によるリモデリング制御で検証する。同時に iPS 由来細胞移植による組織再生から機能再建も検討し、平成 27 年度には組織リモデリング抑制による進展予防と組織再生による機能再建を促進する先進的医療法創成の研究基盤を確立する。

(2) 研究組織

東邦大学医学部総合研究部研究基盤センターを中核にして、従来の垣根を越えた「慢性炎症性疾患の先進医療技術開発センター」を組織した。本事業では「慢性炎症における組織リモデリングの制御」と「幹細胞移植による組織再生と機能再建」を基盤研究と定め、事業目標達成に直結する下記の特化した役割分担からなる研究組織(8 班)を構築した。

1. 慢性炎症における組織リモデリングの制御

- 1) SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応 (近藤班)
- 2) 慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与 (川合班)
- 3) 組織リモデリングを制御する新規分子の探索 (赤坂班)
- 4) p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進 (浜之上班)

2. 幹細胞移植による組織再生と機能再建

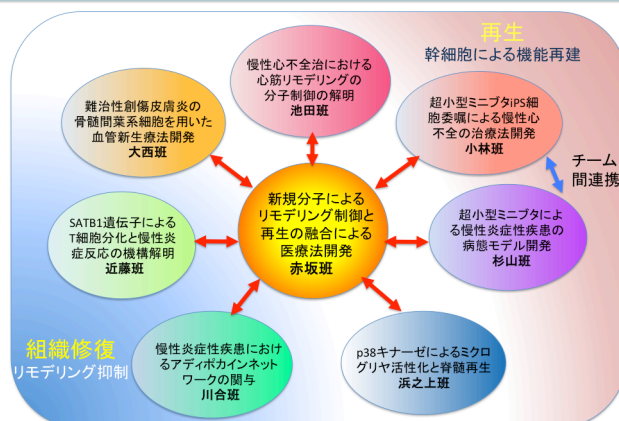
- 5) 難治性創傷皮膚炎の骨髄間葉系細胞を用いた血管新生療法 (大西班)
- 6) 慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御の解明 (池田班)
- 7) 超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患の病態モデル開発 (杉山班)
- 8) 超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創成 (小林班)

本プロジェクトでは上記の研究者と国際的な最先端研究を目指す 30~40 歳代の若い研究者から構成され、総数 40 名以上の研究者が参加している。うち大学院生・PD と RA は総数 20 名以上が常時研究に参加し、戦略的に長けた時代が求めている若手研究者育成に励んでいる。研究代表者(赤坂喜清)の役割は先端医科学研究センターの組織修復・病態制御学分野の教授であり日本創傷治癒学会理事として内外の先進的知見を収集し、各班の結果を有機的に結合させ、組織修復学と再生医学の効率的な融合から事業目標達成に専心してきた。年 1 回事業報告会を公開で開催し各グループの進捗状況の詳細な点検を、また事業検討委員会(赤坂喜清、高松 研医学部長、川合眞一 副医学部長、事務・会計担当の藤居英明)を開催し、討議事項をグループ責任者に電子メールで配信し各グループの研究計画や共同研究の調整に励んでいる。チーム間連携としては小林班と杉山班との共同による超小型ミニブタで作成された慢性心不全病態モデルへの iPS 細胞由来心筋細胞の移植実験があげられる。公開学術講演会(http://www.med.toho-u.ac.jp/event/e2013_index/info20130729.html)を開催し、学

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

外研究者との相互討論から多面的知見の集約に努め、研究の進展方向を常に検討してきた。グループ責任者はグループ間の共同研究の円滑な遂行に責任を負い、解析結果の情報伝達から新知見のグループ間共有に努め、研究の進展方向の共有化を図ってきた。研究支援体制として研究基盤センターや実験動物センターを中核とする研究施設や研究装置設備を常時フル稼働させて研究成果の着実な蓄積を図ってきた。設定された共同研究機関はないが、University of Pittsburgh Medical Center (玉眞健一博士、臨床病理学)と国立生育医療研究センター(梅澤明弘博士、再生医療センター)との活発な意見交換と討議から研究方向性と多面的な知見収集の解析に励んでいる。

慢性炎症の新規医療法：組織修復の制御と再生の融合



(3) 研究施設・設備等

研究施設：研究基盤センター：450 m²、利用者数：100 人/週

実験動物センター：1,510 m²、利用者数：200 人/週

RI室：272 m²、利用者数：5 人/週、 中型動物実験区域：66 m²、利用者数：40 人/週

総合研究部実験センター：613.88 m²、利用者数：200 人/週

生理学講座(細胞生理学)：272 m²、利用者数：34 人/週、薬理学講座：272 m²、利用者数：28 人/週、免疫学講座：272 m²、利用者数：28 人/週 病理学講座：586.26 m²、利用者数：45 人/週

研究装置・設備：FACSCanto II フローサイトメーター、利用時間：20 時間/週

FACSAria TMIIIセルソーター、利用時間：20 時間/週

自動細胞分析分離システム、利用時間：25 時間/週

AlRsi Ti-E 共焦点レーザー顕微鏡、利用時間：30 時間/週

InspeXio SMX-100CT マイクロフォーカス X 線 CT 解析装置：30 時間/週

7500 Fast Real-time PCR システム、利用時間：30 時間/週

(4) 研究成果の概要 ※下記、13及び14に対応する成果には下線及び*を付すこと。

《研究成果》

[目標] 1. 「慢性炎症機構の解明」について

- 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応」 SATB1 ノックアウトマウスを用いて T 細胞分化異常による ポジティブセレクション変異 を見出した^{*1 **1~5}。これにより SATB1 遺伝子制御による新たな T 細胞の分化機構を示唆した。また Effector T 細胞分化異常による慢性炎症性の 組織傷害 の機序を示唆した^{*2,3 **6}。 <達成度 60%>
- 「慢性炎症におけるアディポカインネットワークの関与」 ヒト滑膜細胞では IL-8 等

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

の炎症性サイトカインによりアディポネクチン誘導が確認された^{*1-6} ^{**1-21}。慢性炎症の増悪機構におけるケモカイン産生刺激によるレプチンとケメリンの関与を示唆した^{*7} ^{**22,23}。<達成度 60%>

[目標] 2. 「組織リモデリングの分子機序の解明」について

- 1) 「侵襲による組織リモデリングの分子機構」 環境内非病原真菌による肺高血圧症動物モデルで Dishevelled segment polarity protein 2 (**DVL-2**)遺伝子変異を明らかにし^{*1,2}、肺組織リモデリングにおける **WNT pathway** の関与を示唆した^{**1,2}。<達成度 60%>
- 2) 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」 Basic fibroblast growth factor (bFGF) 刺激による癒痕抑制期の線維芽細胞に発現する microRNA (miRNA)を網羅的解析した^{*1, **1,2}。選定 **miRNA146b-5p** は Platelet derived growth factor receptor alpha (**PDGFR α**) の蛋白発現を抑制し、PDGF 発現低下による組織リモデリング抑制の可能性が示された^{**1-10}。<達成度 70%>

[目標] 3. 「組織修復の分子制御による治療法創成」について

- 1) 「**p38** キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進」 p38 タンパク質 (p38) による脊髄ミクログリア活性化により線維性癒痕の除去が促進され、神経再生に有効な環境形成に有用であることが判明した^{*1,2} ^{**1-12}。従来 of 幹細胞移植による神経再生とは異なる脊髄損傷回復法がはじめて示された。<達成度 80%>
- 2) 「難治性創傷皮膚炎の骨髄間葉系細胞を用いた血管新生療法」 bFGF で誘導された骨髄間葉系前駆細胞 (Fibrocyte) に直接的な血管新生作用を見出した^{*1-3} ^{**1-9}。bFGF を用いた人為的制御から新規の血管新生療法開発の可能性が示された。<達成度 70%>
- 3) 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」 bFGF 投与により高血圧性心不全ラットの心筋リモデリングが抑制可能であり TIMP-1 発現増加の関与が示された。よって bFGF 投与は心筋リモデリング抑制効果により慢性心不全の進行予防に有用であることが判明した^{*1} ^{**1-6}。<達成度 60%>

[目標] 4. 「臓器再生による治療法創成」について

- 1) [超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発] 超小型ミニブタを用いた病態モデル開発に着手し、完全房室ブロックと心筋梗塞による慢性心不全病態モデルを開発し、薬理学・外科的な治療法の有効性を個体レベルで評価できた^{*1-5} ^{**1-24}。<達成度 70%>
- 2) [超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創成] 慢性心不全の再生医療法開発の予備的実験として、超小型ミニブタ iPS 細胞を樹立し^{*1-4} ^{**1-7} 心筋細胞への分化誘導を試みたが、移植による慢性心不全改善に有用な心筋細胞は誘導できなかった。<達成度 50%>

《優れた成果が上がった点》

- 1) 「**SATB1** 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応」 SATB1 遺伝子による免疫寛容の成立や自己反応性 T 細胞を介したネガティブセレクションのメカニズムの一部が初めて明らかにされた^{*1-3} ^{**1-6}。慢性炎症性の臓器傷害における SATB1 遺伝子による T 細胞分化異常を介した Effector T 細胞の関与を示唆した。
- 2) 「慢性炎症におけるアディポカインネットワークの関与」 ヒト滑膜細胞におけるケメリンによる MMP-3 産生増加やレプチンによる IL-6 産生増加を認め^{*1-7} ^{**1-23}、慢性炎症増悪因子としてのアディポネクチンの関与を初めて示した。
- 3) 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」 探索された **miRNA146b-5p** は **PDGFR α** 発現抑制から過剰な組織修復反応を抑制し組織リモデリング抑制に効果的と考えられた^{**1,8-12}。これにより慢性炎症性疾患の予防に siRNA とは異なる

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

microRNA の有用性が示された。

- 4) 「**p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進**」 p38 による脊髄内ミクログリアの細胞外活性化を証明した^{*1,2 **1~10}。慢性脊髄損傷マウス髄腔内の p38 タンパク質連続投与から**瘢痕減少**が確認され、この環境活性化は神経再生を促進し慢性脊髄損傷の回復に有用であることを実証した。
- 5) 「**難治性創傷皮膚炎の骨髄前駆細胞を用いた血管新生療法**」 Fibrocyte の新生血管における**直接的参画**を初めて明らかにした^{*1~3 **1~7}。bFGF 誘導性の Fibrocyte の人為的制御により難治性創傷皮膚炎の**血行改善**への有効性が示された。
- 6) 「**慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御**」 bFGF による**心筋リモデリング抑制効果**を臓器レベルで実証し^{*1 **1~6}、bFGF 単独投与により慢性心不全の**進行予防**の可能性が示唆された。
- 7) 「**超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発**」日本国内独自に開発された超小型ミニブタの**実験施設**を立ち上げ、超小型ミニブタを用いた**慢性心不全の病態モデル**開発に成功した^{*1~5 **1~23}。
- 8) 「**超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創生**」超小型ミニブタ線維芽細胞にセンダイウイルスベクターで Oct4, Sox2, Klf4, C-myc を導入し iPS 細胞を樹立し、**in vitro** で三胚葉分化が確認できた^{*1~4 **1~7}。

《課題となった点》

1. 「**SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症機構**」胎児器官培養系を用いて胸腺内 positive selection を解析するため、SATB1 欠損マウスと OVA 特異的 TCR 遺伝子改変マウスの交配実験を施行した。しかし遺伝子改変マウスの維持が困難であることが判明し、別方向からのアプローチが必要となった。
2. 「**慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与**」アディポカイン分子相互作用によるアディポカイン産生の制御機構が検出できず、慢性炎症増悪における従来の炎症性サイトカインやケモカインの関与を新たに解析する必要性が生じた。
3. 「**組織リモデリングを制御する新規分子の探索**」miRNA146b-5p による PDGFR α 蛋白の標的メカニズムや **in vivo** 組織リモデリングの抑制効果を検証する必要性が生じた。
4. 「**p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進**」細胞外投与 p38 蛋白質によるミクログリア活性化機構のシグナル伝達経路を解析する必要性が生じた。
5. 「**難治性創傷皮膚炎の骨髄間葉系細胞を用いた血管新生療法**」新生血管形成における Fibrocyte の分化様式、成熟した血管形成に関与する Fibrocyte の**発現様式**の解析が必要となった。
6. 「**慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御**」線維化を促進する Transforming growth factor (TGF)- β や下位シグナル伝達分子 Akt, ERK1/2, JNK(c-Jun N-terminal kinase)の関与を検討し、心筋リモデリング抑制の**シグナル伝達経路**を解析する必要性が生じた。
7. 「**超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発**」超小型ミニブタでは完全房室ブロックにより慢性心不全誘導は不十分であり前下降枝結紮術の有効性が判明した。この病態モデル動物を用いて薬物・外科的治療効果が超小型ミニブタで判定可能となった。
8. 「**超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発**」ヒト Oct4, Sox2, Klf4, C-myc 遺伝子導入による超小型ミニブタ iPS 細胞は多分化能に乏しく、多分化能の誘導にはブタ Oct4, Sox2, Klf4, C-myc の遺伝子導入が必須と考えられた。

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

《自己評価の実施結果と対応状況》

- ① 所属教室の研究報告会を3ヶ月ごとに実施し、研究の進捗状況から問題点を検討し、より効果的・効率的な研究計画の策定・改善を続けた。
 - ② 事業報告会を毎年度末に実施し、重複研究整理による軌道修正や共同研究の立案から次年度へ向けた研究計画を策定し、研究の最適化を図った。各研究班の自己評価による具体的な改善例は以下の通りである。
1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症機構」遺伝子改変マウス交配実験では予想と異なる結果が得られたので、当初の計画とは異なる遺伝子改変マウスを用いた交配実験を実施している。
 2. 「慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与」慢性炎症におけるレジスチンの役割が判明したので、慢性炎症の増悪機構を滑膜細胞で追試している。
 3. 「組織リモデリング抑制の分子探索」当初予想した標的蛋白 Smad4 は反応特異性を欠くので、標的蛋白の検索を PDGFR α に変更し miRNA146b-5p との相互関係を遺伝子導入実験から検討している。

《外部（第三者）評価の実施結果と対応状況》

①事業報告会で外部評価委員 [本橋 新一郎教授（千葉大学大学院医学研究院免疫発生）、斧 康雄教授（帝京大学医学部微生物学）]と内部評価委員 [西脇祐司教授（東邦大学医学部社会医学/衛生学）、瓜田純久教授（東邦大学医療センター大森病院総合診療）]の評価を受けた。この評価をもとに②プロジェクト運営委員会（赤坂喜清、高松 研 医学部長、川合眞一 副医学部長、事務・会計担当の藤居英明）は 1. 評価者 4 人の評価、2. 論文 Impact factor、3. 研究の進捗状況・発展性を総合的に評価し費用対効果を査定し、各グループの維持・研究資金配分等を決定した。

《研究期間終了後の展望》

1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症機構」
 - ① SATB1 標的遺伝子の解析から同遺伝子による免疫寛容の発現機構を検討する② 同遺伝子群異常による免疫寛容破綻と慢性炎症発生の相互関係について遺伝子改変マウスを用いて細胞・臓器レベルで検討する。
2. 「慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与」
 - ① レジスチン作用機序を解析し、従来の結果との総括からアディポカインネットワーク全体像を解明する② 慢性炎症性疾患におけるアディポカインの関与を明確にする。
3. 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」
 - ①皮膚への miRNA146b-5p Inhibitor 遺伝子導入実験から miRNA146b-5p の組織リモデリング効果を *in vivo* で検証する② miRNA146b-5p の PDGFR α 発現抑制と組織リモデリング抑制との相互関係を臓器レベルで検討する。
4. 「p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進」

細胞外 p38 タンパク質の細胞内シグナル伝達経路や神経細胞の再生能を検討し、慢性脊髄損傷における脊髄再生の促進効果を *in vivo* で検証する。
5. 「難治性創傷皮膚炎の骨髄間葉系細胞を用いた血管新生療法」

bFGF 刺激による CD34+/pro-collagen I+ fibrocyte の *Ex vivo* 増幅を試みる②増幅 CD34+/pro-collagen I+ fibrocyte の移植実験により修復組織の血管新生能を *in vivo* で検証する。
6. 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」
 - ①網羅的解析から心筋リモデリング抑制効果が予想される miRNA を選定する②この miRNA の遺伝子導入実験から標的蛋白の候補を選定する。

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

7. 「超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創生」

①ブタ Oct4, Sox2, Klf4, C-myc 遺伝子導入実験から三胚葉に分化する超小型ミニブタ iPS 細胞を作成する②iPS 細胞から移植可能な心筋細胞を分化誘導法する③この心筋細胞を超小型ミニブタ慢性心不全心に移植し慢性心不全の治療効果を検証する。

《研究成果の副次的効果》

1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症機構」 T 細胞分化における SATB1 遺伝子の解析から T 細胞の分化機構の新たな知見が期待できる。
2. 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」 修復組織の増殖を促進する PDGF が bFGF 誘導性 miRNA146b-5p で抑制されることが判明すれば、経時的に炎症期・増殖期・癒痕期と発現消退する修復機構の進展メカニズムが解明できる。
3. 「p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進」 p38MAP キナーゼタンパク質がミクログリア以外の神経幹細胞に対して遊走能を促進することを見出した。また神経幹細胞の遊走能促進因子として糖鎖転移酵素が効果的であることも見出し、これら新規作用による再生医療への展開が期待できる。
4. 「難治性創傷皮膚炎の骨髄前駆細胞を用いた血管新生療法」 従来 of 血管内皮細胞前駆細胞による血管新生メカニズムとは異なる新規血管新生メカニズムが発見され、次世代型の血管新生療法開発が展開できる。
5. 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」 心筋リモデリング抑制性 miRNA の探索は慢性心不全の病期決定を目的としたバイオマーカー開発が期待できる。
6. 「超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発」 特許出願 (特 2013-019723) を行い、同時に超小型ミニブタの新規知見が得られた。

12 キーワード(当該研究内容をよく表していると思われるものを8項目以内で記載してください。)

- (1) 慢性炎症 (2) 組織リモデリング (3) 間質線維化
 (4) 再生医学 (5) iPS 細胞 (6) 骨髄間葉系前駆細胞
 (7) 慢性心不全 (8) 超小型ミニブタ

13 研究発表の状況(研究論文等公表状況。印刷中も含む。)

<雑誌論文>

上記、11(4)に記載した研究成果に対応するものには * を付した。

1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応」

1.

著者名	論文標題			
Tsuchiya Y, Naito T, Tenno M, Maruyama M, Koseki H, Taniuchi I, Naoe Y	ThPOK represses CXXC5, which induces methylation of histone H3 lysine 9 in Cd40lg promoter by association with SUV39H1: implications in repression of CD40L expression in CD8+ cytotoxic T cells.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Leukocyte Biology	有	1(1)	2016年	1-12

2.

著者名	論文標題
Kondo M, Tanaka Y, Kuwabara T, Naito	*1. SATB1 Plays a Critical Role in Establishment of Immune

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

T, Kohwi-Shigematsu T, Watanabe A	Tolerance.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Immunology	有	196 (2)	2016 年	563-572

3.

著者名	論文標題			
Toyota H, Sudo K, Kojima K, Yanase N, Nagao T, Takahashi RH, Iobe H, Kuwabara T, Kakiuchi T, Mizuguchi J	Thy28 protects against anti-CD3-mediated thymic cell death in vivo.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Apoptosis	有	20 (4)	2015 年	444-454

4.

著者名	論文標題			
Guo X, Tanaka Y, Kondo M	Thymic precursors of TCR $\alpha \beta$ (+)CD8 $\alpha \alpha$ (+) intraepithelial lymphocytes are negative for CD103.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Immunology letters	有	163 (1)	2015 年	40-48

5.

著者名	論文標題			
Okumura S, Fujita T, Cai W, Jin M, Namekata I, Mototani Y, Jin H, Ohnuki Y, Tsuneoka Y, Kurotani R, Suita K, Kawakami Y, Hamaguchi S, Abe T, Kiyonari H, Tsunematsu T, Bai Y, Suzuki S, Hidaka Y, Umemura M, Ichikawa Y, Yokoyama U, Sato M, Ishikawa F, Izumi-Nakaseko H, Adachi-Akahane S, Tanaka H, Ishikawa Y	Epac1-dependent phospholamban phosphorylation mediates the cardiac response to stresses.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Clinical Investigation	有	124 (6)	2014 年	2785-2801

6.

著者名	論文標題			
Kuwabara T, Imajoh-Ohm S	T Augmentation of Lipopolysaccharide (lps) Receptor Expression by Interferon gamma correlates with susceptibility to lps-induced apoptosis in human monoblastic cell line U937.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Immunology and Immunotechniques	有	1 (1)	2014 年	1-9

7.

著者名	論文標題			
Mishima Y, Wang C, Miyagi S, Saraya A, Hosokawa H, Mochizuki-Kashio M, Nakajima-Takagi Y, Koide S, Negishi M, Sashida G, Naito T, Ishikura T, Onodera A, Nakayama T, Tenen DG, Yamaguchi N, Koseki H, Taniuchi I, Iwama A	Histone acetylation mediated by Brd1 is crucial for Cd8 gene activation during early thymocyte development.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Nature communications	有	5 (6)	2014 年	5872

8.

著者名	論文標題			
-----	------	--	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Naito T	Epigenetics in T-cell development and function.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Advances in Neuroimmune Biology	有	5	2014 年	161-170

9.

著者名	論文標題			
Tanaka H, Naito T, Muroi S, Seo W, Risa Chihara R, Chizuko Miyamoto C, Kominami R, Taniuchi I	Epigenetic Thpok silencing limits the time window to choose CD4+ helper-lineage fate in the thymus			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The EMBO Journal	有	32	2013 年	1183 -1194

10.

著者名	論文標題			
Li J, Koike J, Kugoh H, Arita M, Ohhira T, Kikuchi Y, Funahashi K, Takamatsu K, Boland CR, Koi M, Hemmi H	Down-regulation of MutS homolog 3 by hypoxia in human colorectal cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Biochimica et biophysica acta	有	1823	2012 年	889 -899

11.

著者名	論文標題			
Fujita K, Akasaka Y, Kuwabara T, Wang B, Tanaka Y, Kamata I, Yokoo T, Kinoshita T, Akishima-Fukasawa Y, Ishikawa Y, Kondo M, Ishii T	*2. Pathogenesis of lupus-like nephritis through autoimmune antibody produced by CD180-negative B lymphocytes in NZBWF1 mouse.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Immunology Letters	有	144	2012 年	6

12.

著者名	論文標題			
Kuwabara T, Tanaka Y, Ishikawa F, Kondo M, Sekiya H, Kakiuchi T	*3. CCR7 ligands up-regulate IL-23 through PI3-kinase and NF- κ B pathway in dendritic cells.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
JOURNAL OF LEUKOCYTE BIOLOGY	有	92	2012 年	309-318

13.

著者名	論文標題			
Chung E, Hsu C.-L, Kondo M	Constitutive MAP kinase activation in hematopoietic stem cells induces a myeloproliferative disorder.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
PLoS One	有	6	2011 年	e28350

2. 「慢性炎症におけるアディポカインネットワークの関与」

1.

著者名	論文標題			
Sasaki S, Asahara D, Kaneko K, Komatsumoto S	Successful Combination Therapy with Rituximab and Glucocorticoids for Autoimmune Optic Neuropathy.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
American Journal of Case Reports	有	9(16)	2015 年	357-360

2.

著者名	論文標題			
Fujimoto M, Serada S, Suzuki K, Nishikawa A, Ogata A, Nanki T,	*1. Leucine-rich α 2-glycoprotein as a potential biomarker for joint inflammation during anti-interleukin-6 biologic therapy in rheumatoid			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Hattori K, Kohsaka H, Miyasaka N, Takeuchi T, Naka T	<u>arthritis.</u>			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Arthritis & Rheumatology	有	67(8)	2015年	2056-2060

3.

著者名	論文標題			
Hirose W, Uchiyama T, Nemoto A, Harigai M, Itoh K, Ishizuka T, Matsumoto M, Yamaoka K, Nanki T	Diagnostic performance of measuring antibodies to the glycopeptidolipid core antigen specific to Mycobacterium avium complex in patients with rheumatoid arthritis: results from a cross-sectional observational study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Arthritis Research & Therapy	有	17(9)	2015年	273

4.

著者名	論文標題			
Tanaka M, Koike R, Sakai R, Saito K, Hirata S, Nagasawa H, Kameda H, Hara M, Kawaguchi Y, Tohma S, Takasaki Y, Dohi M, Nishioka Y, Yasuda S, Miyazaki Y, Kaneko Y, Nanki T, Watanabe K, Yamazaki H, Miyasaka N, Harigai M	Pulmonary infections following immunosuppressive treatments during hospitalization worsen the short-term vital prognosis for patients with connective tissue disease-associated interstitial pneumonia.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	25(4)	2015年	609-614

5.

著者名	論文標題			
Komano Y, Yagi N, Nanki T	Joint-Targeting Drug Delivery System for Rheumatoid Arthritis: siRNA Encapsulated Liposome			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Pharmaceutica Analytica Acta	有	6(4)	2015年	352

6.

著者名	論文標題			
Ogata A, Amano K, Dobashi H, Inoo M, Ishii T, Kasama T, Kawai S, Kawakami A, Koike T, Miyahara H, Miyamoto T, Munakata Y, Murasawa A, Nishimoto N, Ogawa N, Ojima T, Sano H, Shi K, Shono E, Suematsu E, Takahashi H, Tanaka Y, Tsukamoto H, Nomura A; MUSASHI Study Investigators.	Longterm Safety and Efficacy of Subcutaneous Tocilizumab Monotherapy: Results from the 2-year Open-label Extension of the MUSASHI Study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Rheumatology	有	42(5)	2015年	799-809

7.

著者名	論文標題			
Yamazaki H, Sakai R, Koike R, Miyazaki Y, Tanaka M, Nanki T, Watanabe K, Yasuda S, Kurita T, Kaneko Y, Tanaka Y, Nishioka Y, Takasaki Y, Nagasaka K, Nagasawa H, Tohma S, Dohi M, Sugihara T, Sugiyama H,	Assessment of risks of pulmonary infection during 12 months following immunosuppressive treatment for active connective tissue diseases: a large-scale prospective cohort study.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Kawaguchi Y, Inase N, Ochi S, Hagiyama H, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of rheumatology	有	42(4)	2015年	614-622

8.

著者名	論文標題			
川合眞一	膠原病および類縁疾患. 関節リウマチ・生物学的製剤の副作用と対策			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
今日の治療指針 2015年版	有		2015年	837-839

9.

著者名	論文標題			
Yamamoto T, Hasunuma T, Takagi K, Akimoto K, Shikano, Kaburaki M, Muraoka S, Kitahara K, Tanaka N, Kaneko K, Kusunoki Y, Endo H, <u>Kawai S</u>	A feasibility study assessing tolerability of daily versus twice weekly trimethoprim- sulfamethoxazole regimen for prophylaxis against Pneumocystis pneumonia in patients with systemic autoimmune diseases on glucocorticoid therapy.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Japanese Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics	有	45(3)	2014年	89-92

10.

著者名	論文標題			
藤尾夏樹, 田中菜穂子, 進藤恵実子, 川添麻衣, 増岡正太郎, 佐藤洋志, 鹿野孝太郎, 鎬木誠, 村岡成, 山本竜大, 金子開知, 高木賢治, 蓮沼智子, <u>川合眞一</u>	関節リウマチ患者に対するイグラチモドの有用性に関する観察研究			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
薬理と治療	有	42(9)	2014年	647-652

11.

著者名	論文標題			
Hirayama A, Tanahashi N, Daida H, Ishiguro N, Chachin M, Sugioka T, <u>Kawai S</u> , on behalf of all ACCEPT study investigators in Japan	Assessing the Cardiovascular Risk Between Celecoxib and Nonselective Nonsteroidal Antiinflammatory Drugs in Patients With Rheumatoid Arthritis and Osteoarthritis. - A 3-Year Nationwide Comparative Observational Study in Japan (ACCEPT) -			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	78(1)	2014年	194-205

12.

著者名	論文標題			
Takeuchi T, <u>Kawai S</u> , Yamamoto K, Harigai M, Ishida K, Miyasaka N	Post-marketing surveillance of the safety and effectiveness of tacrolimus in 3,267 Japanese patients with rheumatoid arthritis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	24(1)	2014年	8-16

13.

著者名	論文標題			
金子開知	Effect of glucocorticoid treatment on Wnt signalling antagonists (sclerostin and Dkk-19 and their relationship with bone turnover.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
分子リウマチ治療	有	7(1)	2014年	49

14.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
金子開知	Soluble receptor activator of nuclear factor κ B ligand/osteoprotegerin ratio is increased in systemic lupus erythematosus patients.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
分子リウマチ治療	有	7(1)	2014年	49

15.

著者名	論文標題			
Kusunoki N, Kojima F, <u>Kawai S</u>	*2. Effects of adipokines on prostaglandin E2 production by rheumatoid synovial fibroblasts.(eBook)			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
In: O'Keefe JM(Ed) Arachidonic Acid: Sources, Biosynthesis and Health Effects.	有		2014年	165-183

16.

著者名	論文標題			
Muraoka S, Kusunoki N, Takahashi H, Tsuchiya K, <u>Kawai S</u>	*3. Leptin stimulates interleukin-6 production via janus kinase 2/signal transducer and activator of transcription 3 in rheumatoid synovial fibroblasts.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Clinical and experimental rheumatology	有	31(4)	2013年	589-595

17.

著者名	論文標題			
Tanaka Y, <u>Kawai S</u> , Takeuchi T, Yamamoto K, Miyasaka N	Prevention of joint destruction by tacrolimus in patients with early rheumatoid arthritis: a post hoc analysis of a double-blind, randomized, placebo-controlled study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	23(6)	2013年	1045-1052

18.

著者名	論文標題			
Tanaka N, Kusunoki N, Kusunoki Y, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	*4. Resistin is associated with inflammation process in systemic autoimmune diseases under glucocorticoid therapy: comparison with leptin and adiponectin			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	23	2013年	8-18

19.

著者名	論文標題			
Imagawa T, Takei S, Umebayashi H, Yamaguchi K, Itoh Y, <u>Kawai T</u> , Iwata N, Murata T, Okafuji I, Miyoshi M, Onoe Y, Kawano Y, Kinjo N, Mori M, Mozaffarian N, Kupper H, Santra S, Patel G, <u>Kawai S</u> , Yokota S	Efficacy, pharmacokinetics, and safety of adalimumab in pediatric patients with juvenile idiopathic arthritis in Japan.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Clinical rheumatology	有	31	2012年	1713-1721

20.

著者名	論文標題			
Kitahara K, Kusunoki N, Takahashi H, Tsuchiya K, <u>Kawai S</u>	Tacrolimus down-regulates chemokine expressions on rheumatoid synovial fibroblasts: screening by a DNA microarray			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Inflammation Research	有	61	2012 年	1385-1394

21.

著者名	論文標題			
Kemmotsu Y, Saji T, Kusunoki N, Tanaka N, Nishimura C, Ishiguro A, <u>Kawai S</u>	*5. Serum adipokine profiles in Kawasaki disease			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	22	2012 年	66-72

22.

著者名	論文標題			
鍋木 誠, 楠 芳恵, 村岡 成, <u>川合眞一</u>	リウマチ性疾患患者の医療費構造			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床リウマチ	有	24	2012 年	199-205

23.

著者名	論文標題			
Kaneko K, Kusunoki N, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	*6. Changes of serum soluble receptor activator for nuclear factor κ B ligand after glucocorticoid therapy reflect regulation of its expression by osteoblasts			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of clinical endocrinology and metabolism	有	97	2012 年	1909-1917

24.

著者名	論文標題			
Hanada K, Yamanaka E, Yamamoto N, Minami H, <u>Kawai S</u> , Sasaki Y, Ogata H	*7. Effects of surgery and chronic disease states on the concentrations and phenotype distribution of alpha1-acid glycoprotein: studies in patients with breast cancer and patients with chronic inflammatory disease.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
International journal of clinical pharmacology and therapeutics	有	49	2011 年	415-421

25.

著者名	論文標題			
<u>Kawai S</u> , Takeuchi T, Yamamoto K, Tanaka Y, Miyasaka N	Efficacy and safety of additional use of tacrolimus in early rheumatoid arthritis patients with inadequate response to DMARDs - a multicenter, double-blind, parallelgroup trial			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Rheumatology	有	21	2011 年	458-468

3. 「侵襲による組織リモデリングの分子機構」

1.

著者名	論文標題			
Suzuki T, Shimada H, Ushigome M, Koike J, Funahashi K, Nemoto T, Kaneko H	Three-year monitoring of serum p53 antibody during chemotherapy and surgery for stage IV rectal cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Clinical Journal of Gastroenterology	有	9(2)	2016 年	55-58

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

2.

著者名	論文標題			
Kurosaka Y, Shiroya Y, Yamauchi H, Kaneko T, Okubo Y, <u>Shibuya K</u> , Minato K	Effects of habitual exercise and dietary restriction on intrahepatic and periepididymal fat accumulation in Zucker fatty rats.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
BMC Research Notes	有	8(121)	2015 年	10.1186/s13104-015-1063-6

3.

著者名	論文標題			
Tochigi N, Ishiwatari T, Okubo Y, Ando T, Shinozaki M, Aki K, Gocho K, Hata Y, Murayama SY, Wakayama M, Nemoto T, Hori Y, <u>Shibuya K</u>	Histological study of chronic pulmonary aspergillosis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Diagnostic Pathology	有	10(153)	2015 年	10.1186/s13000-015-0388-8

4.

著者名	論文標題			
Furuya K, Otsuka H, Koezuka S, Makino T, Hata Y, Wakayama M, <u>Shibuya K</u> , Iyoda A	Resection of pulmonary endometriosis using video-assisted thoracoscopic surgery under preoperative CT-guided marking.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	有		2015 年	10.1007/s11748-015-0607-y

5.

著者名	論文標題			
Ueno K, Kinjo Y, Okubo Y, Aki K, Urai M, Kaneko Y, Shimizu K, Wang DN, Okawara A, Nara T, Ohkouchi K, Mizuguchi Y, Kawamoto S, Kamei K, Ohno H, Niki Y, <u>Shibuya K</u> , Miyazaki Y	Dendritic cell-based immunization ameliorates pulmonary infection with highly virulent <i>Cryptococcus gattii</i> .			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Infection and Immunity	有	83(4)	2015 年	1577-1586

6.

著者名	論文標題			
Hata Y, Otsuka H, Makino T, Koezuka S, Sugino K, Shiraga N, Tochigi N, <u>Shibuya K</u> , Homma S, Iyoda A	Surgical treatment of chronic pulmonary aspergillosis using preventive latissimus dorsi muscle flaps.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Cardiothoracic Surgery	有	10(151)	2015 年	10.1186/s13019-015-0354-2

7.

著者名	論文標題			
Makino T, Hata Y, Otsuka H, Koezuka S, Okubo Y, Isobe K, Tochigi N, <u>Shibuya K</u> , Homma S, Iyoda A	Simultaneous resection of bilateral anomalous systemic supply to the basal segments of the lungs: a case report.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Cardiothoracic Surgery	有	10(140)	2015 年	10.1186/s13019-015-0366-y

8.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Makino T, Hata Y, Otsuka H, Koezuka S, Isobe K, Tochigi N, Shiraga N, Shibuya K, Homma S, Iyoda A	Predicted extracapsular invasion of hilar lymph node metastasis by fusion positron emission tomography/computed tomography in patients with lung cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Molecular and Clinical Oncology	有	3(5)	2015年	1035-1040

9.

著者名	論文標題			
Fukano R, Iida Y, Hasegawa K, Yokoyama Y, Wada A, Takeuchi S, Shibuya K, Takahashi H	Spinal Epidural Cavernous Hemangioma of the Thoracic Spine: A Case Report.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Open Journal of Orthopedics	有	5	2015年	311-318

10.

著者名	論文標題			
Sato F, Hata Y, Otsuka H, Makino T, Koezuka S, Sasamoto S, Wakayama M, Shibuya K, Sekijima Y, Iyoda A	Isolated nodular thymic amyloidosis associated with diplopia.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Annals of Thoracic Surgery	有	98(4)	2015年	1470-1472

11.

著者名	論文標題			
Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Kaburaki K, Kobayashi H, Makino T, Otsuka H, Ishida F, Hirota N, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Iyoda A, Homma S	Usefulness of nanofluidic digital PCR arrays to quantify T790M mutation in EGFR-mutant lung adenocarcinoma.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cancer Genomics and Proteomics	有	12(1)	2015年	31-37

12.

著者名	論文標題			
Shiozawa K, Watanabe M, Ikehara T, Matsukiyo Y, Kikuchi Y, Kaneko H, Okubo Y, Shibuya K, Igarashi Y, Sumino Y	A case of contiguous primary hepatic marginal zone B-cell lymphoma and hemangioma ultimately diagnosed using contrast-enhanced ultrasonography.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Case Reports in Oncology	有	8(1)	2015年	50-56

13.

著者名	論文標題			
Aki K, Okubo Y, Nanjo H, Ishiwatari T, Nihonyanagi Y, Tochigi N, Wakayama M, Nemoto T, Fukutake K, Shinozaki M, Hori Y, Masuda H, Shibuya K	*1. Genomic Analysis of Single Nucleotide Polymorphisms Asp299Gly and Thr399Ile in Japanese Patients with Invasive Aspergillosis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Japanese Journal of Infectious Diseases	有	68(4)	2015年	330-332

14.

著者名	論文標題			
Nakamura Y, Hata Y, Koezuka S, Makino T, Otsuka H, Sato F, Sasamoto	Tracheal leiomyoma resected with endobronchial electrocautery snare.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

S, Okubo Y, <u>Shibuya K</u> , Iyoda A				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Bronchology and Interventional Pulmonology	有	22(1)	2015年	90-93

15.

著者名	論文標題			
Kawachi H, Eishi Y, Ueno H, Nemoto T, Fujimori T, Iwashita A, Ajioka Y, Ochiai A, Ishiguro S, Shimoda T, Mochizuki H, Kato Y, Watanabe H, Koike M, Sugihara K	A three-tier classification system based on the depth of submucosal invasion and budding/sprouting can improve the treatment strategy for T1 colorectal cancer: a retrospective multicenter study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Modern Pathology	有	28(6)	2014年	872-879

16.

著者名	論文標題			
Yamamoto Y, Nemoto T, Okubo Y, Nihonyanagi Y, Ishiwatari T, Takuma K, Tochigi N, Okano N, Wakayama M, Igarashi Y, <u>Shibuya K</u>	Comparison between the location and the histomorphological/immunohistochemical characteristics of noninvasive neoplasms of the ampulla of Vater.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Human Pathology	有	45(9)	2014年	1910-1917

17.

著者名	論文標題			
Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Kaburaki K, Kobayashi H, Makino T, Otsuka H, Sato F, Ishida F, Kikuchi N, Hirota N, Sato K, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, <u>Shibuya K</u> , Iyoda A, Homma S	Clinical significance of BIM deletion polymorphism in non-small-cell lung cancer with epidermal growth factor receptor mutation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Thoracic Oncology	有	9(4)	2014年	483-487

18.

著者名	論文標題			
Koezuka S, Hata Y, Sato F, Otsuka H, Makino T, Tochigi N, Iyoda A	Malignant peripheral nerve sheath tumor in the anterior mediastinum: A case report.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Molecular and Clinical Oncology	有	2(6)	2014年	987-990

19.

著者名	論文標題			
Sasaki Y, Fujii T, Shiono N, Katayanagi T, Okuma S, Wakayama M, <u>Shibuya K</u> , Watanabe Y	Interrupted aortic arch with massive saccular collateral aneurysm in an adult.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Annals of Thoracic Surgery	有	98(1)	2014年	316-318

20.

著者名	論文標題			
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Sakai A, Kato M, Kuraishi Y, Arai K, <u>Sibuya K</u> , Izumi H	Case report Case of Double Cancer Consisting of Granulocytic Sarcoma and Hepatocellular Carcinoma.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
新薬と臨床	有	63(12)	2014年	62-68

21.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Izumi H, Nagase D, Ishihara S, Sakai A, Kato M, Kuraishi Y, Arai K, Sekiya H, Shibuya K, Natori K	Chronic Myelomonocytic Leukemia-Induced Overt Acute Leukemia with Impairment of Mastication due to Leukemia Cell Infiltration in the Tongue that was Improved by Chemotherapy.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
新薬と臨床	有	63(12)	2014年	56-61

22.

著者名	論文標題			
Muramatsu Y, Isobe K, Sugino K, Kinoshita A, Wada T, Sakamoto S, Takai Y, Sato F, Hata Y, Wakayama M, Sibuya K, Uekusa T, Iyoda A, Homma S	Malignant pleural mesothelioma mimicking the intrapulmonary growth pattern of epithelioid hemangioendothelioma.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Pathology International	有	64(7)	2014年	358-360

23.

著者名	論文標題			
Takada K, Ito Y, Matsumoto K, Sato Y, Nishio M, Tadano Y, Kamei Y, Takemura Y, Inoue N, Akasaka Y, Ono I.	Usefulness of Basic Fibroblast Growth Factor (bFGF) Loaded Dissolving Microneedles for Local Therapy of Skin Wounds			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biomaterials and Nanobiotechnology	有	4	2013年	256-264

24.

著者名	論文標題			
Ishikawa Y, Akasaka Y, Akishima-Fukasawa Y, Iuchi A, Suzuki K, Uno M, Abe E, Yang Y, Li CP, Mukai K, Niino H, Tanaka M, Kawahara Y, Sugiura H, Shinagawa T, Morinaga S, Ogata K, Onuma J, Yanagida-Iida M, Taki K, Komatsu A, Satoh H, Yamada K, Shimokawa R, Shibuya K, Takahashi K, Ishii T	Histopathologic profiles of coronary atherosclerosis by myocardial bridge underlying myocardial infarction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Atherosclerosis	有	226	2013年	118-123

25.

著者名	論文標題			
Iuchi A, Ishikawa Y, Akishima-Fukasawa Y, Akasaka Y, Ishii T	Association of variance in anatomical elements of myocardial bridge with coronary atherosclerosis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Atherosclerosis	有	227	2013年	153-158

26.

著者名	論文標題			
Sasai D, Okubo Y, Ishiwatari T, Sugita T, Kaneko T, Murayama SY, Shimamura T, Shinozaki M, Hasegawa C, Mitsuda A, Tochigi N, Wakayama M, Nemoto T, Shibuya K	Histopathological evaluation of the efficacy of antifungals for experimental Trichosporon bloodstream infection.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Japanese Journal of Infectious diseases	有	66	2013 年	133-9
---	---	----	--------	-------

27.

著者名	論文標題			
Takahashi H, Wada A, Terajima F, Yokoyama Y, Inoue Y, <u>Shibuya k</u> , Sasai D, Sekiguchi M	Solitary Lumbar Spinal Osteochondroma Arising from the L3 Articular Process.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Case Reports in Medicine	有	2	2013 年	1-4

28.

著者名	論文標題			
Hata Y, Yuasa R, Sato F, Otsuka H, Goto H, Isobe K, Mitsuda A, Wakayama M, <u>Shibuya K</u> , Takagi K, Watanabe Y	Ciliated muconodular papillary tumor of the lung: a newly defined low-grade malignant tumor with CT findings reminiscent of adenocarcinoma.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Jpn J Clin Oncol	有	43	2013 年	205 -207

29.

著者名	論文標題			
Kinoshita T, Fujimoto S, Ishikawa Y, Yuzawa H, Fukunaga S, Toda M, Wagatsuma K, <u>Akasaka Y</u> , <u>Ishii T</u> , <u>Ikeda T</u>	Coronary arterial complications after percutaneous coronary intervention in Behcet's disease.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Research Reports in Clinical Cardiology	有	4	2013 年	9 -12

30.

著者名	論文標題			
Koezuka S, Sato F, Hata Y, Otsuka H, Yuasa R, Kiribayashi T, Sasai D, <u>Shibuya K</u> , Takagi K, Watanabe Y	Video-assisted thoracoscopic surgery for ectopic middle mediastinal thymoma in a patient with myasthenia gravis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Ann Thorac Surg	有	95	2013 年	67 -68

31.

著者名	論文標題			
白坂健太郎, 船橋公彦, 小池淳一, 栗原聰元, 塩川洋之, 牛込充則, 赤坂喜清, <u>澁谷和俊</u> , 金子弘真	急速に増大しレイウス症状を呈したMesenteric inflammatory veno-occlusive disease(MIVOD)の1自験例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本大腸肛門病学会雑誌	有	66	2013 年	95-100

32.

著者名	論文標題			
間崎和夫, 釘宮剛城, 青木千津, 田邊なおみ, 三宅洋子, <u>澁谷和俊</u> , 大村 剛, 森田峰人	神経外胚葉分化を伴った子宮癌肉腫の1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本臨床細胞学会雑誌	有	52	2013 年	128 -133

33.

著者名	論文標題			
三塚幸夫, 金澤真作, 緒方秀†, 丸山憲一, 八鞆恒芳, 久保田伊哉, 齊藤美美, 根本哲生, <u>澁谷和俊</u> , 金子弘真	乳癌術前化学療法の効果と Sonazoid 造影超音波所見の検討			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
超音波医学	有	40	2013年	167-174

34.

著者名	論文標題			
Fujita K, Akasaka Y, Kuwabara T, Wang B, Tanaka Y, Kamata I, Yokoo T, Kinoshita T, Akishima-Fukasawa Y, Ishikawa Y, Kondo M, Ishii T	Pathogenesis of lupus-like nephritis through autoimmune antibody produced by CD180-negative B lymphocytes in NZBWF1 mouse.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Immunology Letters	有	144	2012年	6

35.

著者名	論文標題			
Takahashi S, Hata Y, Sasamoto S, Sato F, Tamaki K, Sato K, Mitsuda A, Shibuya K, Takagi K	Recovery of lung perfusion after sleeve resection for tuberculous bronchial stenosis			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	有	93	2012年	2041-2043

36.

著者名	論文標題			
Isobe K, Hata Y, Kobayashi K, Hirota N, Sato K, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Takagi K, Homma S	Clinical significance of circulating tumor cells and free DNA in non-small cell lung cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Anticancer research	有	32	2012年	3339-3344

37.

著者名	論文標題			
Isobe K, Hata Y, Sakaguchi S, Sato F, Takahashi S, Sato K, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Mitsuda A, Terahara A, Shibuya K.	Pathological response and prognosis of stage III non-small cell lung cancer patient treated with induction chemoradiation			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Asia-Pac J Clin Oncol	有	8	2012年	260-266

38.

著者名	論文標題			
Sakamoto S, Kikuchi N, Ichikawa A, Sano G, Satoh K, Sugino K, Takai Y, Shibuya K, Homma S	Everolimus-induced pneumonitis after drug-eluting stent implantation: a case report.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
CardioVasc Intervent Radiol	有	10	2012年	012-0477

39.

著者名	論文標題			
Takahashi K, Oharaseki T, Yokouchi Y, Yamada H, Shibuya K, Naoe S	A Half-Century of Autopsy Results-Incidence of Pediatric Vasculitis Syndromes, Especially Kawasaki Disease			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	76	2012年	964-970

40.

著者名	論文標題			
Sugino K, Gocho K, Ishida F, Kikuchi N,	Acquired hemophilia A associated with IgG4-related lung disease			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Hirota N, Sato K, Sano G, Isobe K, Sakamoto S, Takai Y, Hata Y, Shibuya K, Uekusa T, Kurosaki A, Homma S	in a patient with autoimmune pancreatitis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Internal medicine	有	51	2012 年	3151 -3154

41.

著者名	論文標題			
Shimamura T, Kubota N, <u>Shibuya K</u>	Animal model of dermatophytosis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biomedicine and Biotechnology	有	10	2012 年	2231-2234

42.

著者名	論文標題			
Hata Y, Yuasa R, Sato F, Otsuka H, Goto H, Isobe K, Mitsuda A, Wakayama M, <u>Shibuya K</u> , Takagi K, Watanabe Y	Ciliated Muconodular Papillary Tumor of the Lung: A Newly Defined Low-grade Malignant Tumor with CT Findings Reminiscent of Adenocarcinoma.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Japanese Journal of Clinical Oncology	有	10	2012 年	

43.

著者名	論文標題			
Shinozaki M, Okubo Y, Sasai D, Nakayama H, Ishiwatari T, Murayama S, Tochigi N, Wakayama M, Nemoto T, <u>Shibuya K</u>	Development and Evaluation of Nucleic Acid-Based Techniques for an Auxiliary Diagnosis of Invasive Fungal Infections in Formalin-Fixed and Paraffin-Embedded (FFPE) Tissues.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Medical Mycology Journal	有	53	2012 年	241 -245

44.

著者名	論文標題			
Wakui N, Takayama R, Matsukiyo Y, Mukouzu T, Kanayama M, Takahashi M, Nagai H, Watanabe M, Maruyama K, Kaneko M, <u>Shibuya K</u> , Sumino Y	A case of poorly differentiated hepatocellular carcinoma with intriguing ultrasonography findings.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Oncology letters	有	4	2012 年	393-397

45.

著者名	論文標題			
Shimodaira K, Okubo Y, Ochiai E, Nakayama H, Katano H, Wakayama M, Shinozaki M, Ishiwatari T, Sasai D, Tochigi N, Nemoto T, Saji T, Kamei K, <u>Shibuya K</u>	*2. <u>Gene expression analysis of a murine model with pulmonary vascular remodeling compared to end-stage IPAH lungs</u>			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Respiratory Research	有	13	2012 年	103

46.

著者名	論文標題			
新井典岳, 五十嵐良典, 鎌田 至, 岸本有為, 三村亨彦, 伊藤 謙, 渡邊 学, 住野泰清, 久保田喜久, 金子弘真, 笹井大	副乳頭カルチノイドの 1 例			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

督, 澁谷和俊, 石川久木				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Progress of Digestive Endoscopy	有	80	2012年	154-155

47.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 佐村優, 高田啓介, 倉田武徳, 澁谷和俊	ICUにおける挿管呼吸管理患者に対する複合的 VAP 防止策の有用性に関する検討			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本化学療法学会雑誌	有	60	2012年	306-306

48.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 岩淵聡, 澁谷和俊	パラフィン包埋組織を用いたISH法およびPCR法による深在性真菌症に対する分子生物学的診断法の現状.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本外科感染症学会雑誌	有	9	2012年	343-348

49

著者名	論文標題			
磯部和順, 秦 美暢, 佐藤敬太, 佐野 剛, 杉野圭史, 坂本 晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	上皮成長因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者における耐性獲得時の T790M 変異検索の有用性			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
肺癌	有	52	2012年	279-283

50.

著者名	論文標題			
名取一彦, 藤本吉紀, 石原 晋, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 大塚隆文, 加藤元浩, 長瀬大輔, 倉石安庸, 澁谷和俊, 和泉春香	悪性リンパ腫完全寛解後、早期胃癌が発見され内視鏡的粘膜下切除が施行された異時性重複癌.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	381-383

51.

著者名	論文標題			
名取一彦, 石原 晋, 長瀬大輔, 澁谷亜希子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 梅田正法, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 和泉春香	当初腎細胞癌が疑われた non-Hodgkin's lymphoma diffuse large B cell lymphoma			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究		89	2012年	384-386

52.

著者名	論文標題			
名取一彦, 石原晋, 長瀬大輔, 澁谷亜希子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 高橋正義, 平野直樹†, 大塚隆文, 梅田正法, 加藤元浩, 倉石安庸, 石川由起雄, 澁谷和俊, 和泉春香	多発性骨髄腫と胃癌による同時性重複癌の治療経験			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	95-97

53.

著者名	論文標題			
名取一彦, 和泉春香, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 石原 晋	腎癌治療後に治療関連骨髄異形成症候群を発症した異時性重複癌.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	510-512

54.

著者名	論文標題			
名取一彦, 石原 晋, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 和泉春香	二次性骨髄線維症による巨脾に対する放射線照射の経験			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	525-527

55.

著者名	論文標題			
名取一彦, 和泉春香, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 大久保洋一郎, 藤本吉紀, 山本賢史, 安田真美子, 加藤元浩, 倉石安庸, 枝松秀雄, 澁谷和俊, 石原 晋	甲状腺乳頭癌とnon-Hodgkin's lymphoma diffuse large B cell lymphoma からなる異時性重複癌			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	647-649

56.

著者名	論文標題			
名取一彦, 長瀬大輔, 石原 晋, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 加藤元浩, 梅田正法, 倉石安庸, 澁谷和俊, 和泉春香	鼻ポリープより診断され、急速に増大し眼球突出を呈したnon-Hodgkin's lymphoma diffuse large B cell lymphoma			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	650-653

57.

著者名	論文標題			
名取一彦, 和泉春香, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 高橋政義, 藤本吉紀, 大塚隆文, 密田亜希, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 石原 晋	胃原発 non-Hodgkin's lymphoma diffuse large B cell type の治療経験			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨床と研究	有	89	2012年	799-802

58.

著者名	論文標題			
猪股直美, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 丸山優, 石川由起雄, 石井壽晴	皮膚創傷治癒におけるFibrocyteの発現誘導とその微小環境の解析.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	有	6	2012年	25-28

59.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 澁谷和俊	DPC データを用いた脳神経外科領域における深在性真菌症治療による医療経済効果.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
感染症学雑誌	有	86	2012年	277

60.

著者名	論文標題			
太田宏樹, 佐藤敬太, 磯部和順, 秦美暢, 澁谷和俊, 本間栄	肝転移を契機に診断された線維形成型悪性胸膜中皮腫の1例			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本呼吸器学会誌	有	1	2012年	251-255

61.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 澁谷和俊	DPC データを用いた脳神経外科領域における深在性真菌症治療による医療経済効果.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
感染症学雑誌	有	86	2012年	277

62.

著者名	論文標題			
磯部和順, 秦美暢, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間栄	EGFR 遺伝子変異陽性患者における耐性獲得時の T790M 変異検索の有用性			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
肺癌	有	52	2012年	279-283

63.

著者名	論文標題			
Akishima-Fukasawa Y, Yoshihara A, Ishikawa Y, Watanabe N, Hiroi N, Akasaka Y, Sasano H, Ishii T, Yoshino G	Malignant adrenal rest tumor of the retroperitoneum producing adrenocortical steroids.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Endocrine Pathology	有	22	2011年	112-117

64.

著者名	論文標題			
Akishima-Fukasawa Y, Ishikawa Y, Akasaka Y, Uzuki M, Inomata N, Yokoo T, Ishii R, Shimokawa R, Mukai K, Kiguchi H, Suzuki K, Fujiwara M, Ogata K, Niino H, Sugiura H, Ichinose A, Kuroda Y, Kuroda D, Ishii T.	Histopathological predictors of regional lymph node metastasis at the invasive front in early colorectal cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Histopathology	有	59	2011年	470-481

65.

著者名	論文標題			
Nonaka T, Inamori M, Kessoku T, Ogawa Y, Yanagisawa S, Shiba T, Sakaguchi T, Gotoh E, Maeda S, Gotoh E, Nakajima A, Atsukawa K, Takahashi H, Akasaka Y	A case of rectal cancer arising from long-standing prolapsed mucosa of the rectum.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Internal medicine	有	50	2011年	2569-2573

66.

著者名	論文標題			
Yamamoto K, Taketomi Y, Isogai Y, Miki Y, Sato H, Masuda S, Nishito Y, Morioka K, Ishimoto Y, Suzuki N, Yokota Y, Hanasaki K, Ishikawa Y, Ishii T, Kobayashi T, Fukami K, Ikeda K, Nakanishi H, Taguchi R, Murakami M	Hair follicular expression and function of group X secreted phospholipase A2 in mouse skin.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biological Chemistry	有	286	2011年	11616-11631

67.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Sato H, Isogai Y, Masuda S, Taketomi Y, Miki Y, Kamei D, Hara S, Kobayashi T, Ishikawa Y, Ishii T, Ikeda K, Taguchi R, Ishimoto Y, Suzuki N, Yokota Y, Hanasaki K, Yamamoto T, Tamamoto K, Murakami M	Physiological roles of group X secreted phospholipase A2 in reproduction, gastrointestinal phospholipid digestion and neuronal function.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biological Chemistry	有	286	2011 年	11632-11648

68.

著者名	論文標題			
Nakanishi K, Nagai Y, Piao H, Akimoto T, Kato H, Tanakieva-Georgieva N, Ishikawa Y, Yoshihara K, Ito K, Yamanaka N, Oite T	Changes in renal vessels following the long-term administration of an angiotensin II receptor blocker in Zucker fatty rats			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Renin-Angiotensin-Aldosterone System	有	12	2011 年	65-74

69.

著者名	論文標題			
Tomibayashi A, Sasaki S, Nakayama H, Yoneyama S, Ishii T, Watanabe T	Adenomyoma of the Small Intestine in an Adult: Report of Case.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Surgery Today	有	41	2011 年	1101-1105

70.

著者名	論文標題			
Saito T, Kimura S, Tateda K, Mori N, Hosono N, Hayakawa K, Akasaka Y, Ishii T, Sumiyama Y, Kusachi S, Nagao J, Yamaguchi K	Evidence of intravenous immunoglobulin as a critical supportive therapy against Clostridium difficile toxin-mediated lethality in mice.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of antimicrobial chemotherapy	有	66	2011 年	1096-1099

71.

著者名	論文標題			
山本慶郎, 木村隆輔, 土門 薫, 大塚隆文, 竹内 基, 菊池由宣, 中野 茂, 五十嵐良典, 住野泰清, 蜜田亜希, 根本哲生, 澁谷和俊	Linitis plastica 様の形態を示した乳癌の胃転移の 1 例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Progress of Digestive Endoscopy	有	78	2011 年	102-103

72.

著者名	論文標題			
後町杏子, 坂本 晋, 笹本修一, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	3D-CTにより診断し、異常血管のみの切除にて治癒した肺底動脈大動脈起始症の1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日呼吸会誌	有	49	2011 年	221-225

73.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 佐村優, 澁谷和俊	市中病院における腸腰筋膿瘍の実際			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本化学療法学会誌	有	59	2011年	207

74.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 篠崎稔, 職珠玉, 大久保陽一郎, 笹井大督, 若山恵, 根本哲生, 村山そう明, 岩淵聡, 澁谷和俊	外科感染症における分子生物学的研究 パラフィン包埋組織を用いたISH法およびPCR法による分子生物学的診断法の現状			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本外科感染症学会雑誌	有	8	2011年	531

75.

著者名	論文標題			
大久保陽一郎, 大野秀明, 篠崎稔, 宮崎義継, 根本哲生, 若山恵, 笹井大督, 石渡誉郎, 中山晴雄, 田辺公一, 金子幸弘, 山越智, 梅山隆, 澁谷和俊	Cryptococcus gattii 気道感染マウスにおける肺の病理組織学的解析			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本病理学会会誌	有	101	2011年	395

76.

著者名	論文標題			
名取一彦, 長瀬大輔, 石原 晋, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 加藤元浩, 藤本吉紀, 梅田正法, 倉石安庸, 荒井一步, 澁谷和俊, 和泉春香	舌癌部分切除前後に放射線療法をうけ、短期間に発症したtherapy-related leukemiaの1例			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨牀と研究	有	88	2011年	1305-1308

77.

著者名	論文標題			
名取一彦, 長瀬大輔, 石原 晋, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 梅田正法, 加藤元浩, 倉石安庸, 藤本吉†, 澁谷和俊, 和泉春香	汎血球減少を初発症状に診断された急性混合性白血病 (Biphenotypic Acuteleukemia)			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨牀と研究	有	88	2011年	1309-1312

78.

著者名	論文標題			
名取一彦, 和泉春香, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 豊田幸樹年, 藤本吉紀, 梅田正法, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 石原 晋	救命できなかった急性前骨髄球性白血病の経験.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨牀と研究	有	88	2011年	1570-1573

79.

著者名	論文標題			
中山晴雄, 篠崎稔, 職珠玉, 大久保陽一郎, 笹井大督, 若山恵, 根本哲生, 村山そう明, 岩淵聡, 澁谷和俊	外科感染症における分子生物学的研究 パラフィン包埋組織を用いたISH法およびPCR法による分子生物学的診断法の現状			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本外科感染症学会雑誌	有	8	2011年	531

80.

著者名	論文標題			
大久保陽一郎, 大野秀明, 篠崎稔, 宮崎義継, 根本哲生, 若山恵, 笹井大督, 石	Cryptococcus gattii 気道感染マウスにおける肺の病理組織学的解析			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

渡譽郎, 中山晴雄, 田辺公一, 金子幸弘, 山越智, 梅山隆, 澁谷和俊				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本病理学会会誌	有	101	2011年	395

4. 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」

1.

著者名	論文標題			
Hamanoue M, Morioka K, Ohsawa I, Ohsawa K, Kobayashi M, Tsuburaya K, Akasaka Y, Mikami T, Ogata T, Takamatsu K.	Cell-permeable p38 MAP kinase promotes migration of adult neural stem/progenitor cells.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Sci Rep	有	211(7)	2016年	10.1038/srep24279.

2.

著者名	論文標題			
安東賢太郎, 中村裕二, 星合清隆, 岸江拓也, 柏木克彦, 曹新, 小原浩, 中瀬古(泉)寛子, 高原章, 赤坂喜清, 杉山篤	正常犬 と正常ブタ間でのジピリダモール負荷後の心電図変化の差異—側副血行路が冠盗流 (coronary steal) の原因か?.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心電図	有	35 (Suppl. 1)	2015年	79-80

3.

著者名	論文標題			
Ishii T, Ishikawa Y, Akasaka Y.	Myocardial bridge as a structure of double-edged sword for the coronary artery.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Annal of vascular disease	有	7(2)	2014年	99-18

4.

著者名	論文標題			
Matsukura S, Nakamura Y, Ohara H, Cao X, Wada T, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Akasaka Y, Sugiyama A.	Feasible induction of coronary artery vasospasm occurred during cardiac catheterization in a micromini pig.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J Vet Med Sci.	有		2016年	Epub ahead of print

5.

著者名	論文標題			
Takada K, Ito Y, Matsumoto K, Sato Y, Nishio M, Tadano Y, Kamei Y, Takemura Y, Inoue N, Akasaka Y, Ono I.	*1. Usefulness of Basic Fibroblast Growth Factor (bFGF) Loaded Dissolving Microneedles for Local Therapy of Skin Wounds			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biomaterials and Nanobiotechnology	有	4	2013年	256-264

6.

著者名	論文標題			
Ishikawa Y, Akasaka Y, Akishima-Fukasawa Y, Iuchi A, Suzuki K, Uno M, Abe E, Yang Y, Li CP, Mukai	Histopathologic profiles of coronary atherosclerosis by myocardial bridge underlying myocardial infarction.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

K, Niino H, Tanaka M, Kawahara Y, Sugiura H, Shinagawa T, Morinaga S, Ogata K, Onuma J, Yanagida-Iida M, Taki K, Komatsu A, Satoh H, Yamada K, Shimokawa R, Shibuya K, Takahashi K, <u>Ishii T</u>				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Atherosclerosis	有	226	2013 年	118-123

7.

著者名	論文標題			
Iuchi A, <u>Ishikawa Y</u> , Akishima-Fukasawa Y, <u>Akasaka Y</u> , <u>Ishii T</u>	Association of variance in anatomical elements of myocardial bridge with coronary atherosclerosis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Atherosclerosis	有	227	2013 年	153-158

8.

著者名	論文標題			
Kinoshita T, Fujimoto S, Ishikawa Y, Yuzawa H, Fukunaga S, Toda M, Wagatsuma K, <u>Akasaka Y</u> , <u>Ishii T</u> , <u>Ikeda T</u>	Coronary arterial complications after percutaneous coronary intervention in Behcet's disease.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Research Reports in Clinical Cardiology	有	4	2013 年	9-12

8.

著者名	論文標題			
Fujita K, Akasaka Y, Kuwabara T, Wang B, Tanaka Y, Kamata I, Yokoo T, Kinoshita T, Akishima-Fukasawa Y, Ishikawa Y, <u>Kondo M</u> , <u>Ishii T</u>	Pathogenesis of lupus-like nephritis through autoimmune antibody produced by CD180-negative B lymphocytes in NZBWF1 mouse.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Immunology Letters	有	144	2012 年	6

9.

著者名	論文標題			
猪股直美、 <u>赤坂喜清</u> 、今泉りさ、岡田恵美、丸山優、 <u>石川由起雄</u> 、 <u>石井壽晴</u>	皮膚創傷治癒におけるFibrocyteの発現誘導とその微小環境の解析.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	有	6	2012 年	25-28

10.

著者名	論文標題			
Akishima-Fukasawa Y, Yoshihara A, Ishikawa Y, Watanabe N, Hiroi N, <u>Akasaka Y</u> , Sasano H, <u>Ishii T</u> , Yoshino G	Malignant adrenal rest tumor of the retroperitoneum producing adrenocortical steroids.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Endocrine Pathology	有	22	2011 年	112-117

11.

著者名	論文標題			
Akishima-Fukasawa Y, Ishikawa Y, <u>Akasaka Y</u> , <u>Uzuki M</u> , Inomata N, Yokoo T, <u>Ishii R</u> , Shimokawa R, Mukai K, Kiguchi H, Suzuki K, Fujiwara M, Ogata K, Niino H, Sugiura H, Ichinose A, Kuroda Y, Kuroda	Histopathological predictors of regional lymph node metastasis at the invasive front in early colorectal cancer.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

D, Ishii T.				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Histopathology	有	59	2011年	470-481

12.

著者名	論文標題			
Nonaka T, Inamori M, Kessoku T, Ogawa Y, Yanagisawa S, Shiba T, Sakaguchi T, Gotoh E, Maeda S, Gotoh E, Nakajima A, Atsukawa K, Takahashi H, Akasaka Y	A case of rectal cancer arising from long-standing prolapsed mucosa of the rectum.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Internal medicine	有	50	2011年	2569-2573

13.

著者名	論文標題			
Yamamoto K, Taketomi Y, Isogai Y, Miki Y, Sato H, Masuda S, Nishito Y, Morioka K, Ishimoto Y, Suzuki N, Yokota Y, Hanasaki K, Ishikawa Y, Ishii T, Kobayashi T, Fukami K, Ikeda K, Nakanishi H, Taguchi R, Murakami M	Hair follicular expression and function of group X secreted phospholipase A2 in mouse skin.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biological Chemistry	有	286	2011年	11616-11631

14.

著者名	論文標題			
Sato H, Isogai Y, Masuda S, Taketomi Y, Miki Y, Kamei D, Hara S, Kobayashi T, Ishikawa Y, Ishii T, Ikeda K, Taguchi R, Ishimoto Y, Suzuki N, Yokota Y, Hanasaki K, Yamamoto T, Tamamoto K, Murakami M	Physiological roles of group X secreted phospholipase A2 in reproduction, gastrointestinal phospholipid digestion and neuronal function.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Biological Chemistry	有	286	2011年	11632-11648

15.

著者名	論文標題			
Nakanishi K, Nagai Y, Piao H, Akimoto T, Kato H, Tanakieva-Georgieva N, Ishikawa Y, Yoshihara K, Ito K, Yamanaka N, Oite T	Changes in renal vessels following the long-term administration of an angiotensin II receptor blocker in Zucker fatty rats			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Renin-Angiotensin-Aldosterone System	有	12	2011年	65-74

16.

著者名	論文標題			
Tomibayashi A, Sasaki S, Nakayama H, Yoneyama S, Ishii T, Watanabe T	Adenomyoma of the Small Intestine in an Adult: Report of Case.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Surgery Today	有	41	2011年	1101-1105

17.

著者名	論文標題			
Saito T, Kimura S, Tateda K, Mori	Evidence of intravenous immunoglobulin as a critical supportive			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

N, Hosono N, Hayakawa K, Akasaka Y, Ishii T, Sumiyama Y, Kusachi S, Nagao J, Yamaguchi K	therapy against Clostridium difficile toxin-mediated lethality in mice.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of antimicrobial chemotherapy	有	66	2011 年	1096-1099

5. 「p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進」

1.

著者名	論文標題			
Hamanoue M, Morioka K, Ohsawa I, Ohsawa K, Kobayashi M, Tsuburaya K, Akasaka Y, Mikami T, Ogata T, Takamatsu K.	*1. Cell-permeable p38 MAP kinase promotes migration of adult neural stem/progenitor cells.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Sci Rep	有		2016 年	10.1038/srep24279.

2.

著者名	論文標題			
Tamaru T, Ikeda M	Circadian adaptation to cell injury stresses: a crucial interplay of BMAL1 and HSF1.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Physiological Sciences	有		2016 年	10.1007/s12576-016-0436-5

3.

著者名	論文標題			
Miwa N	Protein-carbohydrate interaction between sperm and the egg-coating envelope and its regulation by dicalcin, a Xenopus laevis zona pellucida protein-associated protein.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Molecules	有	20	2015 年	9468-9486

4.

著者名	論文標題			
Tamaru T, Hattori M, Honda K, Nakahata Y, Sassone-Corsi P, van der Horst GTJ, Ozawa T, Takamatsu K	CRY drives cyclic CK2-mediated BMAL1 phosphorylation to control the mammalian circadian clock.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
PLOS Biology	有	13	2015 年	e1002293

5.

著者名	論文標題			
Miwa N, Ogawa M, Hanaue M, Takamatsu K	Fertilization competence of the egg-coating envelope is regulated by direct interaction of dicalcin and gp41, the Xenopus laevis ZP3.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Scientific Reports	有	5	2015 年	12672

6.

著者名	論文標題			
Miwa N	Dicalcin, a zona pellucida protein that regulates fertilization competence of the egg coat in Xenopus laevis.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Physiological	有	65	2015 年	507-514

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Sciences				
----------	--	--	--	--

7.

著者名	論文標題			
Hamanoue M, Ikeda Y, Ogata T, Takamatsu K	Predominant expression of N-acetylglucosaminyltransferase V (GnT-V) in neural stem/progenitor cells.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Stem Cell Research	有	14	2015 年	68-78

8.

著者名	論文標題			
Kobayashi M, Hamanoue M, Masaki T, Furuta Y, Takamatsu K	*2. Hippocalcin mediates calcium-dependent translocation of brain-type creatine kinase (BB-CK) in hippocampal neurons.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Biochemical and Biophysical Research Communications	有	429	2012 年	142-147

9.

著者名	論文標題			
Lim YA, Giese M, Shepherd C, Halliday G, Kobayashi M, Takamatsu K, Staufenbiel M, Eckert A, Gotz J	Role of hippocalcin in mediating A β toxicity.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Biochimica et Biophysica Acta	有	1822	2012 年	1247-1257

10.

著者名	論文標題			
Li J, Koike J, Kugoh H, Arita M, Ohhira T, Kikuchi Y, Funahashi K, Takamatsu K, Boland CR, Koi M, Hemmi H	Down-regulation of MutS homolog 3 by hypoxia in human colorectal cancer.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Biochimica et biophysica acta	有	1823	2012 年	889 -899

11.

著者名	論文標題			
Kim KS, Kobayashi M, Takamatsu K, Tzingounis AV	Hippocalcin and KCNQ channels contribute to the kinetics of the slow afterhyperpolarization.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Biophysical Journal	有	103	2012 年	2446-2454

12.

著者名	論文標題			
Iketani M, Iizuka A, Sengoku K, Kurihara Y, Nakamura F, Sasaki Y, Sato Y, Yamane M, Matsushita M, Nairn AC, Takamatsu K, Goshima Y, Takei K	Regulation of neurite outgrowth mediated by localized phosphorylation of protein translational factor eEF2 in growth cones.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Developmental Neurobiology	有	73	2013 年	230 -246

13.

著者名	論文標題			
Hanaue M, Miwa N, Takamatsu K	Immunohistochemical Characterization of S100A6 in the murine ovary.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Acta Histochemica et Cytochemica	有	45	2012 年	9-14

14.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Tamaru T, Hattori M, Honda K, Benjamin I, Ozawa T, Takamatsu K	Synchronization of circadian Per2 rhythms and HSF1-BMAL1: CLOCK interaction in mouse fibroblasts after short-term heat shock pulse.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
PLoS ONE	有	6	2011 年	24521

6. 「難治性創傷皮膚炎の骨髄前駆細胞を用いた血管新生療法」

1.

著者名	論文標題			
M Nakamichi, Y Akishima-Fukasaw, T Mikam, K Onishi, Y Akasaka	*1. Basic fibroblast growth factor induces angiogenic properties of fibrocytes to stimulates vascular formation during wound healing			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
In submitted	有			

2.

著者名	論文標題			
Nakamichi M, Onishi K, Ogino A	Bilateral transposition flaps for vaginal atresia reconstruction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
European Journal of Plastic Surgery	有	1	2015 年	1-4

3.

著者名	論文標題			
Onishi K, Okada E, Hirata A	The Rintala flap: a versatile procedure for nasal reconstruction. American Journal of			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Otolaryngology	有	35	2014 年	577 -581

4.

著者名	論文標題			
Ogino A, Onishi K	Vascular waveform analysis of flap-feeding vessels using color Doppler ultrasonography			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Plastic Surgery International	有		2014 年	249670 ,

5.

著者名	論文標題			
上野佐知, 大西 清, 平田晶子, 山田哲郎, 丸山 優	後天性爪囲被角線維腫の1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本形成外科学会誌	有	33	2013 年	183 -188

6.

著者名	論文標題			
Inomata N, Akasaka Y, Imaizumi R, Okada E, Maruyama Y	*2. Fibrocyte Behavior Relative to Blood Vessels under Skin Wound Healing.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本形成外科学会誌	有	32	2012 年	645 -659

7.

著者名	論文標題			
Utsunomiya M, Nakamura M, Nakanishi M, Takagi T, Hara Hide,	Impact of wound blush as an angiographic endpoint of endovascular therapy for patients with critical limb ischemia.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Onishi K, Yamada T, Sugi K				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of vascular surgery	有	55	2012 年	113-121

8.

著者名	論文標題			
上野佐知, 大西 清, 平田晶子, 山田哲郎, 丸山 優	高張ブドウ糖液の血管外漏出により皮膚障害をきたした幼児の1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
創傷	有	3	2012 年	94 -98

8.

著者名	論文標題			
山田哲郎, 大西清, 平田晶子, 宇口宮誠, 中村正人, 丸山優	重症下肢虚血に対する当院の治療戦略: 循環器内科、形成外科を中心とした取り組み.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本下肢救済・足病学会誌	有	4	2012 年	185-191

9.

著者名	論文標題			
上野佐知, 大西 清, 平田晶子, 山田哲郎, 丸山 優	顔面骨骨折手術におけるスクリュー牽引補助手技.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本形成外科学会誌	有	32	2012 年	562 -565

10.

著者名	論文標題			
加藤景一, 福田英嗣, 大西清, 神川知之, 向井秀樹	動脈皮弁にて再建した耳甲介舟部基底細胞癌の1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
皮膚科の臨床	有	54	2012 年	1269-1272

11.

著者名	論文標題			
猪股直美, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 丸山優, 石川由起雄, 石井壽晴	*3. 皮膚創傷治療における Fibrocyte の発現誘導とその微小環境の解析.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	有	6	2012 年	25 -28

12.

著者名	論文標題			
縄田麻友, 大西 清, 神田憲吾, 岡本康, 荻野晶弘, 丸山 優	進行癌に対する Mohs 法を応用した quality of life 改善.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
外科	有	37	2011 年	879-882

13.

著者名	論文標題			
Ogino A, Onishi K, Maruyama Y	Vascular waveform analysis of vascularized flaps using color doppler ultrasonography.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
日本シミュレーション外科学会誌	有	19	2011 年	133-143

7. 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」

1.

著者名	論文標題			
Katagi J, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Honda A,	Why can dl-sotalol prolong the QT interval in vivo despite its weak inhibitory effect on hERG K+ channels in vitro? Electrophysiological			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sugiyama A	and pharmacokinetic analysis with the halothane-Anesthetized guinea pig model.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cardiovascular Toxicology	有	16	2016年	138-146

2.

著者名	論文標題			
Ohara H, Nakamura Y, Watanabe Y, Xin Cao, Yamazaki Y, Nakaseko H, Ando K, Yamazaki H, Yamazaki J, Ikeda T, Sugiyama A	Azithromycin can prolong QT interval and suppress ventricular contraction, but will not induce torsade de pointes.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cardiovascular toxicology	有	16	2016年	232-240

3.

著者名	論文標題			
Honda A, Nakamura Y, Ohara H, Cao X, Nomura H, Katagi J, Wada T, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sugiyama A	Effects of a prostaglandin EP4-receptor agonist ONO-AE1-329 on the left ventricular pressure- volume relationship in the halothane-anesthetized dogs.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
European journal of pharmacology	有	15	2016年	130-137

4.

著者名	論文標題			
Koike H, Fujino T, Koike M, Sinohara M, Kitahara K, Kinoshita T, Yuzawa H, Suzuki T, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Obesity Is Associated With the Development of Interstitial Pneumonia Under Long-Term Administration of Amiodarone in Refractory Atrial Fibrillation Patients.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
International Heart Journal	有	57	2016年	30-34

9.

著者名	論文標題			
Wada T, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Nakazato Y, Sugiyama A	Antiviral drug vidarabine possessing cardiac type 5 adenylyl cyclase inhibitory property did not affect cardiohemodynamic or electrophysiological variables in the halothane-anesthetized dogs.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Toxicological Sciences	有	41	2016年	115-122

10.

著者名	論文標題			
Merchant FM, Salerno-Uriarte JA, Caravati F, Falcone S, Molon G, Marangoni D, Raczak G, Danilowicz-Szymanowicz L, Pedretti RFE, Braga SS, Ikeda T, Calo L, Martino A, Erciyes D, Piancastelli M, Maury P, Cohen, RJ, Armoundas AA	Prospective guidance of primary prevention Implantable Cardioverter Defibrillator therapy by microvolt T- wave alternans testing.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
CIRCULATION JOURNAL	有	79	2015年	1912-1919

11.

著者名	論文標題			
Shunsuke Kiuchi, Shinji Hisatake, Muneyasu Kawasaki, Osamu	Addition of a renin-angiotensin-aldosterone system inhibitor to a calcium channel blocker ameliorates arterial stiffness.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Hirashima, Takayuki, Kabuki, Junichi Yamazaki, Ikeda T				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Clinical Pharmacology:	有	7	2015 年	395 -399

12.

著者名	論文標題			
Fujino T, Yamazaki Y, Yamazaki A, Kabuki T, Kikuchi S, Kobayashi K, Yamazaki J, Ikeda T	Efficacy of Dabigatran for Dissolving Deep Vein Thromboses in Outpatients with a Deteriorated General Condition - A Single Center Experience			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
International Heart Journal	有	56	2015 年	395-399

13.

著者名	論文標題			
Fujino T, Yamazaki Y, Tsubota T, Ikeda T	Early-Morning Type Ventricular Fibrillation with J Waves, Effectively Cured by the Oral Administration of Long-Acting Disopyramide.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
International Heart Journal	有	56	2015 年	459-461

14.

著者名	論文標題			
Ikeda T	Use of oral anticoagulants according to the degree of renal impairment in Japanese patients with atrial fibrillation: Which non-vitamin K antagonist oral anticoagulant to select?.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circ J	有	79	2015 年	1441 -1443

15.

著者名	論文標題			
Kazuhiro Matsuo, Itsuki Kimura, Maki Kitahara, Shinobu Hirayama, Takuya Yokoo, Yuki Hanai, Takaya Tsubota, Katsunori Yoshihara, Takayoshi Kosugi, Kenji Nishizawa and Takashi Yoshio.	A practical high-performance liquid chromatography-based assay for assessing ciprofloxacin blood concentrations that can be performed in hospitals: Application to pharmacokinetics- pharmacodynamics analysis for infectious patients.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Japanese Journal of Therapeutic Drug Monitoring	有	32	2015 年	1 -10

16.

著者名	論文標題			
Yamazaki-Hashimoto Y, Nakamura Y, Ohara H, Cao X, Kitahara K, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Yamazaki H, Ikeda T, Yamazaki J, Sugiyama A	Fluvoxamine by itself has potential to directly induce long QT syndrome at supra-therapeutic concentrations.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Toxicological Sciences	有	40	2015 年	33 -42

17.

著者名	論文標題			
Yuzo Katayama, Tsukasa Ozawa, Atsushi Iga, Shinji Hisatake, Yoshinori Watanabe	Surgical Repair of Aorta-Right Atrial Tunnel in an Adult.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Circulation journal: official journal of the Japanese Circulation Society	有	79	2015 年	1207 -1208
---	---	----	--------	------------

18.

著者名	論文標題			
Dobashi S, Fujino T, Ikeda T	Use of apixaban for an elderly patient with left atrial thrombus.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
BMJ Case Rep 2014	有		2014 年	1-2

19.

著者名	論文標題			
Takigawa M, Takahashi A, Kuwahara T, Okubo K, Takahashi Y, Watari Y, Takagi K, Fujino T, Kimura S, Hikita H, Tomita M, Hirao K	Long-term follow-up after catheter ablation of paroxysmal atrial fibrillation: the incidence of recurrence and progression of atrial fibrillation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Arrhythmia and Electrophysiology	有	7	2014 年	267 -273

20.

著者名	論文標題			
Kinoshita T, Ishikawa Y, Arita M, Akishima-Fukasawa Y, Fujita K, Inomata N, Suzuki T, Namiki A, Mikami T, Ikeda T, Yamazaki J, Ishii T, Akasaka Y	*1. Antifibrotic response of cardiac fibroblasts in hypertensive hearts through enhanced TIMP-1 expression by basic fibroblast growth factor			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cardiovascular Pathology	有	23	2014 年	92 -100

21.

著者名	論文標題			
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Takahashi Y, Okubo K, Takigawa M, Ikeda T	Assessment of Clinical Factors Associated with a Successful Catheter Ablation Outcome in Younger Patients with Atrial Fibrillation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J Cardiol	有	63	2014 年	438 -443

22.

著者名	論文標題			
Yamashita T, Watanabe E, Ikeda T, Shiga T, Kusano K, Takahashi N, Takahashi T, Nozaki A, Kasao M, Fukatsu T, Kawamura Y, Komatsu T, Matsumoto N, Arakawa T, Sugiura A, Iwao T, Ooie T	Observational study of the effects of dabigatran on gastrointestinal symptoms in patients with non-valvular atrial fibrillation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Arrhythmia	有	30	2014 年	478 -484

23.

著者名	論文標題			
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Takahashi Y, Okubo K, Takigawa M, Ikeda T	Assessment of clinical factors associated with a successful catheter ablation outcome in younger patients with atrial fibrillation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Cardiology	有	63	2014 年	438 -443

24.

著者名	論文標題			
-----	------	--	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Iga A, Wagatsuma K, Yamazaki J, Ikeda T	Transradial versus transfemoral coronary intervention for acute myocardial infarction complicated by cardiogenic shock: Is transradial coronary intervention suitable for emergency PCI in high-risk acute myocardial infarction?			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Invasive Cardiology	有	26	2014 年	196 -202

25.

著者名	論文標題			
Ogawa S, Ikeda T, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Miyamoto S, Murakawa Y, Iekushi K, Yamanaka S, Yamada T, Inuyama Y	Present profiles of novel anticoagulant use in Japanese patients with atrial fibrillation: Insights from the rivaroxaban post- marketing surveillance registry.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases	有	23	2014 年	2520 -2526

26.

著者名	論文標題			
Kuwahara T, Takahashi A, Takahashi Y, Okubo K, Takagi K, Fujino T, Kusa S, Takigawa M, Watari Y, Yamao K, Nakashima E, Kawaguchi N, Hikita H, Sato A, Aonuma K.	Incidences of esophageal injury during esophageal temperature monitoring: a comparative study of a multi-thermocouple temperature probe and a deflectable temperature probe in atrial fibrillation ablation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of interventional cardiac electrophysiology: an international journal of arrhythmias and pacing	有	39	2014 年	251 -257

27.

著者名	論文標題			
Watanabe I, Koizumi M, Tatebe J, Ikeda T, Morita T	Vascular Senescence in Chronic kidney Disease; Association of Aryl Hydrocarbon Receptor Activated by Indoxyl Sulfate.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Receptors & Clinical Investigation	有	1	2014 年	258 -263

28.

著者名	論文標題			
Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Yoshino H, Ikeda T	Independent and complementary utility of ambulatory electrocardiogram-based T-wave alternans and heart rate turbulence for predicting major cardiac events in patients after myocardial infarction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	77	2013 年	1086

26.

著者名	論文標題			
Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Yoshino H, Ikeda T	Simultaneous assessment of T-wave alternans and heart rate turbulence using Holter electrocardiograms as predictors for serious cardiac events in patients after myocardial infarction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	77	2013 年	432 -438

27.

著者名	論文標題			
Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M,	T-wave alternans and heart rate			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Tsukada T, Yusu S, Yoshino H, Ikeda T	turbulence in patients after myocardial infarction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	77	2013 年	830

28.

著者名	論文標題			
Nagai R, Kinugawa K, Inoue H, Atarashi H, Seino Y, Yamashita T, Shimizu W, Aiba T, Kitakaze M, Sakamoto A, Ikeda T, Imai Y, Daimon T, Fujino K, Nagano T, Okamura T, Hori M	Urgent management of rapid heart rate in patients with atrial fibrillation/flutter and left ventricular dysfunction: Comparison of the ultra-short-acting β 1-selective blocker landiolol with digoxin (J-Land study).			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circulation Journal	有	77	2013 年	908 -916

29.

著者名	論文標題			
鈴木健也, 池田隆徳	頻脈性心室不整脈			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
レジデントノート	有	6	2013 年	65 -73

30.

著者名	論文標題			
原田 昌彦, 煙草敏, 藤井悠一郎, 原文彦, 池田隆徳, 山口純一	高血圧治療患者におけるオルメサルタンの左室拡張能改善効果 ; Color Kinesis法による検討			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
循環器内科	有	73	2013 年	234 -240

31.

著者名	論文標題			
小林建三郎, 阿部敦子, 湯澤ひとみ, 佐藤秀之, 藤野紀之, 福永俊二, 岡野喜史, 山口純一, 池田隆徳	心室性心室性不整脈患者における心室 late potentials の長期再現性と経年変化に関する検討.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心臓	有	45	2013 年	8-11

32.

著者名	論文標題			
Ikeda T, Yusu S, Yokoyama Y, on behalf of the J-TWAICD investigators	Various patterns of intracardiac electrogram T-wave alternans prior to ventricular tachyarrhythmias in implantable cardioverter defibrillator patients.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Heart rhythm	有	9	2012 年	1033 -1037

33.

著者名	論文標題			
Merchant, FM, Ikeda T, Pedretti RFE, Salerno-Uriarte JA, Chow T, Chan PS, Bartone C, Hohnloser SH, Cohen RJ, Armondas AA	Clinical utility of microvolt T-wave alternans testing in Identifying patients at high or low risk of sudden cardiac death.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Heart rhythm	有	9	2012 年	1256 -1264

34.

著者名	論文標題			
Kobayashi K, Ikeda T	Irregular wide QRS complex tachycardia without structural heart disease.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Journal of Arrhythmia	有	28	2012 年	307 -309
-----------------------	---	----	--------	----------

35.

著者名	論文標題			
Verrier, RL, Klingenheben T, Malik M, El-Sherif N, Exner DV, Hohnloser SH, Ikeda T, Martinez JP, Narayan SM, Nieminen T, Rosenbaum DS	Microvolt T-wave alternans testing has a role in arrhythmia risk stratification.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of the American College of Cardiology	有	59	2012 年	1572 -1573

36.

著者名	論文標題			
Kinoshita T, Fujimoto S, Ishikawa Y, Yuzawa H, Fukunaga S, Toda M, Wagatsuma K, Akasaka Y, Ishii T, Ikeda T	Coronary arterial complications after percutaneous coronary intervention in Behcet's disease.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Research Reports in Clinical Cardiology	有	4	2012 年	9 -12

37.

著者名	論文標題			
Ashihara T, Haraguchi R, Nakazawa K, Namba T, Ikeda T, Nakazawa Y, Ozawa T, Ito M, Horie M, Trayanova NA	The role of fibroblasts in complex fractionated electrograms during persistent/permanent atrial fibrillation: implications for electrogram-based catheter ablation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circ Res	有	110	2012 年	275-284

38.

著者名	論文標題			
Shizuta S, Ando K, Nobuyoshi M, Ikeda T, Yoshino H, Hiramatsu S, Kazatani Y, Yamashiro K, Okajima K, Kajiya T, Kobayashi Y, Kato T, Fujii S, Mitsudo K, Inoue K, Ito H, Haruna Y, Doi T, Nishio Y, Ozasa N, Nishiyama K, Kita T, Morimoto T, Kimura T, For the PREVENT-SCD Investigators	Prognostic utility of T-wave alternans in a real-world population of patients with left ventricular dysfunction: the PREVENT-SCD study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Clin Res Cardiol	有	101	2012 年	89-99

39.

著者名	論文標題			
Shizuta S, Ando K, Nobuyoshi M, Ikeda T, Yoshino H, Hiramatsu S, Kazatani Y, Yamashiro K, Okajima K, Kajiya T, Kobayashi Y, Kato T, Fujii S, Mitsudo K, Inoue K, Ito H, Haruna Y, Doi T, Nishio Y, Ozasa N, Nishiyama K, Kita T, Morimoto T, Kimura T, For the PREVENT-SCD Investigators	Prognostic utility of T-wave alternans in a real-world population of patients with left ventricular dysfunction: the PREVENT-SCD study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Clin Res Cardiol	有	101	2012 年	89-99
------------------	---	-----	--------	-------

40.

著者名	論文標題			
Yusu S, Mera H, Hoshida K, Miyakoshi M, Miwa Y, Tsukada T, Yoshino H, Ikeda T	Selective site pacing from the right ventricular mid-septum: Follow up of lead performance and procedure technique.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Int Heart J	有	53	2012 年	113-116

41.

著者名	論文標題			
Miwa Y, Yoshino H, Hoshida K, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Ikeda T	Risk stratification for serious arrhythmic events using nonsustained ventricular tachycardia and heart rate turbulence detected by 24-hour Holter electrocardiograms in patients with left ventricular dysfunction.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Annals of noninvasive electrocardiology	有	17	2012 年	1-8

42.

著者名	論文標題			
Abe A, Kobayashi K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Okano Y, Yamazaki J, Miwa Y, Yoshino H, Ikeda T	Comparison of late potentials for 24 hours between Brugada syndrome and arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy using a novel signal-averaging system based on Holter ECG.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circ Arrhythm Electrophysiol	有	5	2012 年	789-795

43.

著者名	論文標題			
福永俊二、岡野喜史、湯澤ひとみ、佐藤秀之、藤野紀之、小林建三郎、山口純一、池田隆徳	血行動態の破綻をきたす先天性心疾患術後の心房頻拍stormに対して静注用β1遮断薬ランジオロールが奏功した1例。			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心臓	有	44	2012 年	203-209

44.

著者名	論文標題			
池田隆徳	心房細動治療におけるβ遮断薬の魅力：レート&リズムコントロール。			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心電図	無	32	2012 年	199-201

45.

著者名	論文標題			
池田隆徳、阿部敦子、三輪陽介、星田京子	J波を有する特発性心室細動患者のリスク評価と薬物効果			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心電図	無	32	2012 年	305-310

46.

著者名	論文標題			
Verrier, RL, Klinghenheben T, Malik M, El-Sherif N, Exner DV, Hohnloser SH, Ikeda T, Martinez JP, Narayan SM, Nieminen T, Rosenbaum DS	Microvolt T-wave alternans: Physiologic basis, methods of measurement, and clinical utility: Consensus statement by the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J Am Coll Cardiol	有	58	2011 年	1309-1324

47.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Miwa Y, Miyakoshi M, Hoshida K, Yanagisawa R, Abe A, Tsukada T, Ishiguro H, Mera H, Yusu S, Yoshino H, Ikeda T	Heart rate turbulence can predict cardiac mortality following myocardial infarction in patients with diabetes mellitus.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J Cardiovasc Electrophysiol	有	22	2011 年	1135-1140

48.

著者名	論文標題			
Ikeda T, Miwa Y, Abe A, Nakazawa K	Usefulness of heart rate turbulence for predicting cardiac events in patients with nonischemic dilated cardiomyopathy.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J Electrocardiol	有	44	2011 年	669-672

49

著者名	論文標題			
Haraguchi R, Ashihara T, Namba T, Tsumoto K, Murakami S, Kurachi Y, Ikeda T, Nakazawa K	Transmural dispersion of repolarization determines scroll wave behavior during ventricular tachyarrhythmias: A simulation study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Circ J	有	75	2011 年	80-88

8. 「超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発」

1.

著者名	論文標題			
Katagi J, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Honda A, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sugiyama A	Why can dl-sotalol prolong the QT interval in vivo despite its weak inhibitory effect on hERG K+ channels in vitro? Electrophysiological and pharmacokinetic analysis with the halothane-Anesthetized guinea pig model.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cardiovascular Toxicology	有	16(2)	2016 年	138-146

2.

著者名	論文標題			
Honda A, Nakamura Y, Ohara H, Cao X, Nomura H, Katagi J, Wada T, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sugiyama A	Effects of a prostaglandin EP4-receptor agonist ONO-AE1-329 on the left ventricular pressure-volume relationship in the halothane-anesthetized dogs.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
European journal of pharmacology	有	775	2016 年	130-137

3.

著者名	論文標題			
Wada T, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Nakazato Y, Sugiyama A	Antiviral drug vidarabine possessing cardiac type 5 adenylyl cyclase inhibitory property did not affect cardiohemodynamic or electrophysiological variables in the halothane-anesthetized dogs.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
J The Journal of Toxicological Sciences	有	41(1)	2016 年	115-122

4.

著者名	論文標題			
杉山篤, 中村裕二, 曹新, 和田剛, 中瀬	イヌ、サルおよびブタの房室ブロックモデルを用いた薬物の心臓安全			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

古(泉)寛子, 安東賢太郎	性評価.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心電図	有	36(Suppl)	2016年	94-98

5.

著者名	論文標題			
安東賢太郎, 中村裕二, 曹新, 小原浩, 中瀬古(泉)寛子, 杉山篤	覚醒下にあるイヌの自律神経機能評価におけるヒト用検査装置の応用性に関する検討.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
動物の循環器	有	48(2)	2015年	57-63

6.

著者名	論文標題			
安東賢太郎, 小原浩, 中村裕二, 曹新, 中瀬古(泉)寛子, 杉山篤	ヒト用呼吸バックでの用手的換気が原因で緊張性気胸を発症したマイクロミニピッグの1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
動物の循環器	有	48(1)	2015年	15-20

7.

著者名	論文標題			
安東賢太郎, 中村裕二, 曹新, 小原浩, 中瀬古(泉)寛子, 杉山篤	ヒト用呼吸バックでの用手的換気が原因で緊張性気胸を発症したマイクロミニピッグの1例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
動物の循環器	有	48(1)	2015年	9-13

8.

著者名	論文標題			
Cao X, Lu S, Ohara H, Nakamura Y, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Bingmei Zhu B, Xu B, Sugiyama A	Beneficial and adverse effects of electro-acupuncture assessed in the canine chronic atrio-ventricular block model having severe hypertension and chronic heart failure.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Acupuncture & Electro-Therapeutics Research	有	40(2)	2015年	87-99

9.

著者名	論文標題			
Watanabe Y, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Yamazaki Y, Murayama N, Sugiyama Y, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Yamazaki H, Sugiyama A	Intravenous administration of apomorphine does not induce long QT syndrome: experimental evidence from In vivo canine models.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Basic & clinical pharmacology & toxicology	有	116	2015年	468-475

10.

著者名	論文標題			
Ohara H, Nakamura Y, Watanabe Y, Xin Cao, Yamazaki Y, Nakaseko H, Ando K, Yamazaki H, Yamazaki J, Ikeda T, Sugiyama A	Azithromycin can prolong QT interval and suppress ventricular contraction, but will not induce torsade de pointes.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cardiovascular toxicology	有	15(3)	2015年	232-240

11.

著者名	論文標題			
Nomura H, Nakamura Y, Cao X, Honda A, Katagi J, Ohara H, Izumi-Nakaseko H, Satoh Y, Ando	Cardiohemodynamic and electrophysiological effects of a selective EP4 receptor agonist ONO-AE1-329 in the halothane-anesthetized dogs.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

K, Sugiyama A				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
European journal of pharmacology	有	761	2015 年	217-225

12.

著者名	論文標題			
Lu S, Cao X, Ohara H, Nakamura Y, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Liu W, Sugiyama A, Zhu B	*1. <u>Common parameters of acupuncture for the treatment of hypertension used in animal models.</u>			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Traditional Chinese Medicine	有	35(3)	2015 年	343-348

13.

著者名	論文標題			
Matsuo J, Nakamura Y, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sekino Y, Sugiyama A	*2. <u>Possible effects of inhibition of IKr and IKs on field-potential waveforms in the human iPS cell-derived cardiomyocytes sheet.</u>			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of pharmacological sciences	有	128	2015 年	92-95

14.

著者名	論文標題			
Yamazaki-Hashimoto Y, Nakamura Y, Ohara H, Cao X, Kitahara K, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Yamazaki H, Ikeda T, Yamazaki J, Sugiyama A	Fluvoxamine by itself has potential to directly induce long QT syndrome at supra-therapeutic concentrations.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
The Journal of Toxicological Sciences	有	40(1)	2015 年	33-42

15.

著者名	論文標題			
Izumi-Nakaseko H, Nakamura Y, Cao X, Ohara H, Yamazaki Y, Ueda N, Ando K, Sugiyama A	Effects of selective IKr channel blockade by E-4031 on ventricular electro-mechanical relationship in the halothane-anesthetized dogs.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
European Journal of Pharmacology	有	740	2014 年	263-270

16.

著者名	論文標題			
Okumura S, Fujita T, Cai W, Jin M, Namekata I, Mototani Y, Jin H, Ohnuki Y, Tsuneoka Y, Kurotani R, Suita K, Kawakami Y, Hamaguchi S, Abe T, Kiyonari H, Tsunematsu T, Bai Y, Suzuki S, Hidaka Y, Umemura M, Ichikawa Y, Yokoyama U, Sato M, Ishikawa F, Izumi-Nakaseko H, Adachi-Akahane S, Tanaka H,	Epac1-dependent phospholamban phosphorylation mediates the cardiac response to stresses.			

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Ishikawa Y				
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of Clinical Investigation	有	124(6)	2014年	2785-2801

17.

著者名	論文標題			
Nakamura Y, Matsuo J, Miyamoto N, Ojima A, Ando K, Kanda Y, Sawada K, Sugiyama A, Sekino Y	*3. Assessment of testing methods for drug-induced repolarization delay and arrhythmias in an iPS cell-derived cardiomyocyte sheet: multi-site validation study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Journal of pharmacological sciences	有	124(4)	2014年	494-501

18.

著者名	論文標題			
Yagi Y, Nakamura Y, Kitahara K, Harada T, Kato K, Ninomiya T, Cao X, Ohara H, Izumi-Nakaseko H, Suzuki K, Ando K, Sugiyama A	Analysis of Onset Mechanisms of a Sphingosine 1-Phosphate Receptor Modulator Fingolimod-Induced Atrioventricular Conduction Block and QT-Interval Prolongation.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Toxicology and applied pharmacology	有	16	2014年	39-47

20.

著者名	論文標題			
中瀬古(泉)寛子, 中村裕二, 曹新, 小原浩, 安東賢太郎, 杉山篤	超小型ミニブタの開発経緯と病態モデル・評価系としての応用例.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
心血管薬物療法	有	1(2)	2014年	43-48

21.

著者名	出版者		
杉山 篤	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
不整脈に対する薬理作用. 不整脈概論	2013年	5	

22.

著者名	出版者		
杉山 篤	厚生労働省		
書名	発行年	総ページ数	
*4. ヒト由来幹細胞の安全性薬理試験への応用可能性のための調査研究 ―ポストQTとしてNa+チャンネル抑制作用― ヒト由来幹心筋の安全性薬理実験のプロトコールの提案. 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業平成23年度総括研究報告書	2012年	5	

23.

著者名	出版者		
杉山 篤	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
Torsades de pointes (Tdp) のモデル. 不整脈学	2012年	5	

24.

著者名	出版者		
杉山 篤	厚生労働省		
書名	発行年	総ページ数	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

*5. ヒト由来幹細胞の安全性薬理試験への応用可能性のための調査研究：ヒト由来幹細胞の安全性薬理試験のプロトコールの提案. 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業平成22年度総括研究報告書	2011年	3
--	-------	---

9. 「超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創生」

1.

著者名	論文標題			
Hirata H, Hinoda Y, Shahryari V, Deng G, Nakajima K, Tabatabai ZL, Ishii N, Dahiya R	Long Noncoding RNA MALAT1 Promotes Aggressive Renal Cell Carcinoma through Ezh2 and Interacts with miR-205.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Cancer research	有	75(7)	2015年	1322-1331

2.

著者名	論文標題			
Shimizu T, Shinohara M, Tai T, Nagao K, Nakajima K, Kobayashi H	*1. Derivation of integration-free iPSCs from a Klinefelter syndrome patient.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Reproductive Medicine and Biology	有	15	2015年	35-43

3.

著者名	論文標題			
Taniguchi H, Iwamoto T, Ichikawa T, Nagai A, Okada H, Fujisawa M, Tsujimura A, Shiraishi K, Hibi H, Nagao K, Iwasaki A, Kamba T, Tomomasa H, Takada S, Matsuda T	Contemporary outcomes of seminal tract re-anastomoses for obstructive azoospermia: A nationwide Japanese survey.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
International Journal of Urology	有	22(2)	2015年	213-218

4.

著者名	論文標題			
Kobayashi H, Tai T, Nagao K, Nakajima K	*2. The Minipig - A New Tool in Stem Cell Research.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Pluripotent Stem Cell Biology	有		2014年	197-209

5.

著者名	論文標題			
Kobayashi H, Nagao K, Nakajima K	*3. Therapeutic advances in the field of male infertility: Stem cell research			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Advances Studies in Medical Sciences	有	1	2013	39 -54

6.

著者名	論文標題			
Kobayashi H, Nagao K, Nakajima K	Genetic factors of male infertility.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Infertility	有		2013年	95 -106

7.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	論文標題			
Kobayashi H, Nagao K, Nakajima K	Focus Issue on Male Infertility.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Advances in Urology	有	2012	2011 年	1-6

8.

著者名	論文標題			
Utsumi T, Ueda T, Fukasawa S, Komaru A, Kobayashi M, Sazuka T, Suyama T, Kawamura K, Imamoto T, Nihei N, Suzuki H, Ichikawa T	External validation of a pre-operative prognostic nomogram for renal cell carcinoma in two patient populations: A retrospective cohort study.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Japanese Journal of Clinical Oncology	有	41	2011 年	1147-1151

9.

著者名	論文標題			
Hu J, Nagao K, Tai T, Ozaki Y, Kobayashi H, Nakajima K	Experiences in treating idiopathic scrotal drooping.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Jpn J Sex Med	有	26	2011 年	261-267

10.

著者名	論文標題			
Kobayashi H, Nagao K, Nakajima K	*4. Stem cell research for male infertility.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
Reproductive Medicine and Biology	有	10	2011 年	171-174

11.

著者名	論文標題			
永尾光一, 小林秀行, 田井俊宏, 尾崎由美	陰茎彎曲症とペロニー病の治療 保存的治療と観血的治療.			
雑誌名	レフェリー有無	巻	発行年	ページ
臨泌	有	65	2011 年	409-415

<図書>

1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応」

1.

著者名	出版者		
内藤 拓	日本臨床社		
書名	発行年	総ページ数	
lkarosファミリータンパクと白血病：ゲノムワイド解析から分子標的へ：分子標的薬がから他疾患までの治療をめざして	2012 年	4	

2. 「慢性炎症性疾患におけるアディポカインネットワークの関与」

1.

著者名	出版者		
川合眞一, 尾崎承一 監訳：川合眞一, 尾崎承一 [監訳]	メディカル・サイエンス・インターナショナル		
書名	発行年	総ページ数	
Part15. 関節および隣接組織の疾患. ハリソン内科学 第4版 (原著第18版)	2013 年	184	

2.

著者名	出版者
-----	-----

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

川合眞一	南江堂		
書名		発行年	総ページ数
8. 免疫抑制薬 9. 副腎皮質ステロイド 10. 鎮痛薬(非ステロイド抗炎症薬など) 11. 抗リウマチ薬 (DMARDs) . 今日の治療薬 解説と便覧 2013		2013 年	4

3.

著者名	出版者		
川合眞一	南江堂		
書名		発行年	総ページ数
関節リウマチ. 反応性関節炎. 疾患・症状別 今日の治療と看護(改訂第3版)		2013 年	2

4.

著者名	出版者		
川合眞一	文光堂		
書名		発行年	総ページ数
抗体医薬. 基本薬の選び方と使い方のコツ		2013 年	3

5.

著者名	出版者		
川合眞一	新興医学出版社		
書名		発行年	総ページ数
3 ステロイドの種類. ポケットサイズのステロイド診療マニュアル		2013 年	7

6.

著者名	出版者		
川合眞一	診断と治療社		
書名		発行年	総ページ数
膠原病・リウマチ疾患治療薬の効果と副作用. EXPERT 膠原病・リウマチ(改訂第3版)		2013 年	7

7.

著者名	出版者		
川合眞一	医学書院		
書名		発行年	総ページ数
診療ガイドライン. 18. 関節リウマチの診療マニュアル 診断のマニュアルとEBMに基づく治療ガイドライン(2004). 今日の治療指針2013年版		2013 年	5

8.

著者名	出版者		
川合眞一	医学書院		
書名		発行年	総ページ数
膠原病および類縁疾患. ベーチェット病(内科). 今日の治療指針 2013 年版		2013 年	3

9.

著者名	出版者		
川合眞一	メジカルレビュー社		
書名		発行年	総ページ数
Ⅲ. くすりで痛みをコントロールする 3 NSAIDs外用剤はどのように使用すればよいですか?. 運動器の痛みをとる・やわらげるー現場で使えるペインコントロールー		2012 年	3

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

10.

著者名	出版者		
川合眞一	メジカルレビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
川くすりで痛みをコントロールする 4 NSAIDsの薬物相互作用について教えてください。運動器の痛みをとる・やわらげるー現場で使えるペインコントロールー	2012年	3	

11.

著者名	出版者		
川合眞一	医薬ジャーナル社		
書名	発行年	総ページ数	
ステロイド内用剤とは？. 正しいステロイド剤の使い方 1. 内用剤編 改訂3版	2012年	4	

12.

著者名	出版者		
川合眞一	医薬ジャーナル社		
書名	発行年	総ページ数	
6. 生物学的製剤の効果判定はどのように行うか？～薬効評価～. 正しい生物学的製剤の使い方 関節リウマチ (改訂版)	2012年	9	

13.

著者名	出版者		
川合眞一	西村書店		
書名	発行年	総ページ数	
関節リウマチ. 内科学	2012年	7	

14.

著者名	出版者		
川合眞一	総合医学社		
書名	発行年	総ページ数	
鎮痛薬の使用指針. 運動器診療 最新ガイドライン	2012年	5	

15.

著者名	出版者		
川合眞一	医学書院		
書名	発行年	総ページ数	
診療ガイドライン. 18. 関節リウマチの診療マニュアル 診断のマニュアルとEBMに基づく治療ガイドライン (2004). 今日の治療指針2012年版	2012年	5	

16.

著者名	出版者		
川合眞一	医学書院		
書名	発行年	総ページ数	
膠原病および類縁疾患. ステロイドの副作用と対策. 今日の治療指針 2012年版	2012年	2	

17.

著者名	出版者		
川合眞一	南江堂		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

書名	発行年	総ページ数
8.免疫抑制薬 9.副腎皮質ステロイド 10.非ステロイド抗炎症薬, 鎮痛・解熱薬, 総合感冒薬 11.抗リウマチ薬. 今日の治療薬 解説と便覧 2012	2012年	4

18.

著者名	出版者
川合眞一	医歯薬出版株式会社

書名	発行年	総ページ数
低分子DMARD中止は可能か. 別冊・医学のあゆみ: 関節リウマチー“治癒をめざす”最新治療コンセンサス	2011年	5

19.

著者名	出版者
Kusunoki N, Kitahara K, Kawai S	CRC

書名	発行年	総ページ数
*2. Adiponectin enhances inflammation in rheumatoid synovial fibroblasts and chondrocytes. Adipokines	2011年	13

20.

著者名	出版者
川合眞一	医学書院

書名	発行年	総ページ数
抗炎症薬・抗リウマチ薬. 臨床薬理学 (第3版)	2011年	5

3. 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」

1.

著者名	出版者
池田隆徳	医学書院

書名	発行年	総ページ数
検査総論: 遅延電位、T波交互現象. 今日の循環器疾患治療指針	2013年	4

2.

著者名	出版者
池田隆徳	医学書院

書名	発行年	総ページ数
検査総論: 自律神経機能検査/指標. 今日の循環器疾患治療指針	2013年	4

3.

著者名	出版者
池田隆徳	メジカルビュー社

書名	発行年	総ページ数
検査編: 加算平均心電図・T wave alternans. 不整脈概論: 専門医になるためのエッセシャルブック	2013年	8

4.

著者名	出版者
池田隆徳	メジカルビュー社

書名	発行年	総ページ数
治療編: 抗不整脈薬 (チャネル・受容体遮断薬). 不整脈概論: 専門医になるためのエッセシャルブック	2013年	8

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

5.

著者名	出版者		
池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
不整脈概論：専門医になるためのエッセシャルブック	2013 年	1	

6.

著者名	出版者		
池田隆徳	診断と治療社		
書名	発行年	総ページ数	
神経内科的な訴え：失神. 診断と治療：主訴から診断	2013 年	6	

7.

著者名	出版者		
池田隆徳	中外医学社		
書名	発行年	総ページ数	
心電図スマートブック	2013 年	282	

8.

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
これでわかる心房細動の診かたと治療—内科医のためのガイドラインに即した手びき：改訂第 2 版	2013 年	145	

9.

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
特発性心室頻拍と遺伝性の致死性心室頻拍：遺伝子疾患としての Brugada 症候群. 不整脈学	2013 年	3	

10.

著者名	出版者		
池田隆徳	羊土社		
書名	発行年	総ページ数	
疾患編：発作性心房細動. 改訂版：循環器治療薬の選び方・使い方	2013 年	7	

11.

著者名	出版者		
池田隆徳	羊土社		
書名	発行年	総ページ数	
疾患編：慢性心房細動のレートコントロール. 改訂版：循環器治療薬の選び方・使い方	2013 年	4	

12.

著者名	出版者		
池田隆徳	羊土社		
書名	発行年	総ページ数	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

改訂版：循環器治療薬の選び方・使い方	2013年	1
--------------------	-------	---

13.

著者名	出版者		
池田隆徳	羊土社		
書名	発行年	総ページ数	
薬剤編：抗不整脈薬（Na チャネル遮断薬）. 改訂版：循環器治療薬の選び方・使い方	2013年	5	

14.

著者名	出版者		
池田隆徳	羊土社		
書名	発行年	総ページ数	
薬剤編：抗不整脈薬（K チャネル遮断薬）. 改訂版：循環器治療薬の選び方・使い方	2013年	5	

15.

著者名	出版者		
久武真二, 池田隆徳	MEDICAL VIEW社		
書名	発行年	総ページ数	
強心薬・カテコラミン・hANP・PDEIII 阻害薬. 循環器治療薬ベストチョイス	2012年	18	

16.

著者名	出版者		
池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
連携して痛みをコントロールする：循環器疾患を見逃さないコツはなんですか？. 運動器の痛みをとる・やわらげる	2012年	3	

17.

著者名	出版者		
池田隆徳	医学出版		
書名	発行年	総ページ数	
心電図検査の基本：心電図の原理. 臨床医のための心電図レッスン	2012年	6	

18.

著者名	出版者		
池田隆徳	医学出版		
書名	発行年	総ページ数	
臨床医のための心電図レッスン	2012年	1	

19.

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
特発性心室頻拍と遺伝性の致死性心室頻拍：Brugada 症候群の診断と治療. 不整脈学	2012年	4	

20.

著者名	出版者		
池田隆徳	医学書院		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

書名	発行年	総ページ数
循環器薬：I群抗不整脈薬. medicina 増刊号：いま、内科薬はこう使う	2012年	3

21.

著者名	出版者	
小林建三郎, 池田隆徳	文光堂	
書名	発行年	総ページ数
突然死のハイリスク症例をいかに見つけ出すか. Medical Practice	2012年	6

22.

著者名	出版者	
池田隆徳	中外医学社	
書名	発行年	総ページ数
早期再分極症候群（J波症候群）とは何か？どのように対処すべきか？. EBM循環器疾患の治療 2012-2013	2012年	5

23.

著者名	出版者	
池田隆徳	メディカ出版	
書名	発行年	総ページ数
序文. 不整脈のアブレーション・デバイス治療マニュアル：ベーシックからプロフェッショナルスキルまで	2012年	1

24.

著者名	出版者	
池田隆徳	南江堂	
書名	発行年	総ページ数
心室期外収縮. 循環器疾患最新の治療 2012-2013	2012年	5

25.

著者名	出版者	
池田隆徳	メジカルビュー社	
書名	発行年	総ページ数
ステップアップのためのベースライン：不整脈の分類と発生メカニズム. ステップアップのための不整脈診療ガイドブック	2011年	8

26.

著者名	出版者	
池田隆徳	メジカルビュー社	
書名	発行年	総ページ数
実践！不整脈別診療スキルアップガイド：徐脈性不整脈：房室ブロック. ステップアップのための不整脈診療ガイドブック	2011年	12

27.

著者名	出版者	
池田隆徳	メジカルビュー社	
書名	発行年	総ページ数
症例の実際：β遮断薬間で違いはありますか？. ファーマナビゲーターβ遮断薬編改訂版	2011年	5

28.

著者名	出版者
-----	-----

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
術中管理：不整脈出現時。外科医のための循環器必須知識	2011年	6	

29.

著者名	出版者		
池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
序文。ステップアップのための不整脈診療ガイドブック	2011年	1	

30.

著者名	出版者		
池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
術前にチェックしなければならない循環器疾患：頻脈性不整脈、徐脈性不整脈、致死性不整脈。外科医のための循環器必須知識	2011年	6	

31.

著者名	出版者		
池田隆徳	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
各種血栓性疾患の病態に応じた抗血栓療法をいかに考えるか？：不整脈疾患。そこが知りたい抗血栓療法	2011年	15	

32.

著者名	出版者		
池田隆徳	メディカルレビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
T波交互現象（T-wave alternans）。Medical Topics Series 不整脈 2011	2011年	18	

33.

著者名	出版者		
池田隆徳	医歯薬出版		
書名	発行年	総ページ数	
非侵襲的検査指標による心事故の予知。医学のあゆみ：ここまで進んだ不整脈研究の最新動向	2011年	6	

34.

著者名	出版者		
池田隆徳	医歯薬出版		
書名	発行年	総ページ数	
失神。症状からアプローチするプライマリケア	2011年	5	

35.

著者名	出版者		
池田隆徳	朝日新聞出版		
書名	発行年	総ページ数	
各種血栓性疾患の病態に応じた抗血栓療法をいかに考えるか？：不整脈疾患。新名医の最新治療	2011年	15	

36.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
すべてがわかる不整脈診療エッセンス	2011年	123	

37.

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
抗不整脈薬服用中の失神—どうする！？. 不整脈診療のトラブルシューティング	2011年	4	

38.

著者名	出版者		
池田隆徳	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
心房細動の心拍数はどこまで下げる！？. 不整脈診療のトラブルシューティング	2011年	4	

4. 「超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発」

1.

著者名	出版者		
杉山 篤	メジカルビュー社		
書名	発行年	総ページ数	
不整脈に対する薬理作用. 不整脈概論	2013年	5	

2.

著者名	出版者		
杉山 篤	厚生労働省		
書名	発行年	総ページ数	
*7 ヒト由来幹細胞の安全性薬理試験への応用可能性のための調査研究 —ポ ストQTとしてNa ⁺ チャンネル抑制作用— ヒト由来幹心筋の安全性薬理実験 のプロトコールの提案. 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研 究事業平成23年度総括研究報告書	2012年	5	

3.

著者名	出版者		
杉山 篤	南江堂		
書名	発行年	総ページ数	
Torsades de pointes (Tdp) のモデル. 不整脈学	2012年	5	

4.

著者名	出版者		
杉山 篤	厚生労働省		
書名	発行年	総ページ数	
ヒト由来幹細胞の安全性薬理試験への応用可能性のための調査研究：ヒト由来 幹心筋の安全性薬理実験のプロトコールの提案. 医薬品・医療機器等レギュラ トリーサイエンス総合研究事業平成22年度総括研究報告書	2011年	3	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

<学会発表>

上記、11(4)に記載した研究成果に対応するものには ** を付した。

1. 「SATB1 遺伝子による T 細胞分化と慢性炎症反応」

1.

発表者名	発表タイトル		
Okada Y, Ishikawa F, Saito F, Ogata H, <u>Kondo M</u>	Study of signal molecules and CXCR4 expression related with bone metastasis from breast cancer.		
学会名	開催地	発表年月	
The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology	Sapporo, Hokkaido	2015 年 11 月	

2.

発表者名	発表タイトル		
Matsui Y, Naito T, Tanaka Y, <u>Kondo M</u>	Eed affects the differentiation of CD8a+ TCRab+ intraepithelial lymphocytes.		
学会名	開催地	発表年月	
The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology	Sapporo, Hokkaido	2015 年 11 月	

3.

発表者名	発表タイトル		
Naito T, Tanaka Y, Taniuchi I, <u>Kondo M</u>	Role of Eed in TGFb-induced Th subset differentiation.		
学会名	開催地	発表年月	
The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology	Sapporo, Hokkaido	2015 年 11 月	

4.

発表者名	発表タイトル		
Akiba Y, Kuwabara T, Tanaka Y, Naito T, <u>Kondo M</u>	**1. Nuclear protein SATB1 is required for development of experimental autoimmune encephalomyelitis		
学会名	開催地	発表年月	
The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology	Sapporo, Hokkaido	2015 年 11 月	

5.

発表者名	発表タイトル		
Tanaka Y, Inoue A, <u>Kondo M</u>	CD4+ effector T cells produce both IFN γ and IL-4.		
学会名	開催地	発表年月	
The 44th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology	Sapporo, Hokkaido	2015 年 11 月	

6.

発表者名	発表タイトル		
田中ゆり子, 桑原卓, 秋葉靖, Terumi Kohwi-Shigematsu, <u>近藤元就</u>	**2. SATB1 欠損による自己免疫疾患発症機序の解析.		
学会名	開催地	発表年月	
Kyoto T cell Conference 第 25 回学術集会	京都, 日本	2015 年 5 月	

7.

発表者名	発表タイトル		
Okada Y, Ishikawa F, Saito F, Ogata H, <u>Kondo M</u>	Study of signal molecules and CXCR4 expression related with bone metastasis from breast cancer.		
学会名	開催地	発表年月	
43rd Annual Meeting of Japanese Society for Immunology	Kyoto	2014 年 12 月	

8.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Kuwabara T, Akiba Y, Tanaka Y, Naito T, Kondo M	**3. <u>SATB1 is required for development of experimental autoimmune encephalomyelitis.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
43rd Annual Meeting of Japanese Society for Immunology	Kyoto	2014年 12月	

9.

発表者名	発表標題		
Naito T, Muroi S, Taniuchi I, Kondo M	Role of Eed in T-cell lineage decision and maintenance.		
学会名	開催地	発表年月	
43rd Annual Meeting of Japanese Society for Immunology	Kyoto	2014年 12月	

10.

発表者名	発表標題		
Fujita K, Kuwabara T, Bing W, Tanaka K, Akasaka Y, Mikami T	Difference in radio-sensitivity between CD180-positive and -negative splenic B cells.		
学会名	開催地	発表年月	
43rd Annual Meeting of Japanese Society for Immunology	Kyoto	2014年 12月	

11.

発表者名	発表標題		
Tanaka Y, Sotome T, Kuwabara T, Akiba Y, Kondo M	**4. <u>The function of SATB1 in a mouse model for sogren's syndrome.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
43rd Annual Meeting of Japanese Society for Immunology	Kyoto	2014年 12月	

12.

発表者名	発表標題		
早乙女壮彦, 渡邊美砂, 正田八州穂, 小峰由美子, 田中ゆり子, 郭向華, 近藤元就, 佐地勉	**5. <u>SATB1 遺伝子欠損マウスにおける自己免疫疾患の病態解析.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 26 回 日本アレルギー学会春季臨床大会	京都, 日本	2014年 5月	

13.

発表者名	発表標題		
内藤拓, 室井佐和子, 谷内一郎	細胞系譜特異的な遺伝子サイレンサーの機能は周辺クロマチン環境に影響される		
学会名	開催地	発表年月	
日本分子生物学会	福岡市	2012年 12月	

14.

発表者名	発表標題		
有田通恒, 児井稔, 久郷裕之, 近藤元就, 逸見仁道	DNA ミスマッチ修復遺伝子 MSH3 による EMAST 腫瘍発生の分子機構		
学会名	開催地	発表年月	
第 35 回日本分子生物学会年会	福岡	2012年 12月	

15.

発表者名	発表標題		
Taku Kuwabara, Motonari Kondo	Acetylation modulates interleukin-2 receptor signaling.		
学会名	開催地	発表年月	
第 35 回日本分子生物学会	福岡	2012年 12月	

16.

発表者名	発表標題		
直江吉則, 内藤拓, 久保久美子, 土屋由加子, 原恵子, 古関明彦, 谷内一郎	Cxyc5, ThPOK target gene, suppresses CD4+ helper T cell functions during CD8+cytotoxic T differentiation.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
日本免疫学会	神戸	2012年12月

17.

発表者名	発表標題		
逸見仁道, 有田通恒, 柴田祐充子, 岩崎維和夫, 黒岩実, 中川原章, 近藤元就	神経芽腫における低酸素下での MAPK 経路による N-myc の活性化		
学会名	開催地	発表年月	
第 54 回日本小児血液・がん学会学術集会	横浜	2012年12月	

18.

発表者名	発表標題		
岡田弥生, 石川文雄, 齋藤美美, 緒方秀昭, 近藤元就	Proreferation of ZR-75-1 was controlled by RANK.		
学会名	開催地	発表年月	
第 71 回日本癌学会学術総会	札幌	2012年09月	

19.

発表者名	発表標題		
石川文雄, 桑原卓, 田中ゆり子, 有田通恒, 垣内史堂, 近藤元就	実験的自己免疫性脳脊髄炎に体するエタノール作用について		
学会名	開催地	発表年月	
日本生体防御学会	東京	2012年07月	

20.

発表者名	発表標題		
谷内一郎, 内藤拓, 田中宏和, 室井佐和子	ThPOK 遺伝子座のシス制御領域の相互作用の解析		
学会名	開催地	発表年月	
Kyoto T Cell Conference	京都	2012年07月	

21.

発表者名	発表標題		
岡田弥生, 石川文雄, 齋藤美美, 緒方秀昭, 近藤元就	乳癌転移機構に關与するシグナル因子の解明		
学会名	開催地	発表年月	
第20回日本乳癌学会学術総会	熊本	2012年06月	

22.

発表者名	発表標題		
Yayoi Okada, Fumio Ishikawa, Fumi Saito, Hideaki Ogata, Motonari Kondo	Study of signal molecules related with bone metastasis from breast cancer.		
学会名	開催地	発表年月	
Annual meeting of the Japanese society of Immunology	Kobe	2012年12月	

23.

発表者名	発表標題		
田中ゆり子, Guo Xianghua, 桑原卓, 向津隆規, 石川文雄, 近藤元就	**6. SATB1 is necessary for the establishment of immune tolerance.		
学会名	開催地	発表年月	
Proceeding of the Japanese Society for Immunology	神戸	2012年12月	

24.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Hiromichi Hemmi, Michitsune Arita, Junichi Koike, Yoshinori Kikuchi, Kimihiko Funahashi, Takahito Ohira, Hiroyuki Kugoh, <u>Motonari Kondo</u>	Hypoxic down-regulation of DNA mismatch repair gene hMSH3 and genetic instability of colorectal cancer.		
学会名	開催地	発表年月	
第 71 回日本癌学会学術総会	札幌	2012 年 09 月	

25.

発表者名	発表標題		
<u>Kondo M</u>	Functions of cytokines in lineage commitment during hemato/lymphopoiesis.		
学会名	開催地	発表年月	
2011 FASEB Summer Research Conference	Snowmass Village, Colorado	2011 年 07 月	

2. 「慢性炎症におけるアディポカインネットワークの関与」

1.

発表者名	発表標題		
Tanaka Y, Takeuchi T, Umehara H, Nanki T, Akama H, Yasuda N, Tago F, Kawakubo M, Hojo S, Kawano T, Imai T	Safety and Efficacy of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody in a First-in-Patient Phase 1/2 Study in Rheumatoid Arthritis.		
学会名	開催地	発表年月	
2015 ACR/ARHP Annual Meeting	San Francisco, USA	2015 年 11 月	

2.

発表者名	発表標題		
川添麻衣	ステロイド性骨粗鬆症における Wnt シグナルの臨床的意義.		
学会名	開催地	発表年月	
TROIS 懇話会	東京	2015 年 9 月	

3.

発表者名	発表標題		
<u>Kawai S</u>	Low molecular weight immunosuppressant therapy of autoimmune diseases.		
学会名	開催地	発表年月	
12th World Congress on Inflammation	Boston, USA	2015 年 8 月	

4.

発表者名	発表標題		
川合眞一	**1. 炎症とアディポカイン.		
学会名	開催地	発表年月	
第 36 回日本炎症・再生医学会	東京	2015 年 7 月	

5.

発表者名	発表標題		
Fujio N, Muraoka S, Shikano K, Kaburaki M, Kawazoe M, Shindo E, Sato H, Masuoka S, Tanaka N, Kaneko K, Yamamoto T, Kusunoki N, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	Suppression of adrenal function is obvious when compared to that of pituitary function in patients with systemic autoimmune diseases after glucocorticoid therapy.		
学会名	開催地	発表年月	
European League Against Rheumatism (EULAR)	Rome, Italy	2015 年 6 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

2015)		
-------	--	--

6.

発表者名	発表標題	
Sato H, Muraoka S, Kusunoki N, Kawazoe M, Masuoka S, Shindo E, Fujio N, Shikano K, Kaburaki M, Tanaka N, Kaneko K, Yamamoto T, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	**2. <u>Resistin directly stimulates chemokine gene expressions in rheumatoid synovial fibroblasts: DNA microarray analysis.</u>	
学会名	開催地	発表年月
European League Against Rheumatism (EULAR 2015)	Rome, Italy	2015 年 6 月

7.

発表者名	発表標題	
Takahashi Y, Fujimoto M, Serada S, Ogata A, Nanki T, Hattori K, Takeuchi T, Tetsuji Naka S	Leucine-rich alpha-2 glycoprotein (LRG) as a potential disease activity marker during IL-6 blockade in autoimmune arthritis.	
学会名	開催地	発表年月
European League Against Rheumatism (EULAR 2015)	Rome, Italy	2015 年 6 月

8.

発表者名	発表標題	
村岡成, 楠夏子	**3. <u>関節リウマチ患者由来滑膜線維芽細胞におけるレジスチンの作用に関する研究.</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 146 回東邦医学会例会	東京	2015 年 6 月

9.

発表者名	発表標題	
南木敏宏	<u>関節リウマチに対する生物学的製剤の使い方.</u>	
学会名	開催地	発表年月
膠原病マネジメントセミナー	東京	2015 年 6 月

10.

発表者名	発表標題	
Saji BT, Takatsuki S, Kenmotsu Y, Naoi K, Ikehara S, Nakayama T, Matsuura H, Kusunoki N, <u>Kawai S</u>	**4. <u>Midkine, a new functional cytokine, increased after IVIG may protect from vascular injury in acute Kawasaki disease.</u>	
学会名	開催地	発表年月
International Kawasaki Disease Symposium 2015	Honolulu, Hawaii	2015 年 2 月

11.

発表者名	発表標題	
Kaburaki M, Kaneko K, Shikano K, Kawazoe M, Shindo E, Sato H, Hasunuma T, Fujio N, Muraoka S, Tanaka N, Yamamoto T, Kusunoki N, <u>Kawai S</u> , Masuoka S	**5. <u>Changes in serum soluble RANKL and osteoprotegerin levels after teriparatide administration in rheumatic disease patients with glucocorticoid-induced osteoporosis.</u>	
学会名	開催地	発表年月
2014 ACR/ARHP Annual Meeting	Boston, USA	2014 年 11 月

12.

発表者名	発表標題	
Kawazoe M, Shikano K, Kaneko	**6. <u>Significance of serum marker levels of Wnt/β-catenin signaling</u>	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

K, Masuoka S, Sato H, Shindo E, Fujio N, Muraoka S, Kaburaki M, Tanaka N, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	<u>pathway in patients with systemic autoimmune diseases under glucocorticoid therapy: a prospective study.</u>	
学会名	開催地	発表年月
2014 ACR/ARHP Annual Meeting	Boston, USA	2014年 11月

13.

発表者名	発表標題	
Shikano K, Kaneko K, Kawazoe M, Masuoka S, Sato H, Shindo E, Fujio N, Kaburaki M, Muraoka S, Tanaka N, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N, Hasunuma T, <u>Kawai S</u>	**7. <u>Significance of serum sRANKL and osteoprotegerin concentration in patients with rheumatoid arthritis.</u>	
学会名	開催地	発表年月
2014 ACR/ARHP Annual Meeting	Boston, USA	2014年 11月

14.

発表者名	発表標題	
Shindo E, Hasunuma T, Masuoka S, Kawazoe M, Sato H, Fujio N, Shikano K, Kaburaki M, Muraoka S, Tanaka N, Kaneko K, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N, <u>Kawai S</u>	**8. <u>Midkine, a growth factor, may play a pathophysiological role in patients with rheumatoid arthritis.</u>	
学会名	開催地	発表年月
2014 ACR/ARHP Annual Meeting	Boston, USA	2014年 11月

15.

発表者名	発表標題	
<u>Kawai S</u> , Yamamoto T	Gamma-glutamyl hydrolase gene polymorphisms provide for intracellular methotrexate concentration on patients with rheumatoid arthritis.	
学会名	開催地	発表年月
17th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology	Cape Town, South Africa	2014年 7月

16.

発表者名	発表標題	
進藤恵実子, 蓮沼智子, 楠芳恵, 楠夏子, 増岡正太郎, 川添麻衣, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鹿野孝太郎, 北原加奈子, 鍋木誠, 村岡成, 山本竜大, 金子開知, 高木賢治, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	**9. <u>血清ミッドカイン濃度は RA の疾患活動性と相関する</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 58 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2014年 4月

17.

発表者名	発表標題	
<u>川合眞一</u>	DMARDs の適応と使い方.	
学会名	開催地	発表年月
第 58 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2014年 4月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

18.

発表者名	発表標題		
鍋木誠, 蓮沼智子, 増岡正太郎, 川添麻衣, 進藤恵実子, 佐藤洋志, 鹿野孝太郎, 藤尾夏樹, 村岡成, 田中菜穂子, 北原加奈子, 山本竜大, 金子開知, 高木賢治, 楠夏子, 遠藤平仁, 川合眞一	**10. 関節リウマチによる胸膜炎では胸水中レジスチンとレプチン濃度が増加する.		
学会名	開催地	発表年月	
第 58 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2014 年 4 月	

19.

発表者名	発表標題		
高松諒, 楠夏子, 川合眞一	iPS 細胞由来血管内皮細胞のプロスタノイド産生能の検討.		
学会名	開催地	発表年月	
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成 25 年度報告会	東京	2014 年 3 月	

20.

発表者名	発表標題		
Kusunoki Y, Okano Y, Kusunoki N, Fujio N, Kawazoe M, Shindo E, Shikno K, Kaburaki M, Muraoka S, Kitahara K, Kaneko K, Nahoko T, Yamamoto T, Takagi K, Hasunuma T, Endo H, Kawai S	**11. Midkine is novel prognostic factor in patients with vasculitis syndrome.		
学会名	開催地	発表年月	
2013 ACR/ARHP Annual Meeting	San Diego, USA	2013 年 10 月	

21.

発表者名	発表標題		
Yamamoto T, Kawazoe M, Shindo E, Fujio N, Shikano K, Kitahara K, Muraoka S, Kaburaki M, Nahoko T, Kaneko K, Kusunoki N, Kusunoki Y, Takagi K, Hasunuma T, Endo H, Kawai S	Intracellular concentration of methotrexate is influenced by polymorphisms of gamma-glutamyl hydrolase gene in japanese patients with rheumatoid arthritis.		
学会名	開催地	発表年月	
2013 ACR/ARHP Annual Meeting	San Diego, USA	2013 年 10 月	

22.

発表者名	発表標題		
Muraoka S, Kusunoki N, Shikano K, Kaburaki M, Kitahara K, Tanaka N, Kaneko K, Yamamoto T, Kusunoki Y, Takagi K, Hasunuma T, Endo H, Kawai S	**12. JAK2/STST3 is a major pathway of leptin-induced interleukin-6 production by rheumatoid synovial fibroblasts.		
学会名	開催地	発表年月	
European League Against Rheumatism	Madrid, Spain	2013 年 6 月	

23.

発表者名	発表標題		
Shikano K, Kaneko K, Muraoka S, Kaburaki M, Kitahara K, Tanaka N, Yamamoto T, Kusunoki N, Takagi K, Hasunuma T, Endo H, Kawai S	Menetretrenone (vitamin K2) partially restores the suppression of bone formation by glucocorticoid therapy in patients with systemic autoimmune diseases.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
European League Against Rheumatism	Madrid, Spain	2013 年 6 月

24.

発表者名	発表標題	
Endo H, Kusunoki N, Kusunoki Y, Kaburaki M, <u>Kawai S</u>	The role of IL-25(IL-17E)/IL-17RB in patients with ANCA-associated vasculitis.	
学会名	開催地	発表年月
The Asia Pacific Meeting of Vasculitis and ANCA Workshop 2012	Tokyo	2012 年 03 月

25.

発表者名	発表標題	
Matsuura H, Kemmotsu Y, Saji T, Kusunoki N, Tanaka N, Nishimura C, Ishiguro A, <u>Kawai S</u>	IVIG modulates adipokine profiles in the treatment of acute stage kawasaki disease.	
学会名	開催地	発表年月
The Asia Pacific Meeting of Vasculitis and ANCA Workshop 2012	Tokyo,	2012 年 03 月

26.

発表者名	発表標題	
<u>Kawai S</u>	**13. Recent development of biologic agents for systemic inflammatory and autoimmune diseases.	
学会名	開催地	発表年月
The 10th International Kawasaki Disease Symposium	Kyoto	2012 年 02 月

27.

発表者名	発表標題	
Kemmotsu Y, Saji T, Kusunoki N, Tanaka N, Nishimura C, Ishiguro A, <u>Kawai S</u>	**14. Serum adipokine profiles in kawasaki disease.	
学会名	開催地	発表年月
The 10th International Kawasaki Disease Symposium	Kyoto	2012 年 02 月

28.

発表者名	発表標題	
進藤恵実子, 北原加奈子, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 村岡 成, 田中菜穂子, 金子開知, 山本竜大, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	関東リウマチにおけるタクロリムスと他の抗リウマチ薬の併用療法の実際～東邦大学大森病院リウマチ膠原病センターにおける8年間の解析～.	
学会名	開催地	発表年月
第 23 回日本臨床リウマチ関東支部学術集会	東京	2012 年 12 月

29.

発表者名	発表標題	
進藤恵実子, 金子開知, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 村岡 成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 山本竜大, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	混合性結合組織病 (MCTD) として経過中に抗リボソーム P 抗体陽性 NPSLE を発症した 3 症例の臨床的検討	
学会名	開催地	発表年月
第 27 回日本臨床リウマチ学会	神戸	2012 年 11 月

30.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
金子開知, 楠 夏子, 蓮沼智子, <u>川合眞一</u>	ステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチドの有効性: 骨密度と各種骨代謝マーカーの変動		
学会名	開催地	発表年月	
第 33 回日本臨床薬理学会学術総会	沖縄	2012 年 11 月	

31.

発表者名	発表標題		
山本竜大, 遠藤平仁, 瓜田純久, <u>川合眞一</u>	13C酢酸呼気試験およびラクツロース水素呼気試験を用いた全身性強皮症の消化管障害評価と治療効果判定		
学会名	開催地	発表年月	
第 33 回日本臨床薬理学会学術総会	沖縄	2012 年 11 月	

32.

発表者名	発表標題		
萩原宏美, 山田健人, 菅谷真紀, 藤原由季子, 頭金正博, <u>川合眞一</u>	日米韓におけるスタチン類の処方量の比較		
学会名	開催地	発表年月	
第 33 回日本臨床薬理学会学術総会	沖縄	2012 年 11 月	

33.

発表者名	発表標題		
太田宏樹、杉野圭史、後町杏子、佐藤敬太、菊池 直、錦木敦平、村松陽子、石田文昭、廣田 直、佐野 剛、磯部和順、坂本 晋、高井雄二郎、冠木敬之、久武真二、中山智孝、佐地 勉、遠藤平仁、 <u>川合眞一</u> 、本間 栄	間質性肺炎・難治性肺高血圧症を合併した全身性硬化症の 2 症例		
学会名	開催地	発表年月	
第 1 回びまん性肺疾患と肺高血圧	東京	2012 年 10 月	

34.

発表者名	発表標題		
<u>川合眞一</u>	関節リウマチに対する生物学的製剤の特徴と注意点		
学会名	開催地	発表年月	
第61回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第59回日本化学療法学会東日本支部	東京	2012 年 10 月	

35.

発表者名	発表標題		
金子開知, <u>川合眞一</u>	ステロイド治療による血清可溶性 RANKL、OPG の変動に関する前向き臨床研究		
学会名	開催地	発表年月	
第 14 回日本骨粗鬆症学会	新潟	2012 年 09 月	

36.

発表者名	発表標題		
川添麻衣, 鹿野孝太郎, 金子開知, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	好酸球増多を伴い、肺胞出血を合併した Granulomatosis with polyangiitis (GPA) の 1 例		
学会名	開催地	発表年月	
第 590 回日本内科学会関東地方会	東京	2012 年 09 月	

37.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題	
村岡 成, 楠 夏子, 鎗田利香, 勝呂 徹, 川合眞一	**15. レプチンは JAK-STAT 経路を介して関節リウマチ患者由来滑膜線維芽細胞の IL-6 産生を増加させる	
学会名	開催地	発表年月
第33日本炎症・再生医学会	福岡	2012年07月

38.

発表者名	発表標題	
遠藤平仁, 楠 芳恵, 鎗木 誠, 山本竜大, 楠 夏子, 川合眞一	全身性強皮症消化管病変における血清 FGF19 測定の有用性の解析	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

39.

発表者名	発表標題	
遠藤平仁, 楠 芳恵, 鎗木 誠, 楠 夏子, 川合眞一	ANCA関連血管炎におけるIL-25(IL-17E)/受容体IL-17RBに関する解析	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

40.

発表者名	発表標題	
金子開知, 楠 夏子, 田中菜穂子, 北原加奈子, 山本竜大, 鎗木 誠, 村岡 成, 鹿野孝太郎, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, 川合眞一	ステロイド性骨粗鬆症における血清 RANKL および OPG の意義	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

41.

発表者名	発表標題	
高木賢治, 川上美里, 秋元貴美子, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 村岡 成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 金子開知, 山本竜大, 楠 芳恵, 遠藤平仁, 川合眞一	ステロイド治療下でのニューモシスチス肺炎予防に対する ST 合剤の連日および週 2 回投与のランダム化前向き比較試験	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

42.

発表者名	発表標題	
山本竜大, 北原加奈子, 鹿野孝太郎, 村岡成, 鎗木 誠, 金子開知, 田中菜穂子, 楠 芳恵, 高木賢治, 遠藤平仁, 川合眞一	全身性エリテマトーデスにおける難治性血小板減少症 2 症例に対する経口トロンボポイエチン製剤治療の試み	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

43.

発表者名	発表標題	
鹿野孝太郎, 村岡 成, 鎗木 誠, 北原加奈子, 金子開知, 田中菜穂子, 山本竜大, 楠 芳恵, 高木賢治, 遠藤平仁, 川合眞一	関節リウマチに対する生物学的製剤の種類による好中球減少症合併の違いに関する観察研究	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012年04月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

44.

発表者名	発表標題		
<u>川合眞一</u>	Meat the Expert: ステロイドの使い方		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012 年 04 月	

45.

発表者名	発表標題		
村岡 成, 楠 夏子, 鎗田利香, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 北原加奈子, 金子開知, 田中菜穂子, 山本竜, 楠 芳恵, 高木賢治, 遠藤平仁, 勝呂 徹, <u>川合眞一</u>	**16. <u>Leptin は滑膜細胞の IL-6 産生を増加させる</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012 04 月	

46.

発表者名	発表標題		
鎗木 誠, 楠 芳恵, 鹿野孝太郎, 村岡成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 金子開知, 山本竜大, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	各種リウマチ性疾患における特定疾患制度と医療費構造		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012 年 04 月	

47.

発表者名	発表標題		
田中菜穂子, 楠 夏子, 楠 芳恵, 金子開知, 山本竜大, 北原加奈子, 村岡 成, 鎗木 誠, 鹿野孝太郎, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	**17. <u>膠原病患者の血清 resistin 濃度は動脈硬化とは関連せず、炎症病態と関連した</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012 年 04 月	

48.

発表者名	発表標題		
楠 芳恵, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 村岡成, 北原加奈子, 金子開知, 田中菜穂子, 山本竜大, 高木賢治, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	内科的合併症が関節リウマチと強皮症に及ぼす影響		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2012 年 04 月	

49.

発表者名	発表標題		
北原加奈子, 鹿野孝太郎, 鎗木 誠, 村岡成, 田中菜穂子, 金子開知, 山本竜大, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	関節リウマチ患者における臨床的アウトカムと抗リウマチ薬に関する 7 年間の検討		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京,	2012 年 04 月	

50.

発表者名	発表標題		
<u>Kawai S</u>	Is there any ethnic difference in pharmacokinetics studies among Japanese, Chinese, Koreans, and Caucasians when conducted by the same protocol?.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
JSCPT-KSCPT-ASCPT Joint Conference	Hamamatsu	2011年12月

51.

発表者名	発表標題	
<u>Kawai S</u>	Is there any ethnic difference in pharmacokinetics among east Asian countries ?	
学会名	開催地	発表年月
3rd Global Quality Assurance Conference	Kyoto	2011年11月

52.

発表者名	発表標題	
Endo H, Kaburaki Y, Kusunoki Y, Kusunoki N, <u>Kawai S</u>	**18. <u>Chemerin/ChemR23 expression and proinflammatory effects in synovitis of patients with rheumatoid arthritis.</u>	
学会名	開催地	発表年月
75th. American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting	Chicago, USA,	2011年11月

53.

発表者名	発表標題	
Kaneko K, Kusunoki N, Tanaka N, Yamamoto T, Kusunoki Y, Takagi K, Endo H, <u>Kawai S</u>	Changes in serum receptor activator for nuclear factor kappaB ligand and osteoprotegerin after glucocorticoid therapy reflect regulation of their expression by glucocorticoid in osteoblasts in vitro.	
学会名	開催地	発表年月
75th. American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting,	Chicago, USA,	2011年11月

54.

発表者名	発表標題	
Muraoka S, Kusunoki N, Endo H, Suguro T, <u>Kawai S</u>	**19. <u>Leptin stimulates interleukin-6 production via phosphorylation of signal transducer and activator of transcription-3 in rheumatoid synovial fibroblasts.</u>	
学会名	開催地	発表年月
75th. American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting	Chicago, USA,	2011年11月

.55

発表者名	発表標題	
Yamamoto T, Urita Y, Kaneko K, Tanaka N, Kusunoki Y, Takagi K, <u>Kawai S</u> , Endo H	Evaluation of 13C-acetate plus lactulose breath test, a new examination to measure intestinal absorption in patients with systemic sclerosis.	
学会名	開催地	発表年月
75th. American College of Rheumatology Annual Scientific Meeting	Chicago, USA	2011年11月

56.

発表者名	発表標題	
Muraoka S, Kusunoki N, Yarita R, Endo H, Suguro T, <u>Kawai S</u>	**20. <u>Leptin induces interleukin-6 production in rheumatoid synovial fibroblasts.</u>	
学会名	開催地	発表年月
The 4th East Asian Group of Rheumatology	Tokyo	2011年10月

57.

発表者名	発表標題	
------	------	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Takagi, Kawakami M, Akimoto K, Shikano K, Muraoka S, Kitahara K, Kusunoki Y, Endo H, <u>Kawai S</u>	A prospective comparative study of trimethoprim-sulfamethoxazole prophylaxis regimen against for prevention of Pneumocystis jiroveci pneumonia in patients with autoimmune connective tissue diseases under glucocorticoid therapy.		
学会名	開催地	発表年月	
The 4th East Asian Group of Rheumatology	Tokyo	2011 年 10 月	

58.

発表者名	発表タイトル		
Yamamoto T, Urita Y, Kaneko K, Tanaka N, Kusunoki Y, Takagi K, <u>Kawai S</u> , Endo H	Evaluation of 13C-acetate plus lactulose breath test, a new examination to measure intestinal absorption in patients with systemic sclerosis.		
学会名	開催地	発表年月	
The 4th East Asian Group of Rheumatology	Tokyo	2011 年 10 月	

59.

発表者名	発表タイトル		
山本竜大, 遠藤平仁, 鹿野孝太郎, 鍋木誠, 村岡 成, 田中菜穂子, 金子開知, 楠芳恵, <u>川合眞一</u>	13C-呼気試験を用いた全身性強皮症の消化管障害評価と治療方針		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸	2011 年 07 月	

60.

発表者名	発表タイトル		
<u>川合眞一</u>	**21. <u>アディポカインとリウマチ</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸	2011 年 07 月	

61.

発表者名	発表タイトル		
<u>川合眞一</u>	RA 治療薬としての MTX の歩みー承認から公知申請、そして用量増量へー		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸	2011 年 07 月	

62.

発表者名	発表タイトル		
村岡 成, 鹿野孝太郎, 鍋木 誠, 田中菜穂子, 金子開知, 山本竜大, 楠 芳恵, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	関節リウマチにおけるトシリズマブ治療に伴う好中球減少の検討		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸	2011 年 07 月	

63.

発表者名	発表タイトル		
鍋木 誠, 遠藤平仁, 柴田俊子, 山田秀裕, 楠 夏子, <u>川合眞一</u>	**22. <u>関節リウマチの滑膜病変における Chemerin/ChemR23 の作用の解析</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸	2011 年 07 月	

64.

発表者名	発表タイトル		
楠 芳恵, 遠藤平仁, <u>川合眞一</u>	内科的合併症が関節リウマチ (RA) 治療に与える影響. 連携をふまえ		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

内科が果たす役割	
学会名	開催地 発表年月
第 55 回日本リウマチ学会総会	神戸 2011 年 07 月

65.

発表者名	発表標題	
鎬木 誠, 遠藤平仁, 柴田俊子, 山田秀裕, 楠 夏子, 川合眞一	**23. 関節リウマチの関節病変における Chemerin/ChemR23 の解析	
学会名	開催地	発表年月
第 32 日本炎症・再生医学会	京都	2011 年 06 月

66.

発表者名	発表標題	
川合眞一	日中韓米の同一プロトコールによる健常者 PK 試験の比較	
学会名	開催地	発表年月
第 18 回 HAB 研究機構学術年会	東京	2011 年 05 月

67.

発表者名	発表標題	
川合眞一, 西本憲弘	わが国の成功例：抗 IL-6 受容体抗体トシリズマブの基礎と臨床開発	
学会名	開催地	発表年月
第 28 回日本医学会総会	東京	2011 年 04 月

3. 「侵襲による組織リモデリングの分子機構」

1.

発表者名	発表標題	
Kanazawa S, Ogata H, Nemoto T, Shimada H, Kaneko H, Kato R	Clinical efficacy of Neoadjuvant chemotherapy with trastuzumab analysed by contrast-enhanced breast ultrasound.	
学会名	開催地	発表年月
The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association	Nagoya	2015 年 10 月

2.

発表者名	発表標題	
澁谷和俊	病理解剖と動物モデル-実験動物から見えてくる臨床病態-	
学会名	開催地	発表年月
第 59 回日本医真菌学会総会・学術集会	札幌	2015 年 10 月

3.

発表者名	発表標題	
Wakayama M, Shimondaira K, Ochiai E, Okubo Y, Shinozaki M, Aki K, Ejima K, Ishiwatari T, Nihonyanagi Y, Tochigi N, Mitsuda A, Nemoto T, Murayama Y, Kamei K, Shibuya K	**1. Pathological study of WNT/PCP signaling system inducing pulmonary arterial remodelling in mice by intratracheal injection of <i>Stachybotrys chartarum</i> .	
学会名	開催地	発表年月
19th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology	Melbourne, Australia	2015 年 5 月

4.

発表者名	発表標題	
Tochigi N, Ishiwatari T, Okubo Y, Ando T, Shinozaki M, Aki K, Gocho K, Hata Y, Murayama Y, Wakayama M, Nemoto T, Hori Y, Shibuya K	Histological study of chronic pulmonary aspergillosis.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

19th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology	Melbourne, Australia	2015年 5月
--	----------------------	----------

5.

発表者名	発表タイトル	
Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Kakimoto A, Mikami T, Kaburaki K, Makino T, Otsuka H, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Iyoda A, Homma S	BIM deletion polymorphism is not associated with BIM RNA expression or BIM immunohistochemistry intensity in epidermal growth factor receptor mutation- positive non-small cell lung cancer.	
学会名	開催地	発表年月
50th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology	Chicago, USA	2015年 5月

6.

発表者名	発表タイトル	
若山恵, 下平佳代子, 大久保陽一郎, 石渡誉郎, 二本柳康博, 栃木直文, 密田亜希, 根本哲生, 澁谷和俊	**2. 肺動脈性肺高血圧症における WNT/PCP pathway 関連遺伝子の発現に関する免疫組織学的検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 104 回日本病理学会総会	名古屋	2015年 5月

7.

発表者名	発表タイトル	
谷島聡, 島田英昭, 澤口悠子, 松本 悠, 竹山照明, 鈴木 隆, 名波竜規, 大嶋陽幸, 鷺澤尚宏, 根本哲生, 金子弘真	新規胃癌バイオマーカーとしての血清 p53 抗体と組織アレイを用いた免疫染色の意義.	
学会名	開催地	発表年月
第 115 回日本外科学会定期学術集会	名古屋	2015年 4月

8.

発表者名	発表タイトル	
Haga Y, Nakazawa A, Okamatsu C, Thakahashi H, Jyriwa M, Shibuya K, Saji T, Ohhara A	Infant Stage4S Neuroblastoma with MYCN Amplification.	
学会名	開催地	発表年月
Advances In Neuroblastoma Research 2014	Cologne, Germany	2014年 5月

9.

発表者名	発表タイトル	
Ota H, Sugino K, Hirota N, Nakamura Y, Furuya K, Gocho K, Kaburaki K, Sakamoto S, Shibuya K, Saji T, Uekusa T, Takemura T, Homma S.A	An Autopsied Case Of Sarcoidosis Associated With Severe Pulmonary Hypertension.	
学会名	開催地	発表年月
2014 American Thoracic Society International Conference	San Diego, USA	2014年 5月

10.

発表者名	発表タイトル	
Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Kaburaki K, Makino T, Otsuka H, Ishida F, Kikuchi N, Hirota N, Sato K, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Iyoda A, Homma S	Quantifying the T790M mutation in EGFR-mutant lung adenocarcinoma with nanofluidic digital PCR arrays.	
学会名	開催地	発表年月
49th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology	Chicago, USA	2014年 5月

11.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Sugino K, Gocho K, Nakamura Y, Isshiki T, Isobe K, Hata Y, Tochigi N, Uekusa T, Homma S	Clinicopathological characteristics of carcinogenesis of lung cancer and postoperative acute exacerbation in patients with CPFE/UIP and IPF/UIP.		
学会名	開催地	発表年月	
World Conference for American Thoracic Society	San Diego, USA	2014 年 5 月	

12.

発表者名	発表標題		
Hata Y, Sakamoto S, Otsuka H, Sato K, Sato F, Makino T, Sugino K, Isobe K, Shiraga N, Tochigi N, Shibuya K, Homma S, Iyoda A	Complication related to EBUS-TBNA in patients with tuberculous lymphadenopathy.		
学会名	開催地	発表年月	
18th World Congress for World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology	Kyoto	2014 年 4 月	

13.

発表者名	発表標題		
Fujita K, Wang B, Kuwabara T, Kamaka I, Tanaka K, Y, Ishii T	X-ray irradiation suppresses SLE-like morbidity in NZBWF1 mice.		
学会名	開催地	発表年月	
15th International Congress of Immunology	Milan, Italia	2013 年 8 月	

14.

発表者名	発表標題		
Akasaka Y, Ono I, Inomata N	The mechanisms of fibroblast apoptosis induced by basic fibroblast growth factor during scarless repair process.		
学会名	開催地	発表年月	
23 rd Annual meeting of the wound healing society SAWC spring/WHS joint meeting	Denver, U.S.A	2013 年 5 月	

15.

発表者名	発表標題		
Ono I, Akasaka Y, Takata K	Administration of basic fibroblast growth factor (BFGF) through self-dissolving microneedles for local therapy of skin.		
学会名	開催地	発表年月	
23 rd Annual meeting of the wound healing society SAWC spring/WHS joint meeting	Denver, U.S.A	2013 年 5 月	

16.

発表者名	発表標題		
赤坂喜清、石川由紀雄、小野一郎、深澤由里、井内亜美、小竹遥香、木下利雄、藤田和子、石井壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム。		
学会名	開催地	発表年月	
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013 年 6 月	

17.

発表者名	発表標題		
横尾智子、赤坂喜清、石川由紀雄、木下利雄、猪俣直美、井内亜美、深澤由里、小竹遥香、石井壽晴	悪性リンパ腫における MALT1 と BCL10 蛋白の核内発現の意義。		
学会名	開催地	発表年月	
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013 年 6 月	

18.

発表者名	発表標題		
------	------	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

小竹遥香、赤坂喜清、石川由紀雄、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪俣直美、石井壽晴	ケロイド線維芽細胞における TGF- β Receptor と Smad の発現異常.	
学会名	開催地	発表年月
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013 年 6 月

19.

発表者名	発表標題	
小林紘、高木啓吾、大塚創、佐藤史朋、後藤英典、秦美 暢、石渡誉郎、澁谷和俊	ステント留置後に気管京成術を行った挿管後気管狭窄の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 144 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会	東京	2013 年 3 月

20.

発表者名	発表標題	
佐々木雄毅、藤井毅郎、塩野則次、片柳智之、大熊新之介、澁谷和俊、若山 恵、小澤 司、小山信彌、渡邊善則	多発性胸腹部動脈瘤を合併した成人大動脈離断症の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 161 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	高崎市	2013 年 3 月

21.

発表者名	発表標題	
尾作忠知、山崎有浩、谷島聡、大嶋陽幸、名波竜規、伊藤正朗、根本哲生、澁谷和俊、島田英昭、金子弘真	胃領域リンパ節転移にて発見された原発不明癌の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

22.

発表者名	発表標題	
根本哲生、山本慶郎、島田英昭、伊藤正朗、大嶋陽幸、名波竜規、谷島聡、山崎有浩、鷺澤尚宏、菊池由宣、金子弘真、澁谷和俊	HER2 陽性胃癌の臨床病理学的検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

23.

発表者名	発表標題	
小林康次郎、菊池由宣、池原 孝、三村亨彦、木村隆輔、松清 靖、吉本憲介、五十嵐良典、住野泰清、大津秀一、澁谷和俊、根本哲生	化学療法にて改善を認めた胃癌骨髄癌腫症の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

24.

発表者名	発表標題	
根本哲生、山本慶郎、島田英昭、伊藤正朗、大嶋陽幸、名波竜規、谷島聡、山崎有浩、鷺澤尚宏、菊池由宣、金子弘真、澁谷和俊	HER2 陽性胃癌の臨床病理学的検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

25.

発表者名	発表標題	
小林康次郎、菊池由宣、池原孝、三村亨彦、木村隆輔、松清靖、吉本憲介、五十嵐良典、	化学療法にて改善を認めた胃癌骨髄癌腫症の 1 例.	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

住野靖清, 大津秀一, 澁谷和俊, 根本哲生		
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

26.

発表者名	発表標題	
尾作忠知, 山崎有浩, 谷島聡, 大嶋陽幸, 名波竜規, 伊藤正朗, 根本哲生, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	胃領域リンパ節転移にて発見された原発不明癌の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本胃癌学会総会	大阪	2013 年 3 月

27.

発表者名	発表標題	
Izumi H, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Natori K	non-Hodgkin's lymphoma after living-donor kidney transplantation.	
学会名	開催地	発表年月
XXXI Word Congress of Internal Medicine,	Santiago Chile	2012 年 11 月

28.

発表者名	発表標題	
Izumi H, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Natori K	Synchronous double cancer that was diagnosed as enteropathyassociated T-cell lymphoma during lapatomy for colon cancer.	
学会名	開催地	発表年月
XXXI Word Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月

29.

発表者名	発表標題	
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Therapy-related acute promyelocytic leukemia in the treatment of small cell carcinoma and prostate carcinoma.	
学会名	開催地	発表年月
XXXI Word Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月

30.

発表者名	発表標題	
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Study of double cancer with hematologic malignancy and breast.	
学会名	開催地	発表年月
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月

31.

発表者名	発表標題	
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	A study of therapy-related leukemia/myelodysplastic syndrome.	
学会名	開催地	発表年月
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月

32.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Experience in the treatment of IgD λ type multiple myeloma.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

33.

発表者名	発表標題		
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	A case of Asian-variant intravascular lymphoma that diagnosed by liver biopsy during an exacerbation after spontaneous remission.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

34

発表者名	発表標題		
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	A case of overt acute myelogenous leukemia with leukemia cell infiltration to the tongue.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

35.

発表者名	発表標題		
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	The case which diagnosed with non-Hodgkin's lymphoma diffuse large B cell type that resected as atheromatosis.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

36.

発表者名	発表標題		
Natori K, Nagase D, Ishihara S, Yasuhiro Watanabe, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Pyothorax-associated lymphoma our experiences of 3 cases.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

37.

発表者名	発表標題		
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Review of multiple cancer patients including malignant lymphoma.		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

38.

発表者名	発表標題		
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> ,	Case of double cancer consisting of granulocytic sarcoma and liver cancer. XXXI World Congress of Internal Medicine		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Izumi H			
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

39.

発表者名	発表標題		
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Pyothorax-associated lymphoma(PAL) that started transverse spinal code symptoms		
学会名	開催地	発表年月	
XXXI World Congress of Internal Medicine	Santiago Chile	2012 年 11 月	

40.

発表者名	発表標題		
Kanazawa S, Ogata H, Mitsuzuka Y, Saito F, Magoshi S, Kubota Y, Ito T, Shiraga N, Terahara A, Nemoto T, <u>Shibuya K</u> , Kaneko H	PREMINENCE OF THE CONTRAST-ENHANCED ULTRASOUND FOR THE CONTRAST-ENHANCED MRI ON PRACTICE OF THE BREAST CANCER.		
学会名	開催地	発表年月	
23th Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine Conference (APEC)	Bangkok, Thailand	2012 年 07 月	

41.

発表者名	発表標題		
Shinozaki M, Okubo Y, Sasai D, Nakayama H, M rayama SY, Ide T, Wakayama M, Nemoto T, <u>Shibuya K</u>	Diagnosis of fungal infections by molecular techniques from formalin-fixed and paraffin-embedded (FFPE) tissues: A retrospective autopsy analysis of 49 cases.		
学会名	開催地	発表年月	
18th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology,	Berlin, Germany	2012 年 06 月	

42.

発表者名	発表標題		
Okubo Y, Makimura K, Shinozaki M, Nakayama H, Wakayama M, Nemoto T, Sasai D, Ishiwatari T, Shimodaira T, Yuzhu Z, Ide T, Takahashi R, <u>Shibuya K</u>	Biological, histopathological, and genetic analyses of mice infected with Cryptococcus gattii.		
学会名	開催地	発表年月	
18th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology	Berlin, Germany	2012 年 06 月	

43.

発表者名	発表標題		
Takagi K, Yuasa R, Hata Y, Takahashi S, Sato F, Otsuka H, Goto H, Tamaki K, Mitsuda A, <u>Shibuya K</u>	Granulation formation after placement for airway stenosis.		
学会名	開催地	発表年月	
17th World Congress for Bronchology	Ohio, USA	2012 年 06 月	

44.

発表者名	発表標題		
Wakayama M, Shimodaira T, Nakayama H, Shinozaki M, Okubo Y, Sasai D,	Age-related analysis on the prevalence of invasive fungal infections from autopsy records in Toho University.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Ishiwatari T, Yuzhu Zhi, Tochigi N, Hasegawa C, Mitsuda A, Nemoto T, <u>Shibuya K</u>		
学会名	開催地	発表年月
18th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology	Berlin, Germany	2012年06月

45.

発表者名	発表標題	
Isobe K, Hata Y, Sato K, Sugino K, Sano G, Sakamoto S, Takai Y, <u>Shibuya K</u> , Takagi K, Homma S	Circulating tumor cells and T790M in metastatic non-small cell lung cancer patients with EGFR mutation and acquired resistance of TKI.	
学会名	開催地	発表年月
47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology	Chicago	2012年06月

46.

発表者名	発表標題	
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Toyoda Y, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	The multiple neoplasms consist of colon cancer and hematological malignancy.	
学会名	開催地	発表年月
ESMO 14th World Congress on Gastrointestinal Cancer	Barcelona Spain	2012年06月

47.

発表者名	発表標題	
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Toyoda Y, Fujimoto Y, <u>Shibuya K</u> , Kuraishi Y, Izumi H	The double cancer consist of gastric cancer and hematological malignancy.	
学会名	開催地	発表年月
ESMO 14th World Congress on Gastrointestinal Cancer	Barcelona Spain	2012年06月

48.

発表者名	発表標題	
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Toyoda Y, Fujimoto Y, Kuraishi Y, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	Study on 34 cases with primary malignant gastric lymphoma.	
学会名	開催地	発表年月
ESMO 14th World Congress on Gastrointestinal Cancer	Barcelona Spain	2012年06月

49.

発表者名	発表標題	
Natori K, Ishihara S, Nagase D, Shibuya A, Toyoda Y, Fujimoto Y, Kuraishi Y, Nemoto T, <u>Shibuya K</u> , Izumi H	10 cases of non- Hodgkin's lymphoma that caused gastrointestinal perforation experience in our department.	
学会名	開催地	発表年月
ESMO 14th World Congress on Gastrointestinal Cancer	Barcelona Spain	2012年06月

.50

発表者名	発表標題	
Sue M, Nagase D, Yamabe F, Sasai D, Willenberg H, Kamimura S, Hiroi N, <u>Shibuya K</u> , Yoshino G	A case of pheochromocytoma which represented multiple myeloma like change.	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
15th International Congress of Endocrinology	Florence, Italy	2012年05月

51.

発表者名	発表タイトル	
Gocho K, Sugino K, Sato K, Kikuchi N, Ishida F, Sano, G, Isobe K, Sakamoto S, Takai Y, Mitsuda A, <u>Shibuya K</u> , Uekusa T, Kurosak A, Homma S	A Case of microscopic polyangitis with preceding interstitial pneumonia diagnosed by surgical lung biopsy.	
学会名	開催地	発表年月
The Asia Pacific Meeting of Vasculitis and ANCA Workshop 2012	Tokyo Japan	2012年03月

52.

発表者名	発表タイトル	
Naoi K, Saji T, Uchino Y, Ikehara S, Shimada H, Nakayma T, Ohara A, Kanto H, <u>Shibuya K</u> , Matsuura H	A case of classical polyarteritis nodosa presenting with severe epididymitis in a boy with a history of Kawasaki disease.	
学会名	開催地	発表年月
The 10th International Kawasaki Disease Symposium	Kyoto, Japan	2012年02月

53.

発表者名	発表タイトル	
赤坂喜清, 小野一郎, 木下利雄, 小竹遥香, 石川由起雄, 井内亜美, 深澤由里, 猪股直美, 石井壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム	
学会名	開催地	発表年月
第42回日本創傷治癒学会	札幌	2012年12月

54.

発表者名	発表タイトル	
木下利雄, 赤坂喜清, 石川由起雄, 鈴木健也, 井内亜美, 猪俣直美, 深澤由里, <u>池田隆徳</u> , 石井壽晴	bFGFによる心筋間質細胞外マトリックス制御と高血圧性心不全リモデリングの抑制機序	
学会名	開催地	発表年月
第42回創傷治癒学会	札幌	2012年12月

55.

発表者名	発表タイトル	
小竹遥香, 赤坂喜清, 石川由起雄, 木下利雄, 深澤由里, 井内亜美, 藤田和子, 猪俣直美, 石井壽晴	ケロイド線維芽細胞における Smad と MMP の発現異常とその意義	
学会名	開催地	発表年月
第42回日本創傷治癒学会	札幌	2012年12月

56.

発表者名	発表タイトル	
Inomata N, <u>Akasaka Y</u> , Imaizumi R, Okada E, <u>Onishi K</u>	Fibrocyte expression relative to blood vessels during skin healing.	
学会名	開催地	発表年月
第42回日本創傷治癒学会 (WHS-JSWH Joint Symposium).	札幌	2012年12月

57.

発表者名	発表タイトル
------	--------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

土屋勝, 新井賢一郎, 吉田公彦, 岡野直樹, 藤塚宜功, 土方一範, 河田兼光, 密田亜希, 澁谷和俊, 田村晃, 石井淳, 前田徹也, 久保田喜久, 片桐敏雄, 大塚由一郎, 金子弘真	腹腔鏡下脾臓摘出にて診断に至った孤立性脾結核の一例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 25 回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2012 年 12 月	

58.

発表者名	発表標題		
黒澤武介, 杉野圭史, 卜部尚久, 伊藤貴文, 太田宏樹, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 磯部和順, 坂本晋, 高井雄二郎, 朴理絵, 澁谷和俊, 秦 美暢, 高木啓吾, 本間栄	心嚢液貯留で発症し生前診断し得た原発性悪性心膜中皮腫の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 165 回日本肺癌学会関東支部会	東京	2012 年 12 月	

59.

発表者名	発表標題		
栃木直文, 吉田朗彦, 長谷川千花子, 密田亜希, 土谷一晃, 後藤英典, 大塚創, 佐藤史朋, 秦美暢, 高木啓吾, 澁谷和俊	診断に苦慮した類上皮肉腫肺転移の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 165 回日本肺癌学会関東支部会	東京	2012 年 12 月	

60.

発表者名	発表標題		
臼井州樹, 須江麻里子, 石川真由美, 伊東俊英, 三宅洋子, 大久保陽一郎, 若山恵, 渡邊奈津子, 筒井英光, 坪井久美子	バセドウ病の甲状腺偶発乳頭癌.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本甲状腺学会学術集会	福岡	2012 年 12 月	

61.

発表者名	発表標題		
吉原彩, 小田健三郎, 須江麻里子, 宮城匡彦, 廣井直樹, 久保田伊哉, 緒方秀昭, 笹井大督, 澁谷和俊, 弘世貴久	巨大甲状腺腫をきたした 1 型糖尿病合併 T3 優位型バセドウ病の一例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本甲状腺学会学術集会	福岡	2012 年 12 月	

62.

発表者名	発表標題		
須江麻里子, 吉原彩, 小田健三郎, 岡美江, 久保田伊哉, 大久保陽一郎, 根本哲生, 緒方秀昭, 澁谷和俊, 廣井直樹, 弘世貴久	甲状腺機能性結節に微小乳頭癌を合併した一例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本甲状腺学会学術集会	福岡	2012 年 12 月	

63.

発表者名	発表標題		
渡邊 美砂, 早乙女 壮彦, 小峰 由美子, 佐地 勉, 柴田 祐充子, 岩崎 維和夫, 黒岩 実, 根本 哲生, 澁谷 和俊	新生児消化管アレルギーにおける病理組織の診断的意義.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 62 回日本アレルギー学会秋季学術集会	大阪	2012 年 11 月

64.

発表者名	発表タイトル	
鏡哲, 船橋公彦, 栗原聰元, 小池淳一, 塩川洋之, 牛込充則, 新井賢一郎, 白坂健太郎, 鈴木孝之, 松田聡, 甲田貴丸, 石川由起雄, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	経腔的アプローチが有用であった直腸平滑筋腫の一切除例.	
学会名	開催地	発表年月
第 74 回日本臨床外科学会総会	東京	2012 年 11 月

65.

発表者名	発表タイトル	
齊藤芙美, 緒方秀昭, 久保田伊哉, 馬越俊輔, 金澤真作, 密田亜季, 澁谷和俊, 金子弘真	線維腺腫との鑑別が困難であった若年性乳癌の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 74 回日本臨床外科学会総会	東京	2012 年 11 月

66.

発表者名	発表タイトル	
金澤真作, 緒方秀昭, 齊藤芙美, 久保田伊哉, 馬越俊輔, 根本哲生, 澁谷和俊, 金子弘真	造影超音波で観察した非浸潤性乳管癌の進展範囲.	
学会名	開催地	発表年月
第 74 回日本臨床外科学会総会	東京	2012 年 11 月

67.

発表者名	発表タイトル	
甲田貴丸, 船橋公彦, 小池淳一, 栗原聰元, 塩川洋之, 牛込充則, 白坂健太郎, 鈴木孝之, 松田聡, 鏡哲, 澤口悠子, 木村和孝, 水津優, 金子奉暁, 根本哲生, 澁谷和俊, 金子弘真	痔瘻癌の 2 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2012 年 11 月

68.

発表者名	発表タイトル	
須磨崎真, 澤口悠子, 木村和孝, 鏡哲, 松田聡, 白坂健太郎, 牛込充則, 塩川洋之, 栗原聰元, 小池淳一, 船橋公彦, 平野孝幸, 羽鳥努, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	S 状結腸癌の手術創部に発生した腹壁反応性腫瘤の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2012 年 11 月

69.

発表者名	発表タイトル	
水津優, 船橋公彦, 須磨崎真, 澤口悠子, 木村和孝, 鈴木孝之, 鏡哲, 松田聡, 白坂健太郎, 新井賢一郎, 牛込充則, 塩川洋之, 栗原聰元, 小池淳一, 島田英昭, 金子弘真, 若山恵, 深澤由里, 赤坂喜清, 澁谷和俊	肛門管癌の術後に Pagetoid spread の診断を得た 1 例.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2012 年 11 月
---------------------	----	-------------

70.

発表者名	発表標題	
大久保陽一郎, 大野秀明, 篠崎稔, 宮崎義繼, 根本哲生, 若山恵, 栃木直文, 笹井大督, 石渡誉郎, 中山晴雄, 下平佳代子, 田辺公一, 金子幸弘, 梅山 隆, 山越 智, 職 玉殊, 北原 加奈子, 山本慶郎, 澁谷和俊	マウス肺クリプトコッカス症モデルを用いた感染防御ならびに肺構築変換の解析.	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本医真菌学会総会	東京	2012 年 11 月

71.

発表者名	発表標題	
若山 恵, 下平佳代子, 中山晴雄, 篠崎稔, 大久保陽一郎, 笹井大督, 石渡誉郎, 職 玉殊, 栃木直文, 長谷川千花子, 密田亜希, 根本哲生, 澁谷和俊	東邦大学病理剖検例を用いた過去 56 年間の侵襲性真菌症発生動向と加齢の及ぼす影響について	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回日本医真菌学会総会	東京	2012 年 11 月

72.

発表者名	発表標題	
今泉りさ, 大西 清, 岡田恵美, 岩倉 敬, 猪股直美, 荻野晶弘, 平田晶子, 堀江和幸, 栃木直文, 根本哲生	耳下腺筋上皮腫の 2 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 30 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	大阪	2012 年 11 月

73.

発表者名	発表標題	
磯部和順, 小林紘, 鍋木教平, 廣田直, 坂本晋, 高井雄二郎, 密田亜希, 澁谷和俊, 秦美暢, 本間栄	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における EGFR-TKI 耐性獲得時の肝細胞増殖因子 (HGF) 染色陽性例の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 53 回日本肺癌学会総会	岡山	2012 年 11 月

74.

発表者名	発表標題	
磯部和順, 秦美暢, 鍋木教平, 小林紘, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間栄	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における循環腫瘍細胞と血清遊離 DNA 検出の関連性の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 53 回日本肺癌学会総会	岡山	2012 年 11 月

75.

発表者名	発表標題	
磯部和順, 秦美暢, 鍋木教平, 小林紘, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 黒崎敦子, 高木啓吾, 本間栄	Combined pulmonary fibrosis and emphysema (CPFE) 合併肺癌における抗癌剤関連急性増悪の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 53 回日本肺癌学会総会	岡山	2012 年 11 月

76.

発表者名	発表標題	
------	------	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

磯部和順, 秦美暢, 鍋木教平, 小林紘, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐野剛, 杉野圭史, 佐藤敬太, 坂本晋, 高井雄二郎, 篠崎稔, 密田亜希, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間栄	原発性肺癌における院内での ALK 免疫染色と FISH 法の比較検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 53 回日本肺癌学会総会	岡山	2012 年 11 月

77.

発表者名	発表標題	
石渡誉郎, 大久保陽一郎, 和泉春香, 佐藤史朋, 篠崎稔, 笹井大督, 中山晴雄, 栃木直文, 根本哲生, 名取一彦, 秦美暢, 若山恵, 澁谷和俊	侵襲性肺接合菌症における reversed CT halo sign 描出部の病変構築.	
学会名	開催地	発表年月
第 56 回 日本医真菌学会総会	東京	2012 年 11 月

78.

発表者名	発表標題	
猪俣直美, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 石川由起雄, 石井壽晴, 大西 清	創傷治癒における血管構造に関連した血球由来間葉系前駆細胞 (Fibrocyte) の発現性	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本形成外科学会基礎学術集会	猪苗代	2012 年 10 月

79..

発表者名	発表標題	
Wakayama M, Okubo Y, Shinozaki M, Tochigi N, Ono H, Miyazaki Y, Nakatani Y, Kamei K, Murayama S, Nemoto T, Shibuya K	HISTOPATHOLOGICAL DIAGNOSIS OF HUMAN HISTOPLASMOSIS USING IN SITU HYBRIDZATION TECHNIQUE.	
学会名	開催地	発表年月
International Union of Microbiological Societies Congress	Sapporo	2011 年 09 月

80.

発表者名	発表標題	
Kanazawa S, Ogata H, Magoshi S, Saito F, Mitsuda A, Hatori T, Shibuya K, Kaneko H	The predictive precision of the effect of neoadjuvant chemotherapy for the breast cancer by CEUS, comparison between MRI.	
学会名	開催地	発表年月
International Surgical Week ISW2011	Yokohama	2011 年 08 月

81.

発表者名	発表標題	
Kanazawa S, Mitsuzuka Y, Ogata H, Saito F, Magoshi S, Mitsuda A, Hatori T, Shiraga N, Nemoto T, Shibuya K, Kaneko H	Which Contrast Enhanced Imaging Modality Is More Useful for Breasts: Contrast Enhanced Ultrasound or MRI?	
学会名	開催地	発表年月
13th World Congress of Ultrasound in Medicine and Biology	Vienna, Austria	2011 年 08 月

82.

発表者名	発表標題	
Isobe K, Hata Y, Sakaguchi S, Sato K,	Circulating tumor cells and detection of EGFR mutation in cell-free	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Sugino K, Sano G, Sakamoto S, Takai Y, Shibuya K, Takagi K, Homma S.	tumor DNA in blood plasma in metastatic non-small cell lung cancer with EGFR mutation (#80513).	
学会名	開催地	発表年月
2011 ASCO Chicago USA	Chicago, USA	2011年06月

83.

発表者名	発表標題	
Isobe K, Hata Y, Sakaguchi S, Iwata M, Ota H, Gocho K, Ishida F, Sato K, Sugino K, Sano G, Susumu S, Takai Y, Shibuya K, Takagi K, Homma S	Circulating Tumor Cells as A Prognostic Factor for Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer with EGFR Mutation	
学会名	開催地	発表年月
46th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology	Chicago, USA	2011年06月

84.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、石川由起雄、深澤由里、木下利雄、井内亜美、猪股直美、石井壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスにおける組織修復の実行メカニズム	
学会名	開催地	発表年月
第41回日本創傷治癒学会	名古屋	2011年12月

85.

発表者名	発表標題	
猪股直美、赤坂喜清、今泉りさ、岡田恵美、丸山優、石川由起雄、石井壽晴	皮膚創傷修復における血球由来間葉系前駆細胞(Fibrocyte)の誘導メカニズムの解析	
学会名	開催地	発表年月
第41回日本創傷治癒学会	名古屋	2011年12月

86.

発表者名	発表標題	
牛込充則、船橋公彦、鈴木孝之、澤口悠子、木村和孝、松田聡、竹山照明、塩川洋之、小池淳一、赤坂喜清、澁谷和俊、金子弘真	低侵襲に治療を完遂しえた腸重積をきたしたS状結腸癌の1例.	
学会名	開催地	発表年月
第24回日本内視鏡外科学会総会	大阪	2011年12月

87.

発表者名	発表標題	
秦美暢、湯浅玲奈、密田亜希、若山恵、後藤英典、大塚創、佐藤史朋、高橋祥司、田巻一義、笹本修一、澁谷和俊、高木啓吾	Ciliated muconodular papillary tumor の2切除例.	
学会名	開催地	発表年月
第163回日本肺癌学会関東支部会	東京	2011年12月

88.

発表者名	発表標題	
中山晴雄、篠崎稔、職珠玉、大久保陽一郎、笹井大督、若山 恵、根本哲生、岩淵聡、澁谷和俊	パラフィン包埋組織を用いたISH法およびPCR法による分子生物学的診断法の現状.	
学会名	開催地	発表年月
第24回日本外科感染症学会総会	三重	2011年12月

89.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

山崎有浩, 島田英昭, 谷島 聡, 大嶋陽幸, 鈴木 隆, 名波竜規, 鏡 哲, 皆川輝彦, 土 屋 勝, 田村 晃, 大塚由一郎, 鷺澤尚宏, 羽鳥 努, 澁谷和俊, 金子弘真	Stage 3 胃癌に対する S-1/CDDP 術前化学療法の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

90.

発表者名	発表標題	
石井 淳, 田村 晃, 酒井隆光, 今村茂樹, 木 村和孝, 鏡 哲, 久保田喜久, 片桐敏雄, 前田 徹也, 土屋 勝, 大塚由一郎, 大久保陽一郎, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	腹腔鏡下膵尾部切除を施行した solid-pseudopapillary tumor の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

91.

発表者名	発表標題	
馬越俊輔, 緒方秀昭, 金澤真作, 齊藤芙美, 金子弘真, 笹井大督, 澁谷和俊	乳癌胃転移の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

92.

発表者名	発表標題	
澤口悠子, 船橋公彦, 小池淳一, 塩川洋之, 栗原聰元, 牛込充則, 白坂健太郎, 松田 聡, 鈴木孝之, 鏡 哲, 大久保陽一郎, 澁谷 和俊, 金子弘真	虫垂癌の術後に手術創部に発生した腹壁デスマイド腫瘍の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

93.

発表者名	発表標題	
金澤真作, 緒方秀昭, 馬越俊輔, 齊藤芙美, 澁谷和俊, 金子弘真	組織信号を抑制した造影超音波でみた乳癌術前化学療法の経過.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

94.

発表者名	発表標題	
甲田貴丸, 小池淳一, 栗原聰元, 塩川洋 之, 牛込充則, 白坂健太郎, 鈴木孝之, 船 橋公彦, 赤坂喜清, 島田英昭, 金子弘真	化学療法が奏功し、切除可能となった切除不能 S 状結腸癌穿孔性腹膜炎の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

95.

発表者名	発表標題	
三浦康之, 船橋公彦, 澤口悠子, 甲田貴丸, 鏡 哲, 鈴木孝之, 松田 聡, 白坂健太郎, 牛込充則, 塩川洋之, 栗原聰元, 小池淳一, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	S-1 併用放射線化学療法が著効した肛門管扁平上皮癌の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

96.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

磯部和順, 秦美暢, 太田宏樹, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	EGFR 遺伝子変異陽性患者における耐性遺伝子検索の有用性の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 52 回日本肺癌学会総会	大阪	2011 年 11 月

97.

発表者名	発表標題	
磯部和順, 秦美暢, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	間質性肺炎合併肺癌における治療後急性呼吸障害の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 52 回日本肺癌学会総会	大阪	2011 年 11 月

98.

発表者名	発表標題	
黒澤武介, 磯部和順, 秦美暢, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 大塚創, 佐藤史朋, 高橋祥司, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	III 期非小細胞肺癌における induction therapy の検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 52 回日本肺癌学会総会	大阪	2011 年 11 月

99.

発表者名	発表標題	
石川真由美, 長瀬大輔, 伊東俊秀, 笹井大督, 深澤由里, 須江麻里子, 廣井直樹, 坪井久美子, 名取一彦, 澁谷和俊, 芳野 原	甲状腺未分化癌との鑑別に苦慮した甲状腺悪性リンパ腫の一例	
学会名	開催地	発表年月
第 54 回日本甲状腺学会学術集会	大阪	2011 年 11 月

100.

発表者名	発表標題	
石井 壽晴	心筋架橋を基盤とした心筋梗塞の発生機構	
学会名	開催地	発表年月
第 52 回日本脈管学会総会	岐阜	2011 年 10 月

101.

発表者名	発表標題	
金川武徳, 菊池由宣, 高山竜司, 塩沢一恵, 和久井紀貴, 篠原美絵, 永井英成, 渡邊 学, 石井耕司, 飯田和成, 五十嵐良典, 住野泰清, 深澤由里, 赤坂喜清	経皮的肝腫瘍生検にて診断された肝原発神経内分泌癌の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋, 日本	2011 年 10 月

102.

発表者名	発表標題	
金澤真作, 緒方秀昭, 三塚幸夫, 馬越俊輔, 齊藤美美, 伊東俊秀, 密田亜希, 羽鳥努, 白神伸之, 澁谷和俊, 金子弘真	乳腺造影超音波による時間輝度曲線から解析した乳腺腫瘍性病変の良悪性鑑別.	
学会名	開催地	発表年月
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋	2011 年 10 月

103.

発表者名	発表標題	
大久保 陽一郎, 篠崎 稔, 中山 晴雄, 若山 恵, 笹井 大督, 石渡誉郎, 澁谷 和俊	Cryptococcus gattii 感染症における病態解析.	
学会名	開催地	発表年月
第 55 回日本医真菌学会総会	東京	2011 年 10 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

104.

発表者名	発表タイトル		
金澤真作, 緒方秀昭, 澁谷和俊, 金子弘真	組織信号を抑制した乳腺造影超音波.		
学会名	開催地	発表年月	
第 70 回日本癌学会学術総会	名古屋	2011 年 10 月	

105.

発表者名	発表タイトル		
岡 崇, 冠木敬之, 佐藤大輔, 伊藤 博, 坪田貴也, 一林 亮, 横室浩樹, 根本哲生, 澁谷和俊, 本多 満, 吉原克則	羊水塞栓症による心肺停止死胎児症候群が関与したと思われる 1 救命例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 39 回日本救急医学会学術総会	東京	2011 年 10 月	

106.

発表者名	発表タイトル		
磯部和順, 秦美暢, 石田文昭, 菊池直, 廣田直, 佐藤敬太, 佐野剛, 杉野圭史, 坂本晋, 高井雄二郎, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間栄	EGFR 遺伝子変異陽性肺癌における CTCs と血清遊離 DNA 由来 EGFR 遺伝子変異検出率の関係.		
学会名	開催地	発表年月	
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋	2011 年 10 月	

107.

発表者名	発表タイトル		
長瀬大輔, 和泉春香, 澁谷亜紀子, 本郷恵, 石原 晋, 藤本吉紀, 笹井大督, 加藤元浩, 倉石安庸, 澁谷和俊, 名取一彦	腹腔内臓器に広範し浸潤し緊急的胃切除・術後化学療法を実施した悪性リンパ腫の 2 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋	2011 年 10 月	

108.

発表者名	発表タイトル		
和泉春香, 長瀬大輔, 澁谷亜紀子, 本郷恵, 石原 晋, 藤本吉紀, 加藤元浩, 梅田正法, 倉石安庸, 兵頭洋二, 密田亜希, 宍戸清一郎, 相川 厚, 澁谷和俊, 名取一彦	腎移植後に発生した移植後リンパ増殖性疾患の 3 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋	2011 年 10 月	

109.

発表者名	発表タイトル		
澁谷亜紀子, 和泉春香, 長瀬大輔, 本郷恵, 石原 晋, 藤本吉紀, 加藤元浩, 梅田正法, 倉石安庸, 密田亜希, 澁谷和俊, 名取一彦	溶血性貧血にて発症した血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋	2011 年 10 月	

110.

発表者名	発表タイトル		
篠崎稔, 中山晴雄, 大久保陽一郎, 笹井大督, 若山恵, 井出 忠, 村山琮明, 根本哲生, 澁谷和俊	FFPE 試料を用いた遺伝子補助診断法の開発と評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本医真菌学会	東京	2011 年 10 月	

111.

発表者名	発表タイトル		
中山晴雄, 篠崎 稔, 大久保陽一郎, 笹井大督, 職珠 玉, 若山 恵, 井出忠, 根本哲生, 村山琮明, 澁谷和俊	ホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いた病原酵母の遺伝子学的補助診断法の開発.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本医真菌学会	東京	2011 年 10 月	

112.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表タイトル		
笹井大督, 杉田隆, 大久保陽一郎, 石渡誉郎, 島村剛, 篠崎稔, 若山恵, 澁谷和俊	アゾール耐性トリコスポロンに対する <i>in vivo</i> での L-AMB の有効性検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本医真菌学会	東京	2011 年 10 月	

113.

発表者名	発表タイトル		
三塚幸夫, 金澤真作, 馬越俊輔, 緒方秀昭, 齊藤芙美, 澁谷和俊, 金子弘真	Sonazoid 造影超音波で腫瘍の広がり推定しえた乳癌の一例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 19 回日本乳癌学会学術総会	仙台	2011 年 9 月	

114.

発表者名	発表タイトル		
金澤真作, 緒方秀昭, 三塚幸夫, 馬越俊輔, 齊藤芙美, 密田亜希, 羽鳥努, 澁谷和俊, 金子弘真	乳房造影超音波で観察された腫瘍外染影と病理所見.		
学会名	開催地	発表年月	
第 19 回日本乳癌学会学術総会	仙台	2011 年 9 月	

115.

発表者名	発表タイトル		
齊藤芙美, 緒方秀昭, 岡田弥生, 馬越俊輔, 金澤真作, 水津 優, 若山 恵, 澁谷和俊, 金子弘真	乳癌移植担ガンマウスに対する凍結療法による抗腫瘍効果の検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 19 回日本乳癌学会学術総会	仙台	2011 年 9 月	

116.

発表者名	発表タイトル		
卜部尚久, 坂本 晋, 磯部和順, 杉野圭史, 佐野 剛, 佐藤敬太, 廣田 直, 菊池 直, 石田文昭, 高井雄二郎, 小山幸也, 鈴木亜衣香, 市川敦央, 壽満ありさ, 佐藤史朋, 密田亜希, 澁谷和俊, 高木啓吾, 本間 栄	CT ガイド下生検で炎症性偽腫瘍を疑われ、ステロイド薬で効果なく右下葉切除検体で肺放線菌症と診断した一例		
学会名	開催地	発表年月	
第 138 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会	東京	2011 年 9 月	

117.

発表者名	発表タイトル		
小林 紘, 太田宏樹, 石田文昭, 市川敦夫, 伊藤貴文, 岩田基秀, 菊池 直, 廣田 直, 佐野剛, 佐藤敬太, 杉野圭史, 磯部和順, 坂本 晋, 高井雄二郎, 和泉春香, 名取一彦, 宇月一木原美和, 澁谷和俊, 本間 栄	ボルテゾミブによる薬剤性肺炎の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 138 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会	東京	2011 年 9 月	

118.

発表者名	発表タイトル		
肥塚智, 佐藤史朋, 高橋祥司, 秦美暢, 大塚創, 田巻 一義, 湯浅玲奈, 鈴木亜衣香, 高澤隆紀, 笹井大督, 澁谷和俊, 桐林孝治, 高木啓吾	中縦隔に発生した重症筋無力症合併胸腺腫の胸腔鏡下切除の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 138 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会	東京	2011 年 9 月	

119.

発表者名	発表タイトル		
関根貴子, 間崎和夫, 釘宮剛城, 森山梓, 長島克, 福田雄介, 青木千津, 大村剛, 田中政信, 森田峰人, 平野孝幸, 羽鳥努, 澁谷和俊	子宮頸部異所性癌肉腫の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 50 回日本婦人科腫瘍学会	札幌	2011 年 7 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

120.

発表者名	発表タイトル	
福田雄介, 間崎和夫, 釘宮剛城, 森山梓, 長島克, 関根貴子, 青木千津, 大村剛, 片桐由起子, 田中政信, 森田峰人, 笹井大智, 若山恵, 澁谷和俊, 永田雅人	著明な腹水貯留と腹腔内の散在性結節病変により卵巣悪性腫瘍が疑われた腎細胞癌の1例.	
学会名	開催地	発表年月
第50回日本婦人科腫瘍学会	札幌	2011年7月

121.

発表者名	発表タイトル	
三浦康之, 塩川洋之, 尾作忠知, 吉田公彦, 鈴木孝之, 松田 聡, 白坂健太郎, 新井賢一郎, 牛込充則, 栗原聰元, 小池淳一, 船橋公彦, 赤坂喜清, 金子弘真	虚血性腸炎が併存し診断に苦慮したS状結腸癌術後再発の1例	
学会名	開催地	発表年月
第36回日本外科系連合学会学術集会	浦安	2011年06月

122.

発表者名	発表タイトル	
中山晴雄, 佐村優, 澁谷和俊	市中病院における腸腰筋膿瘍の実際,	
学会名	開催地	発表年月
第59回日本化学療法学会総会	札幌	2011年6月

123.

発表者名	発表タイトル	
酒井隆光, 前田徹也, 大塚由一郎, 澤口悠子, 木村和孝, 久保田喜久, 石井淳, 土屋勝, 島田英昭, 澁谷和俊, 金子弘真	完全型膵管癒合不全を伴った膵・胆管合流異常、先天性胆道拡張症の1例.	
学会名	開催地	発表年月
第23回日本肝胆膵外科学会・学術集会	東京	2011年6月

124.

発表者名	発表タイトル	
石井淳, 土屋勝, 大塚由一郎, 久保田喜久, 片桐敏雄, 前田徹也, 田村晃, 密田亜希, 澁谷和俊, 島田英昭, 金子弘真	急速に増大する術後肝転移をきたした胆嚢管腺内分泌細胞癌の1例.	
学会名	開催地	発表年月
第23回日本肝胆膵外科学会・学術集会	東京	2011年6月

125.

発表者名	発表タイトル	
前田徹也, 大塚由一郎, 土屋勝, 皆川輝彦, 石井淳, 久保田喜久, 田村晃, 島田英昭, 笹井大智, 澁谷和俊, 金子弘真	S-1/Gemcitabine 療法により切除しえた膵体尾部癌の1例.	
学会名	開催地	発表年月
第23回日本肝胆膵外科学会・学術集会	東京	2011年6月

126.

発表者名	発表タイトル	
仲村泰彦, 佐藤敬太, 太田宏樹, 黒澤武介, 小林 紘, 卜部尚久, 小山亨也, 鈴木亜衣香, 壽満ありさ, 市川敦夫, 伊藤貴文, 岩田基秀, 村松陽子, 菊池 直, 石田文昭, 廣田直, 佐野 剛, 杉野圭史, 磯部和順, 坂本晋, 高井雄二郎, 平野孝幸, 羽鳥 努, 根本哲生, 澁谷和俊, 本間 栄	PTTM(pulmonary tumor thrombotic microangiopathy)を合併した縦隔型肺扁平上皮癌の1剖検例.	
学会名	開催地	発表年月
第161回日本肺癌学会関東支部会	東京	2011年6月

127.

発表者名	発表タイトル
湯浅玲奈, 後藤英典, 高橋祥司, 佐藤史朋, 田巻一義, 秦美暢, 高木啓吾, 羽鳥努, 密田亜希, 澁谷和俊	甲状腺癌による気管狭窄に対する治療戦略.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 34 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	浜松	2011 年 6 月

128.

発表者名	発表タイトル		
金澤真作, 緒方秀昭, 三塚幸夫, 馬越俊輔, 齋藤美美, 白神伸之, 澁谷和俊, 金子弘真	乳腺領域において造影超音波は造影 MRI を超えられるか.		
学会名	開催地	発表年月	
第 84 回日本超音波医学会学術集会	東京	2011 年 5 月	

129.

発表者名	発表タイトル		
三塚幸夫, 金澤真作, 丸山憲一, 八鍬恒芳, 緒方秀昭, 馬越俊輔, 齋藤美美, 根本哲夫, 澁谷和俊, 金子弘真	Sonazoid 造影超音波検査による乳癌術前化学療法効果判定の検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 84 回日本超音波医学会学術集会	東京	2011 年 5 月	

130.

発表者名	発表タイトル		
高橋りえ, 篠崎 稔, 佐々木久美子, 大久保陽一郎, 密田亜季, 羽鳥 努, 若山 恵, 根本哲生, 澁谷和俊, 山辺史人	膀胱原発小細胞癌の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 52 回日本臨床細胞学会	福岡	2011 年 5 月	

131.

発表者名	発表タイトル		
高橋祥司, 笹本修一, 秦美暢, 肥塚智, 後藤英典, 佐藤史朋, 田巻一義, 湯浅玲奈, 佐藤敬太, 密田亜希, 澁谷和俊, 高木啓吾	胸骨正中開胸・左主気管支 6 軟骨輪切除・端々吻合を施行した気管支結核の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 28 回日本呼吸器外科学会総会	別府	2011 年 5 月	

132.

発表者名	発表タイトル		
秦美暢, 笹本修一, 田巻一義, 高橋祥司, 佐藤史朋, 後藤英典, 肥塚智, 湯浅玲奈, 密田亜希, 根本哲生, 澁谷和俊, 高木啓吾	大腸癌肺転移における結節性陰影の最大径と組織診断.		
学会名	開催地	発表年月	
第 28 回日本呼吸器外科学会総会	別府	2011 年 5 月	

133.

発表者名	発表タイトル		
宇月美和, 窪田綾子, 澤井高志, 勝呂 徹, 赤坂喜清, 猪股直美, 中村卓司, 宮崎芳安, 石井壽晴	生物学的製剤投与前後での滑膜組織の変化		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月	

134.

発表者名	発表タイトル		
深澤由里, 吉原 彩, 石川由起雄, 赤坂喜清, 廣井直樹, 笹野公伸, 石井壽晴	後腹膜に発生した異所性副腎皮質癌の一部検例		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月	

135.

発表者名	発表タイトル		
赤坂喜清, 小野一郎, 石川由起雄, 猪股直美, 宇月美和, 深澤由里, 藤田和子, 石井壽晴	サイトカイン制御による創傷治癒線維芽細胞アポトーシス発現の意義		
学会名	開催地	発表年月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月
-----------------	----	-------------

136.

発表者名	発表標題		
大久保陽一郎, 北原加奈子, 笹井大督, 平野孝幸, 長谷川千花子, 密田亜希, 羽鳥努, 若山恵, 横瀬智之, 根本哲生, 澁谷和俊	Gangliocytic paraganglioma におけるホルモン受容体の意義.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会	横浜	2011 年 4 月	

137.

発表者名	発表標題		
若山 恵, 篠崎 稔, 澁谷和俊	病理検体を用いた遺伝子診断と後方視的発生動向.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会	横浜	2011 年 4 月	

138.

発表者名	発表標題		
安藤常浩, 澁谷和俊	画像から考える病態.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会,	横浜	2011 年 4 月	

139.

発表者名	発表標題		
澁谷和俊	深在性真菌症における病理診断の現状と課題.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会,	横浜	2011 年 4 月	

140.

発表者名	発表標題		
石川由起雄, 赤坂喜清, 鈴木高祐, 藤原美恵子, 向井清, 新野史, 田中道雄, 森永正二郎, 小沼純子, 下川伶子, 緒方謙太郎, 川原穰, 杉浦 仁, 品川俊人, 滝本寿郎, 飯田 (柳田)真岐, 澁谷和俊, 高橋啓, 宇月美和, 深澤由里, 石井壽晴	心筋梗塞の発生の機序となる心筋架橋が左冠状動脈前下降枝の内膜病変の進展に及ぼす意義.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会,	横浜	2011 年 4 月	

141.

発表者名	発表標題		
宮崎義継, 田辺公一, 梅山 隆, 山越 智, 澁谷和俊, 大野秀明	深在性真菌症における臨床的課題.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会,	横浜	2011 年 4 月	

3. 「組織リモデリングを制御する新規分子の探索」

1.

発表者名	発表標題		
赤坂喜清,	**1. 慢性炎症の組織再構築を制御する microRNA の探索		
学会名	開催地	発表年月	
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成 27 年度事業報告会	東京	2016 年 3 月	

2.

発表者名	発表標題		
中道美保, 赤坂喜清, 大西 清	bFGF 誘導性骨髄間葉系前駆細胞(Fibrocyte)の同定と血管新生メカニズム(イノベーションセミナー).		
学会名	開催地	発表年月	
第 45 回日本創傷治癒学会	東京	2015 年 11 月	

3.

発表者名	発表標題		
------	------	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

中道美保, 赤坂喜清, 岡根谷哲哉, 今泉りさ, 荻野晶弘, 岡田恵美, 大西清	血管増殖因子による骨髄間葉系前駆細胞の発現誘導と血管新生.	
学会名	開催地	発表年月
第 24 回日本形成外科学会基礎学術集会	盛岡	2015 年 10 月

4.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清,	**2. 慢性炎症の間質リモデリングを制御する microRNA の解析	
学会名	開催地	発表年月
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成 26 年度事業報告会	東京	2015 年 3 月

5.

発表者名	発表標題	
Akasaka Y, Kinoshita T, Nakamichi M, Akishima - Fukasawa Y, Suzuki T, Ohnishi K, Ikeda T, Mikami T	Basic fibroblast growth factor inhibits fibrotic response of cardiac fibroblasts in hypertensive hearts through enhanced TIMP-1 expression	
学会名	開催地	発表年月
2015 WHS Annual Meeting	San Antonio, Texas, USA	2015 年 4 月

6.

発表者名	発表標題	
中道美保, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 三上哲夫, 大西 清	創傷治癒期の血管増殖因子による血管新生メカニズムと骨髄間葉系前駆細胞の関与	
学会名	開催地	発表年月
第 44 回日本創傷治癒学会	仙台	2014 年 12 月

7.

発表者名	発表標題	
Inomata N, Nakamichi M, Akasaka Y	Fibrocyte behavior relative to blood vessels under skin wound healing	
学会名	開催地	発表年月
The Wound Healing Society's 2014 Annual Meeting	Orland, Florida, USA	2014 年 4 月

8.

発表者名	発表標題	
Nakamichi M, Kinoshita T, Inomata N, Fukasawa Y, Mikami T, Ohnishi K, Akasaka Y	**3. Enhanced MMP-9 activation during the process of scar-less healing regulated by apoptosis in granulation-tissue fibroblasts.	
学会名	開催地	発表年月
The Wound Healing Society's 2014 Annual Meeting	Orland, Florida, USA	2014 年 4 月

9.

発表者名	発表標題	
Fujita K, Wang B, Kuwabara T, Kamaka I, Tanaka K, Akasaka Y, Ishii T	X-ray irradiation suppresses SLE-like morbidity in NZBWF1 mice.	
学会名	開催地	発表年月
15th International Congress of Immunology	Milan, Italia	2013 年 8 月

10.

発表者名	発表標題	
Akasaka Y, Ono I, Inomata N	**4. The mechanisms of fibroblast apoptosis induced by basic fibroblast growth factor during scarless repair process.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

23 rd Annual meeting of the wound healing society SAWC spring/WHS joint meeting	Denver, U.S.A	2013年 5月
--	---------------	----------

11.

発表者名	発表標題	
Ono I, Akasaka Y, Takata K	**5. Administration of basic fibroblast growth factor (bFGF) through self-dissolving microneedles for local therapy of skin.	
学会名	開催地	発表年月
23 rd Annual meeting of the wound healing society SAWC spring/WHS joint meeting	Denver, U.S.A	2013年 5月

12.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、石川由紀雄、小野一郎、深澤由里、井内亜美、小竹遥香、木下利雄、藤田和子、石井壽晴	**6. 創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム.	
学会名	開催地	発表年月
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013年 6月

13.

発表者名	発表標題	
横尾智子、赤坂喜清、石川由紀雄、木下利雄、猪俣直美、井内亜美、深澤由里、小竹遥香、石井壽晴	悪性リンパ腫における MALT1 と BCL10 蛋白の核内発現の意義.	
学会名	開催地	発表年月
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013年 6月

14.

発表者名	発表標題	
小竹遥香、赤坂喜清、石川由紀雄、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪俣直美、石井壽晴	ケロイド線維芽細胞における TGF- β Receptor と Smad の発現異常.	
学会名	開催地	発表年月
第 102 回日本病理学会総会	札幌	2013年 6月

15.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、木下利雄、小竹遥香、石川由起雄、井内亜美、深澤由里、猪俣直美、石井壽晴	**7. 創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治癒学会	札幌	2012年 12月

16.

発表者名	発表標題	
木下利雄、赤坂喜清、石川由起雄、鈴木健也、井内亜美、猪俣直美、深澤由里、池田隆徳、石井壽晴	bFGF による心筋間質細胞外マトリックス制御と高血圧性心不全リモデリングの抑制機序	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回創傷治癒学会	札幌	2012年 12月

17.

発表者名	発表標題	
小竹遥香、赤坂喜清、石川由起雄、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪俣直美、石井壽晴	ケロイド線維芽細胞における Smad と MMP の発現異常とその意義	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治癒学会	札幌	2012年 12月

18.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Inomata N, Akasaka Y, Imaizumi R, Okada E, Onishi K	Fibrocyte expression relative to blood vessels during skin healing.		
学会名	開催地	発表年月	
第 42 回日本創傷治癒学会 (WHS-JSWH Joint Symposium).	札幌	2012 年 12 月	

19.

発表者名	発表標題		
猪俣直美, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 石川由起雄, 石井壽晴, 大西 清	創傷治癒における血管構造に関連した血球由来間葉系前駆細胞 (Fibrocyte) の発現性		
学会名	開催地	発表年月	
第 21 回日本形成外科学会基礎学術集会	猪苗代	2012 年 10 月	

20.

発表者名	発表標題		
伊藤正朗, 谷島 聡, 島田英昭, 山崎有浩, 名波竜規, 大嶋陽幸, 前田徹也, 鷺澤尚宏, 密田亜希, 赤坂喜清, 根本哲生, 澁谷和俊, 金子弘真	術前化学療法 (S-1/CDDP) を 1 サイクル施行し、CR が得られた進行胃癌の 1 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 50 回日本癌治療学会学術集会	横浜	2011 年 10 月	

21.

発表者名	発表標題		
井内亜美, 石川由起雄, 赤坂喜清, 深澤由里, 下川伶子, 木下利雄, 小竹遙香, 石井壽晴	左冠状動脈前下行枝の内膜病変に与える心筋架橋被覆部の解剖学的環境の影響		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

22.

発表者名	発表標題		
横尾智子, 赤坂喜清, 石川由起雄, 木下利雄, 猪股直美, 井内亜美, 深澤由里, 石井壽晴	悪性リンパ腫における BCL10 核内異常発現と意義		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

23.

発表者名	発表標題		
下川伶子, 石川由起雄, 井内亜美, 深澤由里, 赤坂喜清, 木下利雄, 猪股直美, 石井壽晴	膝窩動脈の外膜囊腫の一例		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

24.

発表者名	発表標題		
石川由起雄, 下川伶子, 井内亜美, 深澤由里, 赤坂喜清, 石井壽晴	子宮体部内膜癌に伴った骨盤内及び大動脈リンパ節のvascular leiomyomatosisの一例		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

25.

発表者名	発表標題		
木下利雄, 赤坂喜清, 鈴木健也, 石川由起	Basic Fibroblast Growth Factor(bFGF)による高血圧性心不全の心筋		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、横尾智子、猪股直美、山口 純一、石井壽晴	リモデリング抑制機序	
学会名	開催地	発表年月
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月

26.

発表者名	発表標題	
鈴木高祐、宇野美恵子、楊楊、阿部江利子、李治平、石川由起雄	重傷感染症に心筋炎を合併し心破裂を来した屠考えられる一剖検例	
学会名	開催地	発表年月
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月

27.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、石川由起雄、小野一郎、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪股直美、石井壽晴	**8. 創傷治癒期の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復の実行メカニズム	
学会名	開催地	発表年月
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月

28.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、石川由起雄、深澤由里、木下利雄、井内亜美、猪股直美、石井壽晴	**9. 創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスにおける組織修復の実行メカニズム	
学会名	開催地	発表年月
第 41 回日本創傷治癒学会	名古屋	2011 年 12 月

29.

発表者名	発表標題	
猪股直美、赤坂喜清、今泉りさ、岡田恵美、丸山優、石川由起雄、石井壽晴	皮膚創傷修復における血球由来間葉系前駆細胞(Fibrocyte)の誘導メカニズムの解析	
学会名	開催地	発表年月
第 41 回日本創傷治癒学会	名古屋	2011 年 12 月

30.

発表者名	発表標題	
牛込充則、船橋公彦、鈴木孝之、澤口悠子、木村和孝、松田聡、竹山照明、塩川洋之、小池淳一、赤坂喜清、澁谷和俊、金子弘真	低侵襲に治療を完遂した腸重積をきたした S 状結腸癌の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 24 回日本内視鏡外科学会総会	大阪	2011 年 12 月

31.

発表者名	発表標題	
甲田貴丸、小池淳一、栗原聰元、塩川洋之、牛込充則、白坂健太郎、鈴木孝之、船橋公彦、赤坂喜清、島田英昭、金子弘真	化学療法が奏功し、切除可能となった切除不能 S 状結腸癌穿孔性腹膜炎の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 73 回日本臨床外科学会総会	東京	2011 年 11 月

32. 105

発表者名	発表標題	
金川武徳、菊池由宣、高山竜司、塩沢一恵、和久井紀貴、篠原美絵、永井英成、渡邊 学、石井耕司、飯田和成、五十嵐良典、住野泰清、深澤由里、赤坂喜清	経皮的肝腫瘍生検にて診断された肝原発神経内分泌癌の 1 例	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 49 回日本癌治療学会学術集会	名古屋, 日本	2011 年 10 月
-------------------	---------	-------------

33.

発表者名	発表標題		
宇月美和, 窪田綾子, 澤井高志, 勝呂 徹, 赤坂喜清, 猪股直美, 中村卓司, 宮崎芳安, 石井壽晴	生物学的製剤投与前後での滑膜組織の変化		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月	

34.

発表者名	発表標題		
深澤由里, 吉原 彩, 石川由起雄, 赤坂喜 清, 廣井直樹, 笹野公伸, 石井壽晴	後腹膜に発生した異所性副腎皮質癌の一部検例		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月	

35.

発表者名	発表標題		
赤坂喜清, 小野一郎, 石川由起雄, 猪股直 美, 宇月美和, 深澤由里, 藤田和子, 石井 壽晴	**10. サイトカイン制御による創傷治癒線維芽細胞アポトーシス発現 の意義		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月	

36.

発表者名	発表標題		
大久保陽一郎, 北原加奈子, 笹井大督, 平野孝幸, 長谷川千花子, 密田亜希, 羽鳥 努, 若山恵, 横瀬智之, 根本哲生, 澁谷和 俊	Gangliocytic paraganglioma におけるホルモン受容体の意義.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会	横浜	2011 年 4 月	

37.

発表者名	発表標題		
石川由起雄, 赤坂喜清, 鈴木高祐, 藤原美 恵子, 向井清, 新野史, 田中道雄, 森永正 二郎, 小沼純子, 下川伶子, 緒方謙太郎, 川原穰, 杉浦 仁, 品川俊人, 滝本寿郎, 飯 田 (柳田)真岐, 澁谷和俊, 高橋啓, 宇月美 和, 深澤由里, 石井壽晴	心筋梗塞の発生の機序となる心筋架橋が左冠状動脈前下降枝の内膜病 変の進展に及ぼす意義.		
学会名	開催地	発表年月	
第 100 回 日本病理学会総会,	横浜	2011 年 4 月	

5. 「p38 キナーゼによるミクログリア活性化と脊髄再生促進」

1.

発表者名	発表標題		
浜之上 誠, 小林正明, 緒方 徹, 中嶋一行, 高松 研	**1. 内在性ミクログリア再活性化因子としての細胞外 p38MAP キナーゼ.		
学会名	開催地	発表年月	
第 93 回日本生理学会大会,	札幌	2016 年 3 月	

2.

発表者名	発表標題		
浜之上 誠, 高松 研	**2. 細胞外リン酸化酵素によるミクログリア活性化と瘢痕除去作用の解析.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業平成 27 年度事業報告会	東京	2016 年 3 月

3.

発表者名	発表標題		
Hamanoue M, Morioka K, Ohsawa I, Ogata T, Takamatsu K	**3. Cell-permeable p38 MAP kinase promotes migration of adult neural stem/progenitor cells		
学会名	開催地	発表年月	
第 58 日本神経化学会大会	大宮	2015 年 9 月	

4.

発表者名	発表標題		
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Reversible changes in the orientation pattern of ZP filaments in the extracellular coat of Xenopus egg by dicalcin.		
学会名	開催地	発表年月	
第 47 回日本結合組織学会学術大会	東京	2015 年 6 月	

5.

発表者名	発表標題		
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Structural plasticity of the mature egg-coating envelope accompanied by the extrinsic control of fertilization success in Xenopus laevis.		
学会名	開催地	発表年月	
第 48 回日本発生生物学会	つくば	2015 年 4 月	

6.

発表者名	発表標題		
Hamanoue M, Hayakawa K, Morioka, K, Ogata T, Nakajima K, Takamatsu K	Functional recovery from chronic spinal cord injury by the reactivation of endogenous microglia.		
学会名	開催地	発表年月	
Nanosymposium, Neuroscience 2015	Chicago, USA	2015 年 10 月	

7.

発表者名	発表標題		
浜之上誠, 緒方徹, 高松研	神経幹細胞遊走能活性化因子としての p38MAP キナーゼ.		
学会名	開催地	発表年月	
第 57 回日本神経化学会大会	奈良	2014 年 9 月	

8.

発表者名	発表標題		
Kawamura G, Hattori M, Tamaru T, Takamatsu K, Ozawa T	Investigating a role of heat-shock response pathway in the UV light-mediated synchronization of circadian clocks.		
学会名	開催地	発表年月	
The 30th Anniversary Meeting of Sapporo Symposium on Biological Rhythm	Sapporo	2014 年 7 月	

9.

発表者名	発表標題		
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Identification of the interactive region on gp41, Xenopus orthologue of ZP3, for its target Xenopus dicalcin.		
学会名	開催地	発表年月	
47th Annual Meeting of Society for the Study of Reproduction	Boston, USA	2014 年 7 月	

10.

発表者名	発表標題		
Tamaru T	CK2-orchestrated circadian signalosome regulates mammalian clock system.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第90回日本生理学会大会	東京	2013年03月

11.

発表者名	発表標題	
Hamanoue M, Ikeda Y, Takamatsu K	Specific expression of n-acetylglucosaminyltransferase V in mouse neural stem cells.	
学会名	開催地	発表年月
第90回日本生理学会大会	東京	2013年03月

12.

発表者名	発表標題	
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Identification of binding regions on Xenopus dicalcin for its target glycoprotein in the egg-coating envelope.	
学会名	開催地	発表年月
第90回日本生理学会大会	東京	2013年03月

13.

発表者名	発表標題	
Kobayashi M, Takamatsu K	Hippocalcin protects hippocampal neurons, against MLK3-mediated excitotoxin damage.	
学会名	開催地	発表年月
第90回日本生理学会大会	東京	2013年03月

14.

発表者名	発表標題	
三輪尚史, 齋藤善雄	受精調節タンパク質ダイカルシンの作用機構の解析	
学会名	開催地	発表年月
第141回東邦医学会例会	東京	2013年02月

15.

発表者名	発表標題	
田丸輝也, 服部 満, 小澤岳昌, 高松 研	概日リン酸化オシレータによる翻訳後修飾系の統合制御	
学会名	開催地	発表年月
第19回日本時間生物学会学術大会	札幌	2012年12月

16.

発表者名	発表標題	
田丸輝也, 服部 満, 小澤岳昌, 高松 研	ヒートショック応答系による概日リズムのリセット	
学会名	開催地	発表年月
第35回日本分子生物学会年会	福岡	2012年12月

.17.

発表者名	発表標題	
浜之上 誠, 森岡和仁, 緒方 徹, 中嶋一行, 高松 研	**4. 慢性脊髄損傷に対する内在性ミクログリア活性化療法の基礎的研究	
学会名	開催地	発表年月
第35回日本分子生物学会年会	福岡	2012年12月

18.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

浜之上 誠	**5. 内在性神経幹細胞遊走活性促進作用を利用した損傷脳機能再生治療法の開発		
学会名	開催地	発表年月	
第 66 回東邦医学会総会	東京	2012 年 11 月	

19.

発表者名	発表標題		
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Characterization of Mouse Dicalcin in the female reproductive tissue.		
学会名	開催地	発表年月	
第 45 回日本発生生物学会大会	神戸	2012 年 05 月	

20.

発表者名	発表標題		
三輪尚史, 花上まゆ, 高松 研	マウス生殖器におけるダイカルシン類似蛋白質の特性解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 89 回日本生理学会大会	松本	2012 年 03 月	

21.

発表者名	発表標題		
浜之上 誠, 中嶋一行, 高松 研	**6. 細胞外キナーゼによるミクログリア活性化機構の解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 89 回日本生理学会大会	松本	2012 年 03 月	

22.

発表者名	発表標題		
浜之上 誠, 原科純一	**7. 内在性神経幹細胞遊走能活性化分子の機能解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 139 回東邦医学会例会	東京	2012 年 02 月	

23.

発表者名	発表標題		
Hamanoue M, Morioka K, Ogata T, Nakajima K, Takamatsu K	**8. Secretion of growth factors from spinal cord microglia are enhanced by p38 MAP kinase.		
学会名	開催地	発表年月	
Neuroscience 2012, SfN's 42nd annual meeting	New Orleans, USA	2012 年 10 月	

24.

発表者名	発表標題		
Okazaki R, Hayakawa K, Morioka K, Imamura O, Takishima K, Hamanoue M, Endo S, Tanaka S, Ogata T	**9. Erk2 regulates proinflammatory gene expressions in demyelinating disorders.		
学会名	開催地	発表年月	
Neuroscience 2012, SfN's 42nd annual meeting	New Orleans, USA	2012 年 10 月	

25.

発表者名	発表標題		
Kobayashi M, Hamanoue M, Takamatsu K	Binding profile and intracellular colocalization between hippocalcin and creatine kinase B subunit.		
学会名	開催地	発表年月	
The 11th Biennial Meeting of the Asian Pacific Society for Neurochemistry, The 55th Annual Meeting of the Japanese	Kobe, Japan	2012 年 10 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Society for Neurochemistry, The34th Annual Meeting of Japanese Society Biological Psychiatry		
--	--	--

26.

発表者名	発表標題		
Hamanoue M, Morioka K, Ogata T, Nakajima K, Takamatsu K	**10. p38 MAP kinase enhances secretion of GDNF and VEGF from rat spinal cord microglia.		
学会名	開催地	発表年月	
The 11th Biennial Meeting of the Asian Pacific Society for Neurochemistry, The 55th Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry, The34th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry	Kobe, Japan	2012 年 10 月	

27.

発表者名	発表標題		
Hamanoue M, Ikeda Y, Takamatsu K	**11. The roles of n-acetylglucosaminyltransferase in adult mouse neural stem cells.		
学会名	開催地	発表年月	
Neuroscience 2011, the 41th Annual SfN Meeting Neuroscience	Washington DC, USA	2011 年 11 月	

28.

発表者名	発表標題		
Miwa N, Hanaue M, Takamatsu K	Characterization of Mouse Dicalcin, a Potential Suppressive Factor of Fertilization, in the Mouse Female Reproductive Tract.		
学会名	開催地	発表年月	
45th Annual Meeting of Society for the Study of Reproduction	Portland, USA	2011 年 7 月	

29.

発表者名	発表標題		
田丸輝也, 服部 満, 本多弘輔, 小澤岳昌, 高松 研	ヒートショックパルスに同調する哺乳類概日リズム発現系の解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 18 回日本時間生物学会学術集会	名古屋	2011 年 11 月	

30.

発表者名	発表標題		
三輪尚史, 花上まゆ	ダイカルシンによる受精調節機能の解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 65 回東邦医学会総会	東京	2011 年 11 月	

31.

発表者名	発表標題		
浜之上 誠, 池田義孝, 高松 研	**12. 神経幹細胞における糖転移酵素の発現と機能解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 34 回日本神経科学大会	横浜	2011 年 09 月	

32.

発表者名	発表標題		
小林正明, 高松 研, 浜之上 誠	ヒポカルシンを介する脳型クレアチンキナーゼ (BB-CK) のカルシウム依存性膜移行		
学会名	開催地	発表年月	
第 34 回日本神経科学大会	横浜	2011 年 09 月	

33.

発表者名	発表標題		
------	------	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

三輪尚史, 花上まゆ, 高松 研	受精阻害因子ダイカルシンによる卵保護膜内糖鎖分布制御機構の解析	
学会名	開催地	発表年月
第 43 回日本結合組織学会学術大会	別府	2011 年 06 月

6. 「難治性創傷皮膚炎の骨髄前駆細胞を用いた血管新生療法」

1.

発表者名	発表タイトル	
山田哲郎、遠藤剛史、平田晶子、上野佐知、長島義宣、林 典行、中村正人、田中友里、大西 清	重症 下肢虚血における末梢血行再建法の検討-創傷と血管造影所見から-(主題)	
学会名	開催地	発表年月
第 45 回日本創傷治癒学会	東京	2015 年 11 月

2.

発表者名	発表タイトル	
中道美保、赤坂喜清、大西 清	**1. bFGF 誘導性骨髄間葉系前駆細胞(Fibrocyte)の同定と血管新生メカニズム(イノベーションセミナー)	
学会名	開催地	発表年月
第 45 回日本創傷治癒学会	東京	2015 年 11 月

3.

発表者名	発表タイトル	
中道美保、赤坂喜清、岡根谷哲哉、今泉りさ、荻野晶弘、岡田恵美、大西 清	**2. 血管増殖因子による骨髄間葉系前駆細胞に発現誘導と血管新生	
学会名	開催地	発表年月
第 24 回日本形成外科学会基礎学術集会	盛岡	2015 年 10 月

4.

発表者名	発表タイトル	
中道美保、上野佐知、縄田麻友	**3. 骨髄間葉系前駆細胞による組織修復と血管新生メカニズムの解析	
学会名	開催地	発表年月
第 146 回東邦 医学会例会平成 26 年度プロジェクト研究報告	東京	2015 年 6 月

5.

発表者名	発表タイトル	
Hayashi A, Nawata M, Okaneya T, Nakamichi M, Okada E, Onishi K, Shinya M, Shiraishi M	Scoring for the Qualitative Evaluation of Smiles in Patients with Facial Paralysis	
学会名	開催地	発表年月
The 16th Congress of International Society of Craniofacial Surgery 2015	Tokyo, Japan	2015 年 9 月

6.

発表者名	発表タイトル	
Ogino A, Onishi K, Okada E, Yamada T, Hayashi A	Intraoperative repositioning assessment using navigation system in facial bone fracture	
学会名	開催地	発表年月
The 16th Congress of International Society of Craniofacial Surgery 2015	Tokyo, Japan	2015 年 9 月

7.

発表者名	発表タイトル	
Y. Akasaka, T. Kinoshita, M. Nakamichi, Y. Akishima - Fukasawa, T. Suzuki, K. Ohnishi,	**4. Basic fibroblast growth factor inhibits fibrotic response of cardiac fibroblasts in hypertensive hearts through enhanced TIMP-1 expression.	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

T. Ikeda, T. Mikami			
学会名	開催地	発表年月	
2015 WHS Annual Meeting	San Antonio, Texas, USA	2015年 4月	

8.

発表者名	発表標題		
中道美保、大西 清	**5. 骨髄由来間葉系前駆細胞による組織修復と新規血管新生メカニズム		
学会名	開催地	発表年月	
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業プログラム 平成26年度事業報告会	東京	2015年 03月	

9.

発表者名	発表標題		
中道美保、赤坂喜清、今泉りさ、岡田恵美、三上哲夫、大西 清	**6. 創傷治癒期の血管増殖因子による血管新生メカニズムと骨髄間葉系前駆細胞の関与		
学会名	開催地	発表年月	
第44回日本創傷治癒学会	仙台	2014年 12月	

10.

発表者名	発表標題		
Hayashi A, Nawata M, Hashimoto M, Okada E, Ogino A, Onishi K	Lengthening temporalis myoplasty without nasolabial incision. (Sympo)		
学会名	開催地	発表年月	
12th International Microsurgical Symposium	Sao Paulo, Brazi	2014年 9月	

11.

発表者名	発表標題		
Hayashi A, Nawata M, Nakamichi M, Okada E, Onishi K, Shinya M, Shiraishi M	An evaluation method focusing on smile quality employing scoring (Sympo)		
学会名	開催地	発表年月	
12th International Microsurgical Symposium	Sao Paulo, Brazil	2014年 9月	

12.

発表者名	発表標題		
Inomata N, Nakamichi M, Akasaka Y	**7. Fibrocyte behavior relative to blood vessels under skin wound healing.		
学会名	開催地	発表年月	
The Wound Healing Society's 2014 Annual Meeting	Orland, Florida, USA	2014年 4月	

13.

発表者名	発表標題		
Nakamichi M, Kinoshita T, Inomata N, Fukasawa Y, Mikami T, Ohnishi K, Akasaka Y	Enhanced MMP-9 activation during the process of scar-less healing regulated by apoptosis in granulation-tissue fibroblasts.		
学会名	開催地	発表年月	
The wound healing society annual meeting 2014	Orland Florida, USA	2014年 4月	

14.

発表者名	発表標題		
Akasaka Y, Ono I, Inomata N	The mechanisms of fibroblast apoptosis induced by basic fibroblast growth factor during scarless repair process.		
学会名	開催地	発表年月	
23 rd Annual meeting of the wound healing society SAWC spring/WHS joint meeting	Denver. USA	2013年 5月	

15.

発表者名	発表標題		
猪股直美、大西清	熱傷に対する水圧式ナイフ(バーサジェット S)の使用経験.		
学会名	開催地	発表年月	
第39回日本熱傷学会総会	沖縄	2013年 6月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

16.

発表者名	発表標題		
Hirata A, Okada E, Saze M, Hayash A, Onishi K	NON-INVASIVE EVALUATION OF ULTRASONOGRAPHY GUIDED REDUCTION OF NASAL BONE FRACTURE.		
学会名	開催地	発表年月	
24th International Conference of the Society for Medical Innovation and Technology (SMIT 2012)	Barcelona, Spain	2012年9月	

17.

発表者名	発表標題		
Hayash A, Ogino A, Arai M, Okada E, Onishi K, Saze M, Shinya M, Shiraishi M	Database construction system of the cranio-maxillo-facial bones using feature points from 3-dimensional CT data.		
学会名	開催地	発表年月	
24 th International Conference of the Society for Medical Innovation and Technology (SMIT 2012)	Barcelona, Spain	2012年9月	

18.

発表者名	発表標題		
Okada E, Onishi K, Hayash A, Hirata A, Saze M, Maruyama Y	Three-Dimensional Facial Simulations and Measurements: Changes Associated with Facial Expression.		
学会名	開催地	発表年月	
24th International Conference of the Society for Medical Innovation and Technology (SMIT 2012)	Barcelona, Spain	2012年9月	

19.

発表者名	発表標題		
Utsunomiya M, Yamada T, Onishi K, Nakamura M	Relationship Between Improvement of Skin Perfusion Pressure, Clinical Outcomes and Wound Blush After Successful Endovascular Treatment.		
学会名	開催地	発表年月	
4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies	Yokohama	2012年9月	

20.

発表者名	発表標題		
Yamada T, Onishi K, Hirata A, Ueno S, Nakanishi Y, Utsunomiya M, Nakamura M, Maruyama Y	Treatment Strategy for Critical Limb Ischemia in Our Hospital.		
学会名	開催地	発表年月	
4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies	Yokohama	2012年9月	

21.

発表者名	発表標題		
Hirata A, Onishi K, Yamada T, Maruyama Y, Nawata M	PALM BURNS ON BOTH HANDS CAUSED BY ROPE FRICTION.		
学会名	開催地	発表年月	
4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies	Yokohama, Japan	2012年9月	

22.

発表者名	発表標題		
Utsunomiya M, Yamada T, Onishi K, Nakamura M	Impact of Dialysis on Clinical Outcomes in Patients with Critical Limb Ischemia After Successful Endovascular Therapy.		
学会名	開催地	発表年月	
4th Congress of the World Union of Wound Healing	Yokohama	2012年9月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Societies		
-----------	--	--

23.

発表者名	発表標題	
Hayashi A, Ogino A, Arai M, Nakamichi M, Nakahashi Y, Okada E, <u>Onishi K</u>	Smile evaluation after reanimation of facial paralysis using scoring method.	
学会名	開催地	発表年月
The 11th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery	Awaji Island, Hyougo, Japan	2012年 5月

24.

発表者名	発表標題	
Hayashi A, Ogino A, Arai M, Nakamichi M, Nakahashi Y, Okada E, <u>Onishi K</u>	A comparison of one-stage muscle transfer and temporalis myoplasty procedure for facial reanimation using scoring method.	
学会名	開催地	発表年月
The 11 th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery	Awaji Island, Hyougo, Japan	2012年 5月

25.

発表者名	発表標題	
Hirata A, <u>Onishi K</u> , Yamada T, Ueno S, Nakahashi Y, Maruyama Y	Evaluation of ultrasonography-guided reduction of nasal bone fracture.	
学会名	開催地	発表年月
The 11th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery	Awaji Island, Hyougo, Japan	2012年 5月

26.

発表者名	発表標題	
Hirata A, <u>Onishi K</u> , Yamada T, Ueno S, Nakamichi M, Okada E, Maruyama Y	Nasal reconstruction with Rintala flap.	
学会名	開催地	発表年月
The 11th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery	Awaji Island, Hyougo, Japan	2012年 5月

27.

発表者名	発表標題	
中道美保、平田晶子、遠藤剛史、上野佐知、 <u>大西 清</u>	超音波断層装置を使用した鼻骨骨折整復位確認法の検討	
学会名	開催地	発表年月
第 18 回日本形成外科手術手技学会	東京	2012年 02月

28.

発表者名	発表標題	
木下利雄、 <u>赤坂喜清</u> 、石川由起雄、鈴木健也、井内亜美、猪俣直美、深澤由里、 <u>池田隆徳</u> 、石井壽晴	bFGF による心筋間質細胞外マトリックス制御と高血圧性心不全リモデリングの抑制機序	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回創傷治癒学会	札幌	2012年 12月

29.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、木下利雄、小竹遥香、石川由起雄、井内亜美、深澤由里、猪股直美、石井壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム.	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治癒学会	札幌	2012年 12月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

30.

発表者名	発表標題		
荻野晶弘, 林 明照, 大西 清, 岡田恵美, 岩倉 敬, 今泉りさ, 猪股直美, 片柳智之, 小澤 司, 渡邊善則	胸骨骨髓炎・縦隔炎に対する V.A.C ATSC 治療システムの有用性		
学会名	開催地	発表年月	
第 42 回日本創傷治癒学会	札幌	2012 年 12 月	

31.

発表者名	発表標題		
平田晶子, 遠藤剛史, 上野佐知, 中道美保, 大西 清, 山田哲郎, 縄田麻友	多血小板血漿局注療法による慢性皮膚潰瘍への治療効果の検討(主題).		
学会名	開催地	発表年月	
第 42 回日本創傷治癒学会	札幌	2012 年 12 月	

32.

発表者名	発表標題		
佐瀬道郎, 山田哲郎, 遠藤剛史, 岩倉 敬, 岡田恵美, 大西 清	“Reading man flap” のデザインに対する検討と臨床応用		
学会名	開催地	発表年月	
第 22 回日本シミュレーション外科学会	東京	2012 年 11 月	

33.

発表者名	発表標題		
遠藤剛史, 平田晶子, 上野佐知, 中道美保, 荻野晶弘, 大西 清	眼窩底骨折の骨移植に対するナビゲーションシステムの応用		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	大阪	2012 年 11 月	

34.

発表者名	発表標題		
橋本麻衣子, 林 明照, 荻野晶弘, 大西清	麻痺性兔眼に対する上下眼瞼同時再建の経験		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	大阪,	2012 年 11 月	

35.

発表者名	発表標題		
平田晶子, 遠藤剛史, 上野佐知, 中道美保, 大西 清, 山田哲郎	超音波断層装置による鼻骨骨折整復位確認法の検討		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	大阪	2012 年 11 月	

36.

発表者名	発表標題		
林 明照, 荻野晶弘, 新井麻衣子, 岡田恵美, 大西 清	顔面神経麻痺における島状側頭筋移行術の適応に関する検討		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	大阪	2012 年 11 月	

37.

発表者名	発表標題		
猪股直美, 赤坂喜清, 今泉りさ, 岡田恵美, 石川由起雄, 石井壽晴, 大西 清	**8. 創傷治癒における血管構造に関連した血球由来間葉系前駆細胞 (Fibrocyte) の発現性		
学会名	開催地	発表年月	
第 21 回日本形成外科学会基礎学術集会	猪苗代,	2012 年 10 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

38.

発表者名	発表標題		
遠藤剛史, 佐瀬道郎, 永崎真理子, 鈴木さゆり, 岩倉 敬, 平田晶子, 大西 清	大転子部褥瘡に対する"The modified reading man procedure"の適応		
学会名	開催地	発表年月	
第 14 回日本褥瘡学会学術集会	横浜	2012 年 09 月	

39.

発表者名	発表標題		
横尾智子, 赤坂喜清, 石川由起雄, 木下利雄, 猪股直美, 井内亜美, 深澤由里, 石井壽晴	悪性リンパ腫における BCL10 核内異常発現と意義		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 04 月	

40.

発表者名	発表標題		
下川伶子, 石川由起雄, 井内亜美, 深澤由里, 赤坂喜清, 木下利雄, 猪股直美, 石井壽晴	膝窩動脈の外膜囊腫の一例		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 04 月	

41.

発表者名	発表標題		
木下利雄, 赤坂喜清, 鈴木健也, 石川由起雄, 深澤由里, 井内亜美, 藤田和子, 横尾智子, 猪股直美, 山□ 純一, 石井壽晴	Basic Fibroblast Growth Factor(bFGF)による高血圧性心不全の心筋リモデリング抑制機序		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 04 月	

42.

発表者名	発表標題		
赤坂喜清, 石川由起雄, 小野一郎, 木下利雄, 深澤由里, 井内亜美, 藤田和子, 猪股直美, 石井壽晴	創傷治癒期の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復の実行メカニズム		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 04 月	

43.

発表者名	発表標題		
荻野晶弘, 大西 清, 岡田恵美, 岩倉 敬, 今泉りさ, 猪股直美, 中橋佳大, 丸山 優	超音波カラードップラーを用いた腹直筋皮弁の血管波形解析		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本形成外科学会総会学術集会	東京	2012 年 04 月	

44.

発表者名	発表標題		
大西 清	本年度の診療報酬改定について手術		
学会名	開催地	発表年月	
第 55 回日本形成外科学会総会学術集会	東京	2012 年 04 月	

45.

発表者名	発表標題		
------	------	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

平田晶子、大西 清、山田哲郎、上野佐知、 中道美保、丸山 優	鼻骨骨折に対する超音波補助下整復術の有用性	
学会名	開催地	発表年月
第 55 回日本形成外科学会総会学術集会	東京	2012 年 04 月

46.

発表者名	発表標題	
山田哲郎、大西 清、平田晶子、上野佐知、 宇都宮誠、中村正人、丸山 優、縄田麻友	創傷を伴う重症下肢虚血における多血小板血漿療法の経験	
学会名	開催地	発表年月
第 55 回日本形成外科学会総会学術集会	東京	2012 年 04 月

47.

発表者名	発表標題	
Inomata N, Akasaka Y, Imaizumi R, Okada E, Onishi K	** 8. Fibrocyte expression relative to blood vessels during skin healing.	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治癒学会 (WHS-JSWH Joint Symposium).	札幌	2012 年 12 月

48.

発表者名	発表標題	
縄田麻友、稲見浩平、神田憲吾、大西 清、山口 滋考	炭酸水素ナトリウム (メイロン) の血管外漏出により皮膚障害を生じた 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 270 回日本形成外科学会東京地方会	東京	2012 年 07 月

49.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、石川由起雄、深澤由 里、木下利雄、井内亜美、猪股直美、石井 壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスにおける組織修復の実行メカニズ ム	
学会名	開催地	発表年月
第 41 回日本創傷治癒学会	名古屋	2011 年 12 月

50.

発表者名	発表標題	
猪股直美、赤坂喜清、今泉りさ、岡田恵美、 丸山優、石川由起雄、石井壽晴	** 9. 皮膚創傷修復における血球由来間葉系前駆細胞(Fibrocyte)の誘 導メカニズムの解析	
学会名	開催地	発表年月
第 41 回日本創傷治癒学会	名古屋	2011 年 12 月

51.

発表者名	発表標題	
平田晶子、大西 清、山田哲郎、上野佐知、 縄田麻友、荻野晶弘、丸山 優	ナビゲーションシステムを用いた頬骨骨折整復の術中評価－第 2 報－	
学会名	開催地	発表年月
第 29 回日本頭蓋顎顔面外科学会	東京	2011 年 11 月

52.

発表者名	発表標題	
鈴木 琢、大西 清、上野佐知、梅木由 紀、大川李絵、杉本英樹、向井秀樹	クロイツフェルトヤコブ病に伴う難治性褥瘡患者の一例	
学会名	開催地	発表年月
第 13 回日本褥瘡学会学術集会	福岡	2011 年 08 月

53.

発表者名	発表標題	
------	------	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

山田哲郎、大西 清、平田晶子、上野佐知、 縄田麻友、中村正人、宇都宮誠、丸山 優	局所陰圧閉鎖療法と多血小板血漿療法の併用が奏功した重症下肢虚血 開放創の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回日本創傷外科学会総会学術集会	札幌	2011 年 07 月

54.

発表者名	発表標題	
上野佐知、大西 清、平田晶子、山田哲郎、 縄田麻友、丸山 優	高張ブドウ糖液の血管外漏出により皮膚障害を来した幼児の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回日本創傷外科学会総会学術集会	札幌	2011 年 07 月

55.

発表者名	発表標題	
平田晶子、大西 清、山田哲郎、上野佐知、 縄田麻友、丸山 優	褥瘡・下腿潰瘍に対する多血小板血漿療法の臨床経験	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回日本創傷外科学会総会学術集会	札幌	2011 年 07 月

56.

発表者名	発表標題	
山田哲郎、大西 清、平田晶子、上野佐知、 縄田麻友、中村正人、宇都宮誠、丸山 優	フットケアにおける多血小板血漿 (PRP) 療法の臨床経験	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回下肢救済・足病学会学術集会	横浜	2011 年 05 月

57.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、石川由起雄、猪股直 美、宇月美和、深澤由里、藤田和子、石井 壽晴	サイトカイン制御による創傷治癒線維芽細胞アポトーシス発現の意義	
学会名	開催地	発表年月
第 100 回日本病理学会総会	横浜	2011 年 04 月

58.

発表者名	発表標題	
山田哲郎、大西 清、平田晶子、上野佐知、 縄田麻友、中村正人、宇都宮誠、丸山 優	形成外科、循環器内科を中心としたフットケアへの取り組み。	
学会名	開催地	発表年月
第 54 回日本形成外科学会総会学術集会	徳島	2011 年 04 月

7. 「慢性心不全における心筋リモデリングの分子制御」

1.

発表者名	発表標題	
Inada S, Harrell DT, Haraguchi R, Ashihara T, Aiba T, Yamashita F, Shibata N, Ikeda T, Mitsui K, Makita N, Honjo H, Nakazawa K	心臓電気現象の多階層的理解	
学会名	開催地	発表年月
第 93 回日本生理学会大会	札幌	2016 年 03 月

2.

発表者名	発表標題
Dobashi S, Watanabe I, Wada R, Fujii T, Oka T, Kitahara K, Kabuki T, Kiuchi S, Hisatake S, Ikeda T	Comparative Effects of Milrinone and Olprinone in Patients with Congestive Heart Failure.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai,	2016年03月

3.

発表者名	発表標題	
Sakurai M, Koike H, Kobayashi K, Shinohara M, Fujino T, Fukunaga S, Ikeda T	Heart Rate is the Most Significant Factor to Estimate Efficacy of Oral Amiodarone Used for Arrhythmia Management.	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai,	2016年03月

4.

発表者名	発表標題	
Suzuki T, Shinohara M, Koike H, Kitahara K, Yuzawa H, Fujino T, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Medium-Term Experience of Japanese Patients with Intra-Ventricular Septal Pacing Using the SelectSecure™ Lead System.	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

5.

発表者名	発表標題	
Yabe T, Toda M, Saito D, Watanabe I, Okubo R, Nakanishi R, Amano H, Ikeda T	Prasugrel can Inhibit Myocardial Dysfunction in Acute Coronary Syndrome.	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

6.

発表者名	発表標題	
Hashimoto H, Fukushima Y, Kumita S, Tomiyama T, Kiriya T, Imai S, Sugihara Y	Feasibility of Myocardial- flow-reserve Estimation Using Static Image of 13N-ammonia Myocardial Perfusion PET.	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

7.

発表者名	発表標題	
Koike H, Fujino T, Koike M, Shinohara M, Kitahara K, Suzuki T, Yuzawa H, Fukunaga S, Yuzawa H, Kobayashi K, Ikeda T	Left Ventricular Diastolic Dysfunction Predicts Late Recurrence over One Year after Catheter Ablation Procedure in Patients with Atrial Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
第80回日本循環器学会学術集会	仙台	2016年03月

8.

発表者名	発表標題	
Matsumoto S, Fujino T, Yano K, Yamazaki A, Watanabe I, Kabuki T, Ikeda T	Heart Rate after Resuscitation from Out-of-Hospital Cardiac Arrest Due to Acute Coronary Syndrome is an Independent Predictor of Clinical Outcomes.	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

9.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Shinohara M, Fujino T, Koike H, Kitahara K, Yuzawa H, Suzuki T, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Assessment of Triger-targeted Catheter Ablation in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation Originating from the Extra-pulmonary Vein.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月	

10.

発表者名	発表標題		
Wakakura S, Hara F, Yamazaki A, Ohara H, Kabuki T, Harada M, Ikeda T	Comparison of NOACs and Warfarin in the Treatment of chronic Deep Venous Thrombosis: A Large Single-Center Observational Study.		
学会名	開催地	発表年月	
80回日本循環器学会学術集会	仙台	2016年03月	

11.

発表者名	発表標題		
Koike M, Koike H, Fujino T, Shinohara M, Kitahara K, Suzuki T, Yuzawa H, Fukunaga S, Kobayashi, Ikeda T	Heart Rate is the Most Significant Factor to Estimate Efficact of Oral Amiodarone Used for Arrhthmia Management		
学会名	開催地	発表年月	
第80回日本循環器学会学術集会	仙台	2016年03月	

12.

発表者名	発表標題		
Amano H, Saitou D, Yabe T, Watababe I, Okubo R, Toda M, Ikeda T	Plaque composition and embolization during PCI of ulcerated plaque and attenuated plaque.		
学会名	開催地	発表年月	
第24回日本心血管インターベンション治療学会	福岡	2015年07月	

13.

発表者名	発表標題		
Yabe T, Toda M, Saitou D, Watababe I, Okubo R, Amano H, Ikeda T	Importance of implantation of a different DES for DES-ISR.		
学会名	開催地	発表年月	
第24回日本心血管インターベンション治療学会	福岡	2015年07月	

14.

発表者名	発表標題		
Koike H, Fujino T, Yuzawa H, Shinohara M, Kitahara K, Suzuki T, Abe A, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Serial Transition of the Left Atrial Dimension after Radiofrequency Ablation for Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
第30回日本不整脈学会学術大会・第32回日本心電学会学術集会	京都	2015年07月	

15.

発表者名	発表標題		
Amano H, Saitou D, Yabe T, Watababe I, Okubo R, Toda M, Ikeda T	Efficacy and Safety of Triple Therapy with Novel Oral Anticoagulants for Ischemic Heart Disease with Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
第24回日本心血管インターベンション治療学会	福岡	2015年07月	

16.

発表者名	発表標題		
Okubo R, Toda M, Saitou D, Watababe I, Yabe T, Amano H, Ikeda T	Usefulness of MDCT- detected Napkin-Ring Sign and IVUS-detected Lesion Feature for Predicting Slow Flow during PCI.		
学会名	開催地	発表年月	
第24回日本心血管インターベンション治療学会	福岡	2015年07月	

17.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Saitou D, Toda M, Watababe I, Yabe T, Okubo R, Amano H, Ikeda T	The Impact of Coronary Shrinkage on the Occurrence of in- StentRestenosis foilowing Percutaneous Coronary Intervention for Acute Coronary Syndrome.		
学会名	開催地	発表年月	
第 24 回日本心血管インターベンション 治療学会	福岡	2015 年 07 月	

18.

発表者名	発表標題		
Yabe T, Toda M, Saitou D, Watababe I, Okubo R, Amano H, Ikeda T	A study on the long-term patency of jailed side branch: 1st-generation DES vs. EES implantation for ISR with side branch.		
学会名	開催地	発表年月	
第 24 回日本心血管 インターベンション治療学会	福岡	2015 年 07 月	

19.

発表者名	発表標題		
Yuzawa H, Fujino T, Asada T, Koike H, Shinohara M, Kitahara K, Kinoshita T, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Comparison of the Procedure Time and Success Rate for the Different Rhythms during Catheter Ablation of Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回 日本不整脈学会学術大会・第 32 回日本心電学会学術集会	京都	2015 年 07 月	

20.

発表者名	発表標題		
Kinoshita T, Fukunaga S, Kitahara K, Koike H, Shinohara M, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, Ikeda T	Comparison of the ambulatory ECG-based T-wave alternans and the exercise microvolt-TWA under simultaneous recording.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本不整脈学会・第 32 回日本心電学会合同学術集会	京都	2015 年 07 月	

21.

発表者名	発表標題		
Hideyuki Sato, Fujino T, Koike H, Kitahara K, Kinoshita T, Yuzawa H, Suzuki T, Shunji Fukunaga, Kobayashi K, Abe A, Ikeda T	Changes of Heart Rate Variability after Cather Ablation Procedure to Paroxysmal Atrial Fibrilation : Comparison of Acute Phase and Chronic Phase.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本不整脈学会学術大会・第 32 回日本心電学会学術集会	京都	2015 年 07 月	

22.

発表者名	発表標題		
Suzuki T, Koike H, Kitahara K, Kinoshita T, Yuzawa H, Sato H, Abe A, Fujino T, Fukunaga S, Kobayashi K, Yamazaki J, Ikeda T	The Incidence of Subclavian Venous Thrombosis in Patients Receiving Antithrombotic Agent Foilowing Impiantation of permanent Pacemaker or Implantable Cardioverter Defibrillator.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本不整脈学会学術大会・第 32 回日本心電学会学術集会合同学術集会	京都	2015 年 07 月	

23.

発表者名	発表標題		
Fujino T, Koike H, Kobayashi K, Yuzawa H, Asada T, Kitahara K, Kinoshita T, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Ikeda T	Questionnaire Survey on the Actual Conditions of Antithrombotic Medications in a Cardiology Outpatient Clinic of a Medical Center.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本不整脈学会学術大会・第 32 回日本心電学 会学術集会	京都	2015 年 07 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

24.

発表者名	発表標題		
Amano H, Ikeda T, Toda M, Okubo R, Yabe T, Watanabe I, Saito D	The Usefulness of NOACs for Triple Therapy with Dual Antiplatelet Therapy Comparing to Warfarin.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

25.

発表者名	発表標題		
Amano H, Ikeda T, Toda M, Okubo R, Yabe T, Watanabe I, Saito D	Relation between Angiographic Coronary Calcification and Plaque Composition in Virtual Histology Intravascular Ultrasound.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

26.

発表者名	発表標題		
Watanabe I, Toda M, Saito D, Yabe T, Okubo R, Amano H, Ikeda T	Comparison of the Efficacy between First and Second Generation—Drug Eluting Stent for Coronary Bifurcation in Patients with Angina.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

27.

発表者名	発表標題		
Yabe T, Toda M, Saito D, Watanabe I, Okubo R, Nakanishi R, Amano H, Ikeda T	Non-final Kissing Balloon Technique Using the Second-Generation Drug-Eluting Stent is Effective for In-Stent Restenosis Lesions with a Side Branch.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

28.

発表者名	発表標題		
Inada S, Aiba T, Haraguchi R, Ashihara T, Kusano K, Shimizu W, Ikeda T, Nakazawa K	Non-invasive risk stratification of ventricular arrhythmias initiated from right ventricular outflow tract: A simulation study for the Brugada syndrome.		
学会名	開催地	発表年月	
第80回日本循環器学会学術集会	仙台	2016年03月	

29.

発表者名	発表標題		
Kiuchi S, Hisatake S, Kabuki T, Oka T, Dobashi S, Fujii T, Ikeda T	Addition of Azelnidipine to Standard Heart Failure Therapy Improves Cardiac Sympathetic Function in Patients with Hypertensive Heart Failure.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

30.

発表者名	発表標題		
Amano H, Fujino T, Ikeda T	Efficacy and Safety of Novel Oral Anticoagulants with Antiplatelet Drugs Comparing to Vitamin K Antagonists.		
学会名	開催地	発表年月	
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese	Sendai	2016年03月	

31.

発表者名	発表標題		
Ikeda T, A. John Camm, Ogawa S, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Miyamoto S, Murakawa Y, Ohashi Y, Okayama Y, Iekushi K, Sakaguchi T, Yamanaka S	Xarelto Post-Authorization Safety & Effectiveness Study in Japanese Patients with Atrial Fibrillation (XaPASS): An Update and a Comparison with XANTUS.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

32.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u> , Ogawa H, Atarashi H, Inoue H, Uchiyama S, Kitazono T, Yamashita T, Shimizu W, Kaikita T, Kamouchi M, Fukuda K, Matsui K, Shimokawa H	Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation -The Second Report from the EXPAND Study-	
学会名	開催地	発表年月
The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Sendai	2016年03月

33.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Predictive value of T-wave alternans as a risk stratification marker for sudden cardiac death.	
学会名	開催地	発表年月
K- REDEFINE Study Workshop	Seoul	2016年02月

34.

発表者名	発表標題	
Fukunaga S, Kitahara K, Shinohara M, Koike H, Suzuki T, Yuzawa H, Abe A, Fujino T, Kobayashi K, <u>Ikeda T</u>	Evaluation of Conventional Short-term Recording Late Potentials Analysis in Risk Stratification of Sudden Cardiac Death in Various Diseases.	
学会名	開催地	発表年月
Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 2015	Australia	2015年11月

35.

発表者名	発表標題	
Watanabe I, Toshosuke M, Tatebe J, Yabe T, Okubo R, Amano H, Toda M, <u>Ikeda T</u>	Indoxyl Sulfate Predicts the Presence of Polyvascular Disease in Patients with Coronary Artery Disease.	
学会名	開催地	発表年月
American Heart Association Scientific Sessions 2015	Florida	2015年11月

36.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Ethnic differences in stroke risk: Are they real ?	
学会名	開催地	発表年月
APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) 2015	Melbourne	2015年10月

37.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Status of MRI for stroke diagnosis: Insights into management of atria fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) 2015	Melbourne	2015年10月

38.

発表者名	発表標題	
Kinoshita T, Fujino T, Koike H, Kitahara K, Yuzawa H, Suzuki T, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, <u>Ikeda T</u>	Higher amounts of heparin use with oral factor Xa-inhibitor compared to oral vitamin K antagonist and thrombn-inhibitor during ablation procedure for atrial fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
ESC (European Society of Cardiology) 2015	London	2015年09月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

39.

発表者名	発表標題	
Okubo R, Yabe T, Watanabe I, Saito D, Amano H, Toda M, <u>Ikeda T</u> , Harada M	Significance of epicardial adipose tissue thickness ratio as a predictor for coronary plaque vulnerability measured by multidetector computed tomography.	
学会名	開催地	発表年月
ESC (European Society of Cardiology) 2015	London	2015年08月

40.

発表者名	発表標題	
Amano H, <u>Ikeda T</u> , Toda M, Ohkubo R, Yabe T, Watanabe I, Saito D	Efficacy and safety of triple therapy with novel oral anticoagulants for ischemic heart disease with atrial fibrillation in Japan.	
学会名	開催地	発表年月
ESC (European Society of Cardiology) 2015	London	2015年08月

41.

発表者名	発表標題	
Kinoshita T, Fujino T, Koike H, Shinohara M, Kitahara K, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, <u>Ikeda T</u>	Higher Amounts of Heparin Use with Oral Factor Xa-Inhibitor Compared to Oral Vitamin K Antagonist and Thrombin-Inhibitor during Ablation Procedure for Atrial Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
European Society of Cardiology congress 2015 in London	United Kingdom	2015年08月

42.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Combined use of noninvasive risk stratification tools.	
学会名	開催地	発表年月
42th ICE (International Congress on Electrocardiology)	Bahia, Brasil	2015年06月

43.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Ambulatory electrocardiogram-based T-wave alternans monitoring.	
学会名	開催地	発表年月
16th ISHNE (International Symposium of Holter and Noninvasive Electrocardiology)	Lyon	2015年06月

44.

発表者名	発表標題	
Kinoshita T, Fukunaga S, Koike H, Shinohara M, Kitahara K, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, <u>Ikeda T</u>	Comparison of the Ambulatory ECG-based T-wave Alternans and the Exercise Microvolt-TWA Under Simultaneous Recording.	
学会名	開催地	発表年月
16th International Society for Holter and Non- Invasive Electrocardiography (ISHNE)	France, Lyon	2015年06月

45.

発表者名	発表標題	
Hisatake S, Kiuchi S, Kabuki T, Dobashi, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Serial Changes in serum ACE2 and plasmin (1-7) concentration of acute heart failure Syndrome patients with standard therapy.	
学会名	開催地	発表年月
HEART FAILURE 2015	SEVILLE, SPAIN	2015年05月

46.

発表者名	発表標題	
Fujino t, Kobayashi K, Fukunaga S,	High-Dose isopPterenol infusions to Confirm the Necessity of	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Sato H, Yuzawa H, Suzuki T, Kinoshita T, Koike H, Ikeda T	Superior Vena Cava Isolation for Eliminating Atrial Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
Heart Rhythm Society 2015	ボストン、アメリカ	2015年05月

47.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Ohkubo K, Abe A, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Long-term outcome of catheter ablation in patients with atrial fibrillation complicated with apical hypertrophic cardiomyopathy.	
学会名	開催地	発表年月
HRS (Heart Rhythm Society) 2015	San Fransico	2015年05月

48.

発表者名	発表標題	
Y. Akasaka, T. Kinoshita, M. Nakamichi, Y. Akishima - Fukasawa, T. Suzuki, K. Ohnishi, T. Ikeda, T. Mikami	**1. Basic fibroblast growth factor inhibits fibrotic response of cardiac fibroblasts in hypertensive hearts through enhanced TIMP-1 expression.	
学会名	開催地	発表年月
2015 WHS Annual Meeting	San Antonio, Texas, USA	2015年04月

49.

発表者名	発表標題	
Uchiyama S, Ogawa H, Atarashi H, Inoue H, Kitazono T, Ikeda T, Kaikita K, Kamouchi M, Fukuda K, Matsui K, Shimokawa H	Effects of rivaroxaban for secondary prevention on long-term outcome in patients with atrial fibrillation: results of EXPAND, a multicenter cooperative registry in a nationwide cohort.	
学会名	開催地	発表年月
ESOC (European Stroke Organisation Conference)	Glasgow	2015年04月

50.

発表者名	発表標題	
Yabe T, Toda M, Amano H, Ymasaki J, Ikeda T	Treatment to ISR with a side branch is enough in single stent without KBT: A study including assessment of side branch blood flow.	
学会名	開催地	発表年月
64th American College of Cardiology (ACC)	サンディエゴ、アメリカ	2015年04月

51.

発表者名	発表標題	
Ikeda T	Current strategies using noninvasive techniques in risk stratification for sudden cardiac death. Poland-Toho Joint	
学会名	開催地	発表年月
Seminar on Medical and Pharmaceutical Science	東京	2014年11月

52.

発表者名	発表標題	
Yabe T, Toda M, Amano H, Ymasaki J, Ikeda T	A different DES should be reimplanted for DES-ISR.	
学会名	開催地	発表年月
64th ACC (American College of Cardiology)	サンディエゴ、アメリカ	2015年03月

53.

発表者名	発表標題	
Abe A, Fujino T, Fukunaga S, Kobayashi K, Inada S, Ashihara T, Nakazawa K, Ikeda T	Prevalence of J waves on 12-lead electrocardiogram in patients with syncope and no organic disorder.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

CardioRhythm 2015	Hong Kong	2015年01月
-------------------	-----------	----------

54.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Role of risk markers using exercise testing in clinical workup for arrhythmias.	
学会名	開催地	発表年月
CardioRhythm 2015	Hong Kong	2015年01月

55.

発表者名	発表標題	
Yoshizawa S, Ato M, <u>Ikeba T</u> , Fukui Y, Tsubota T, Honda M, Ishii Y, tateda K	Streptococcal Toxic Shock Syndrome due to Beta-hemolytic Streptococci: Clinical Features and Cytokines/ Chemokines Analysis of the Cases.	
学会名	開催地	発表年月
IDWeek 2014	USA	2014年10月

56.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Kobayashi K, Kinoshita T, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Okano Y, <u>Ikeda T</u>	Survey of General Practitioners on the Actual Conditions of Atrial Fibrillation Treatment, Including Anticoagulation Therapy.	
学会名	開催地	発表年月
ECS (European Society of Cardiology)2014	バルセロナ, スペイ ン	2014年09月

56.

発表者名	発表標題	
Amano H, Yabe T, Ohkubo R, Toda M, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	VH-IVUS analysis of attenuated plaque and ulcerated plaque and the relation between the plaque composition and slow flow/no reflow phenomenon during PCI.	
学会名	開催地	発表年月
ECS (European Society of Cardiology)2014	バルセロナ, スペイ ン	2014年09月

57.

発表者名	発表標題	
Okubo R, Kuwahara T, Nakashima K, Yamao Y, Nakajima J, Takagawa M, Fujino T, Takagi K, Takahashi A	The rapid mapping for atrial tachycardia using multi-electrode basket catheter.	
学会名	開催地	発表年月
ECS (European Society of Cardiology)2014	バルセロナ, スペイ ン	2014年08月

58.

発表者名	発表標題	
Kabuki T, Fujino T, Kiuchi S, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Hisatake S, Kobayashi K, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Prevalence of functional dyspepsia in patients under antithrombotic therapy and efficacy of esomeprazole: a single center large- scale trial in japan.	
学会名	開催地	発表年月
ECS (European Society of Cardiology)2014	バルセロナ, スペイ ン	2014年08月

57.

発表者名	発表標題	
Okubo K, Kuwahara T, Nakashima K, Yamao Y, Watari Y, Nakajima J, Takigawa M, Fujino T, Takagi K, Takahashi A	The rapid mapping for atrial tachycardia using multi-electrode basket catheter.	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
ECS (European Society of Cardiology) 2014	バルセロナ, スペイン	2014年08月

58.

発表者名	発表標題	
Inada S, Harrell DT, Ono T, Shibata N, Haraguchi R, Ashihara T, Ikeda T, Mitsui K, Dobrzynski H, Boyett MR, Makita N, Nakazawa K :	Investigating excitation conduction in the atrioventricular node and Purkinje network using computer simulation.	
学会名	開催地	発表年月
9th Tawara-Aschoff Symposium	東京	2014年07月

59.

発表者名	発表標題	
Ikeda T	Noninvasive Electrocardiology: Combination of tests in risk stratification.	
学会名	開催地	発表年月
Cardiostim & EHRA 2014	ニース, フランス,	2014年06月

60.

発表者名	発表標題	
Fukunaga S, Kinoshita T, Akitsu K, Koike H, Abe A, Yuzawa H, Suzuki T, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, Okano Y, Ikeda T	Synthesized posterior right sided chest lead electrocardiograms are useful for detecting right ventricular myocardial infraction.	
学会名	開催地	発表年月
The 41st International Congress on Electrocardiology	ブラティスラバ, スロバキア	2014年06月

61.

発表者名	発表標題	
Morita T, Tatebe J, Koizumi M, Watanabe I	Indoxyl sulfate Promotes Endothelial Senescence Through Aryl Hydrocarbon Receptor.	
学会名	開催地	発表年月
The 25th International Society of Hypertension	Athens Greece	2014年06月

62.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Ohkubo K, Abe A, Fukunaga S, Kobayashi K, Ikeda T	Long-Term Outcome of Catheter Ablation in Patients with Atrial Fibrillation Complicated with Apical Hypertrophic Cardiomyopathy.	
学会名	開催地	発表年月
Heart Rhythm Society 2014	サンフランシスコ	2014年05月

63.

発表者名	発表標題	
Nakamichi M, Kinoshita T, Inomata N, Fukasawa Y, Mikami T, Ohnishi K, Akasaka Y	**2. Enhanced MMP-9 activation during the process of scar-less healing regulated by apoptosis in granulation-tissue fibroblasts.	
学会名	開催地	発表年月
The wound healing society annual meeting 2014	Orland, USA	2014年04月

64.

発表者名	発表標題	
Hisatake S, Kabuki T, Kiuchi S, Ikeda T, Yamazaki T	Long-term Administration of Tolvaptan Decreases BNP and Total Bilirubin Rate	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

The 7th Asian-Pacific Congress of Heart Failure,	Bali, Indonesia	2014 年 04 月
--	-----------------	-------------

65.

発表者名	発表標題		
Hisatake S, Kabuki T, Kiuchi S, Watanabe I, Kinoshita T, Fujii Y, Fukunaga S, Toda M, Ikeda T, Yamazaki J	**3. Additional administration of low-dose hANP for acute myocardial infarction make chronic phase of left ventricular remodeling progress.		
学会名	開催地	発表年月	
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Yokohama, Japan	2013 年 03 月	

66.

発表者名	発表標題		
Kiuchi K, Hisatake S, Kawasaki M, Kabuki T, Yamasaki J, Ikeda T	Therapy to lower non-HDL and inhibit the progress of atherosclerosis in hypertensive patients.		
学会名	開催地	発表年月	
19th Asian Pacific Society of Cardiology 2013 Congress	Thailand	2013 年 02 月	

67.

発表者名	発表標題		
Hisatake S, Kabuki T, Fujii Y, Fukunaga S, Watanabe I, Kinoshita T, Toda M, Ikeda T, Yamazaki J	Acute effect of additional administration of high-dose nicorandil for patients with acute myocardial infarction after successful PCI.		
学会名	開催地	発表年月	
9th Asian Pacific Society of Cardiology 2013 Congress	Pataya, Thailand	2013 年 02 月	

68.

発表者名	発表標題		
木内 俊介、久武 真二、斉藤 大雅、小原 浩、藤井 崇博、池田 隆徳、山崎 純一	長期間診断が困難であった不明熱、肺水腫を契機に感染性心内膜炎と診断された症例.		
学会名	開催地	発表年月	
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	横浜	2013 年 3 月	

69.

発表者名	発表標題		
山崎有希子, 中村裕二, 本川佳幸, 北原健, 小原浩, 赤羽悟美, 池田隆徳, 山崎純一, 山崎浩史, 杉山篤	Fluvoxamine の電気薬理学的作用: ハロセン麻酔犬モデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 3 月	

70.

発表者名	発表標題		
小原浩, 中村裕二, 曹新, 山□ 有希子, 本川佳幸, 上田直也, 北原健, 赤羽悟美, 山崎純一, 池田隆徳, 杉山篤	アミトリプチリンの電気薬理学的特徴.		
学会名	開催地	発表年月	
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 3 月	

71.

発表者名	発表標題		
中村裕二, 北原健, 長坂智, 曹新, 福田尚司, 恵木康壮, 赤羽悟美, 杉山篤	ヒト内胸動脈スパズムモデルに対する臨床使用可能な血管拡張薬の作用の比較.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 3 月

72.

発表者名	発表標題	
北原 健, 中村裕二, 恒岡弥生, 赤羽悟美, 田中光, 山崎浩史, 高原章, 山崎純一, 池田隆徳, 杉山篤	オセルタミビルの心行動態および電気生理学的作用.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 3 月

73.

発表者名	発表標題	
本川佳幸, 中村裕二, 曹新, 小原浩, 山崎有希子, 北原 健, 原田拓真, 矢來幸弘, 赤羽悟美, 山崎浩史, 杉山篤	Dronedarone の電気薬理学的作用 : amiodarone との比較.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 3 月

74.

発表者名	発表標題	
Nii H, Wagatsuma K, Saito D, Wakakura S, Uchida Y, Amano H, Toda M, Yamazaki J, Ikeda T	Significance of Microalbuminuria in Chronic Kidney Disease Patients in the Era of the second-generation drug-eluting Stent.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Yokohama	2013 年 3 月

75.

発表者名	発表標題	
Uchida Y, Wagatsuma K, Yabe T, Nii H, Amano H, Toda M, Yamazaki J, Ikeda T	Late Outcomes in non-bifurcation Lesions of Small Vessels: Comparison of Sirolimus, Everolimus and Biolimus-eluting Stents.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013 年 3 月

76.

発表者名	発表標題	
Watanabe I, Tatebe J, Koizumi M, Ikeda T, Yamazaki J, Morita T	Indoxyl sulfate accelerates vascular senescence through activation of aryl hydrocarbon receptor.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013 年 3 月

77.

発表者名	発表標題	
Ashihara T, Haraguchi R, Inada S, Nakazawa K, Ikeda T, Ozawa T, Nakazawa Y, Hattori T, Itoh H, Ito M, Horie M	A theoretical study on the mechanism of complex fractionated atrial electrograms with continuous deflection during chronic atrial fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013 年 3 月

78.

発表者名	発表標題	
Amano H, Wagatsuma K, Toda M, Nii H,	Are There Differences in Plaque Composition n the Angiographic	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Uchida Y, Yamazaki J, Ikeda T	Definition of Eccentric Plaque and IVUS Definition of Eccentric Plaque?	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

79.

発表者名	発表標題	
Amano H, Wagatsuma K, Toda M, Nii H, Uchida Y, Yamazaki J, Ikeda T	Analysis of T-wave morphology in patients with Brugada syndrome using eighteen-lead synthesized electrocardiogram.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

80.

発表者名	発表標題	
Ikeda T, Abe A, Kobayashi K, Miwa Y, Hoshida K	An overview of current risk assessment using electrocardiographic markers for sudden cardiac death.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

81.

発表者名	発表標題	
Kobayashi K, Sakurai M, Abe A, Fujino T, Fukunaga S, Suzuki T, Yuzawa H, Sato H, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Early repolarization characterized by J wave on the electrocardiogram is highly detected in diagnostic epilepsy patients.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

82.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Ohkubo K, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	High-dose isoproterenol infusion to confirm superior vena cava isolation for eliminating atrial fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

83.

発表者名	発表標題	
Watanabe I, Tatebe J, Koizumi M, Ikeda T, Yamazaki J, Morita T	Activation of aryl hydrocarbon receptor mediates indoxyl sulfate-induced monocyte chemoattractant protein-1 expression in HUVEC.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

84.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Ohkubo K, Yuzawa H, Suzuki T, Abe A, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Long-term outcome of catheter ablation procedure in patients with atrial fibrillation complicating apical hypertrophic cardiomyopathy	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月
---	----------	----------

88.

発表者名	発表標題	
Ikeda T, Yoshino H	Current pharmacological strategy for preventing sudden cardiac death due to ventricular tachyarrhythmias in patients with reduced cardiac function.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

89.

発表者名	発表標題	
Toda M, Wagatsuma K, Wakakura S, Uchida Y, Nii H, Amano H, Yamazaki J, Ikeda T	The impact of living-alone-lifestyle risk to the outcomes of PCI.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

90.

発表者名	発表標題	
Nii H, Wagatsuma K, Saito D, Wakakura S, Uchida Y, Amano H, Toda M, Yamazaki J, Ikeda T	Clinical Outcomes of Coronary Stenting in Hemodialysis Patients with Respect to Nutritional Status.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

91.

発表者名	発表標題	
Fukunaga S, Abe A, Suzuki T, Yuzawa H, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Prevalence of short QT syndrome: Analysis of twelve-lead electrocardiograms stored in single medical center.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

92.

発表者名	発表標題	
Hara F, Nanjo S, Hisatake S, Namiki A, Yamashina S, Wagatsuma K, Ikeda T, Yamazaki J, Hara H, Sugi K, Takahashi M, Noike H, Shirai K	TOHO-Lipid Intervention Trial Using Pitavastatin (TOHO-LIP) in patients with high-risk hyper-cholesterolemia: 96 weeks reports chronic kidney disease sub-analysis.	
学会名	開催地	発表年月
The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese of Society	Yokohama	2013年 3月

93.

発表者名	発表標題	
岡 崇, 伊賀 淳, 藤井悠一郎, 久武真二, 池田隆徳, 山崎純一	繰り返す慢性心不全増悪状態に対してトルバプタム投与が有効であった一例.	
学会名	開催地	発表年月
第 227 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2013年 2月

94.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Inada S, Harrell DT, Ono T, Haraguchi R, Ashihara T, Dobrzynski H, Honjo H, Shibata N, <u>Ikeda T</u> , Mitsui K, Kodama I, Boyett MR, Nakazawa K	Functional properties of complex fractionated atrial electrograms during atrial fibrillation can be explained by structural remodeling		
学会名	開催地	発表年月	
A computational study. 84th AHA (American Heart Association)	Los Angeles	2012年12月	

95.

発表者名	発表標題		
Tsubota T, <u>Ikeda T</u> , Itou H, Yoshihara K, Yonemoto N, Nonogi H, Kimura T, Nagao K	Appropriate frequency of defibrillation for ventricular fibrillation in cardiogenic out-of-hospital cardiac arrest patients.		
学会名	開催地	発表年月	
84th AHA (American Heart Association)	Los Angeles	2012年11月	

96.

発表者名	発表標題		
Tsukada T, <u>Ikeda T</u> , Uechi T, Nomura H, Yoshino H, Matsuda T, Yamaguchi Y, Yonemoto N, Nonogi H, Kimura T, Nagao K	Weekly variation in out-of-hospital cardiac arrests in a nationwide Japanese patient population: Analysis of a nationwide population-based registry.		
学会名	開催地	発表年月	
84th AHA (American Heart Association)	Los Angeles	2012年11月	

97.

発表者名	発表標題		
<u>Ikeda T</u>	Non-invasive markers in risk stratification for sudden cardiac death.		
学会名	開催地	発表年月	
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei, Taiwan	2012年10月	

98.

発表者名	発表標題		
Abe A, Kobayashi K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Okano Y, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Comparison of late potentials for 24 hours using a newly developed signal-averaging system between Brugada syndrome and arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy.		
学会名	開催地	発表年月	
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei	2012年10月	

99.

発表者名	発表標題		
Fujino T, Yamazaki J, Yuzawa H, Sato H, Abe, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, <u>Ikeda T</u>	Characteristics of "mitral annulus flutter" newly generated after catheter ablation of atrial fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei	2012年10月	

100.

発表者名	発表標題		
Kobayashi K, Abe A, Okano Y, Fujino T,	Long-term reproducibility of late potentials in patients with		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Fukunaga S, Yuzawa H, Sato H, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	ventricular arrhythmia.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei	2012年10月

101.

発表者名	発表標題	
Tsukada T, Soejima K, Yoshino H, Matsuda T, Yamaguchi Y, <u>Ikeda T</u>	Rotational anisotropy prevents transition of tachycardia to fibrillation in ventricles under the large transmural dispersion of repolarization.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei	2012年10月

102.

発表者名	発表標題	
Okano Y, Kobayashi K, Suzuki T, Yuzawa H, HSato H, Fukunaga S, Fujino T, <u>Ikeda T</u>	The Effect of Single Circumferential Pulmonary Vein Isolation for Persistent Atrial Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS Asia-Pacific Heart Rhythm Society	Taipei,	2012年10月

103.

発表者名	発表標題	
Fukunaga S, Yuzawa H, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Prevalence, population and prognosis of short QT interval patients.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei,	2012年10月

104.

発表者名	発表標題	
Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Sato T, Soejima K, Yoshino H, <u>Ikeda T</u>	Risk stratification of sudden cardiac death and ventricular tachyarrhythmias using T-wave alternans based on modified moving average method and heart rate turbulence in patients after myocardial infarction.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei,	2012年10月

105.

発表者名	発表標題	
<u>Ikeda T</u>	Depolarization abnormality and autonomic imbalance in Brugada syndrome.	
学会名	開催地	発表年月
5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei,Taiwan	2012年10月

106.

発表者名	発表標題	
Noro M, Itou N, Enomoto Y, Kujime S, Hashimoto H, Sakata T, Sugi K, Okano Y, <u>Ikeda T</u> , Fukamizu S, Sakurada H	Evaluation of defibrillation safety with the increased number of sensing to reduce sgicks for Ventricular fibrillation in Japanese ICD patients.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

5th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society)	Taipei	2012年10月
---	--------	----------

107.

発表者名	発表標題	
Watanabe I, Tatebe J, Koizumi M, Yamazaki J, Ikeda T, Morita T	Indoxyl Sulfate Mediates Endothelial Inflammation Through Activation of Aryl Hydrocarbon Receptor.	
学会名	開催地	発表年月
The 8th Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Disease	Phuket, Thailand	2012年10月

108.

発表者名	発表標題	
Ikeda T	Prognostic value of T-wave alternans in risk stratification for sudden cardiac death.	
学会名	開催地	発表年月
39th ICE (International Congress of Cardiology)	Beijing, China	2012年08月

109.

発表者名	発表標題	
Abe A, Kobayashi K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Okano Y, Yamazaki J, Miwa Y, Yoshino H, Ikeda T	Comparison of late potentials between Brugada syndrome and arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy using signal-averaging system based on 24-hour Holter electrocardiogram.	
学会名	開催地	発表年月
33th HRS (Heart Rhythm Society)	Boston	2012年05月

110.

発表者名	発表標題	
Ashihara T, Haraguchi R, Inada S, Nakazawa K, Ikeda T, Ozawa T, Ito M, Horie M, Trayanova N	Theoretical basis of optimal strategy for CFAE-targeted ablation during chronic atrial fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
33th HRS (Heart Rhythm Society)	Boston, U.S.A	2012年05月

111.

発表者名	発表標題	
Ikeda T	Prognostic value of T-wave alternans.	
学会名	開催地	発表年月
8th ECAS (European Cardiac Arrhythmia Society)	Munich, Germany	2012年04月

112.

発表者名	発表標題	
木下利雄、赤坂喜清、石川由起雄、鈴木健也、井内亜美、猪俣直美、深澤由里、池田隆徳、石井壽晴	**4. bFGF による心筋間質細胞外マトリックス制御と高血圧性心不全リモデリングの抑制機序。	
学会名	開催地	発表年月
第42回創傷治癒学会	札幌	2012年12月

113.

発表者名	発表標題	
赤坂喜清、小野一郎、木下利雄、小竹遥香、石川由起雄、井内亜美、深澤由里、猪股直美、石井壽晴	創傷治癒の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復促進のメカニズム	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治療学会	札幌	2012 年 12 月

114.

発表者名	発表タイトル	
小竹遙香、赤坂喜清、石川由起雄、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪俣直美、石井壽晴	ケロイド線維芽細胞における Smad と MMP の発現異常とその意義	
学会名	開催地	発表年月
第 42 回日本創傷治療学会	札幌	2012 年 12 月

115.

発表者名	発表タイトル	
鈴木銀河、小林建三郎、藤井悠一郎、福永俊二、池田隆徳、山崎純一、片柳智之、藤井毅郎、渡邊善則	陰囊静脈瘤からの出血を契機に発見された内腸骨動静脈瘤の 1 例.	
学会名	開催地	発表年月
第 226 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	12 月

116.

発表者名	発表タイトル	
久武真二、冠木敬之、木内俊介、藤井悠一郎、木下利雄、池田 隆徳、山崎純一	急性心筋梗塞に対する PCI 成功例への高用量ニコランジル投与追加の急性効果.	
学会名	開催地	発表年月
第 16 回日本心不全学会	仙台	2012 年 11 月

117.

発表者名	発表タイトル	
鈴木健也、坪田貴也、吉原克則、山崎純一、池田隆徳	A case of gastric cancer suspected pulmonary tumor thrombotic microangiopathy.	
学会名	開催地	発表年月
第 16 回日本心不全学会	仙台	2012 年 11 月

118.

発表者名	発表タイトル	
山崎有希子、中村裕二、本川佳幸、北原健、小原浩、赤羽悟美、池田隆徳、山崎純一、杉山篤	Fluvoxamine の電気薬理学的作用：ハロセン麻酔犬モデルでの評価.	
学会名	開催地	発表年月
第 127 回 日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 10 月

119.

発表者名	発表タイトル	
小原浩、本川佳幸、中村裕二、北原健、山崎有希子、原田拓真、矢來幸弘、赤羽悟美、池田隆徳、山崎純一、杉山篤	Dronedarone および amiodarone の心房・心室有効不応期に対する作用：ハロセン麻酔犬モデルでの比較.	
学会名	開催地	発表年月
第 127 回 日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 10 月

120.

発表者名	発表タイトル	
芦原貴司、原口 亮、稲田慎、中沢一雄、池田隆徳、小澤友哉、伊藤 誠、堀江 稔	慢性心房細動における Complex Fractionated Atrial Electrogram は機能的か？：シミュレーションによる理論的検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 29 回日本心電学会	千葉	2012 年 10 月

121.

発表者名	発表タイトル
------	--------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

福永俊二, 阿部敦子, 湯澤ひとみ, 佐藤秀之, 藤野紀之, 小林建三郎, 岡野喜史, 山崎純一, 池田隆徳	J波判定自動解析ソフトの開発.	
学会名	開催地	発表年月
第 29 回日本心電学会	千葉	2012 年 10 月

122.

発表者名	発表標題	
原口 亮, 芦原貴司, 稲田慎, 池田隆徳, 中沢一雄	心筋繊維走向ねじれは心室較差増大による催不整脈性を抑制する : 3次元心室壁モデルによるシミュレーション研究.	
学会名	開催地	発表年月
第 29 回日本心電学会	千葉	2012 年 10 月

123.

発表者名	発表標題	
三輪陽介, 星田京子, 宮越 睦, 塚田雄大, 柚須 悟, 佐藤俊明, 副島京子, 池田隆徳, 吉野秀朗	心電学的指標を用いた致死性不整脈の予知 : 24 時間ホルター心電図で測定された T-wave alternans と heart rate turbulence による心筋梗塞後患者におけるリスク層別化.	
学会名	開催地	発表年月
第 29 回日本心電学会	千葉	2012 年 10 月

124.

発表者名	発表標題	
Okano Y, Kobayashi K, Suzuki T, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Ikeda T	Analysis of T-Wave Morphology in Patient with Brugada Syndrome Using Eighteen-Lead Synthesized Electrocardiogram.	
学会名	開催地	発表年月
77th Annual scientific meeting of Japanese Circulation Society	横浜	2012 年 10 月

125.

発表者名	発表標題	
関崎 亮, 湯澤ひとみ, 進藤恵美子, 篠原正哉, 久武真二, 山科昌平, 池田隆徳, 山崎純一	ミオトニー症候群による二次性心筋症と診断した一例.	
学会名	開催地	発表年月
第 225 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2012 年 9 月

126.

発表者名	発表標題	
木内 俊介, 平島 修, 川崎 宗泰, 新谷 陽道, 新津 勝士, 池田隆徳, 山崎純一	CKD stage II の症例では non-HDL に留意し診療を行うことは動脈硬化の抑制に繋がる可能性がある.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

127.

発表者名	発表標題	
久武真二, 冠木敬之, 山科昌平, 池田隆徳, 山崎純一	急性心筋梗塞に対する PCI 成功例への高用量シグマート投与追加の急性効果.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

128.

発表者名	発表標題
天野英夫, 我妻賢司, 戸田幹人, 新居秀郎,	冠動脈造影上の病変形態と VH-IVUS 上のプラーク性状との関連.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

内田靖人,矢部敬之, 池田隆徳, 山崎純一			
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

129.

発表者名	発表標題		
天野英夫, 我妻賢司, 戸田幹人, 新居秀郎, 内田靖人,矢部敬之, 池田隆徳, 山崎純一	冠動脈 Small vessel のプラーク性状についての検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

130.

発表者名	発表標題		
内田靖人, 我妻賢司, 若倉真吾, 矢部敬之, 新居秀郎,天野英夫, 戸田幹人, 池田隆徳, 山崎純一	Crush technique の臨床成績における病変部位による検討 - Classic Crush および Mini-Crush の比較を含めて.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

131.

発表者名	発表標題		
新居秀郎, 我妻賢司, 若倉真吾, 内田靖人, 天野英夫, 戸田幹人, 山崎純一, 池田隆徳	両側橈骨動脈を用いた慢性完全閉塞病院に対する PCI の治療成績.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

132.

発表者名	発表標題		
久武真二, 冠木敬之, 伊賀 淳, 木内俊介, 池田隆徳, 山崎純一	慢性糖尿病をともなう心不全患者への tolvaptan の効果.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

133.

発表者名	発表標題		
原 英彦, 中山智孝, 吉川尚男, 原 文彦, 鈴木真事, 原田昌彦, 我妻賢司, 並木 温, 松裏裕行, 佐地 勉, 池田隆徳, 山崎純一, 中村正人, 杉 薫	成人症例に対する AMPLATZER septal occluder 植え込み時の上方兼前方リム欠損の特徴: 経食道超音波法を用いた検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

134.

発表者名	発表標題		
戸田幹人, 我妻賢司, 若倉真吾, 矢部敬之, 内田靖人, 新居秀郎, 天野英夫, 池田隆徳, 山崎純一	急性心筋梗塞に対して一人暮らしというライフスタイルが 3 年長期成績に与える影響.		
学会名	開催地	発表年月	
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月	

135.

発表者名	発表標題		
戸田幹人, 我妻賢司, 若倉真吾, 矢部敬之, 内田靖人, 新居秀郎, 天野英夫, 池田隆徳, 山崎純一	糖尿病罹患期間が急性心筋梗塞の長期成績に与える影響.		
学会名	開催地	発表年月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月
---------------	----	------------

136.

発表者名	発表標題	
木内 俊介, 平島 修, 川崎 宗泰, 新谷 陽道, 新津 勝士, 池田 隆徳, 山崎純一	レニンアンジオテンシン系抑制薬はカルシウム拮抗薬により増加した cardio ankle vascular index 低下させる.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

137.

発表者名	発表標題	
戸田幹人, 我妻賢司, 若倉真吾, 矢部敬之, 内田靖人, 新居秀郎, 天野英夫, 池田隆徳, 山崎純一	急性心筋梗塞に対して一人暮らしというライフスタイルが 3 年間長期成績に与える影響.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

138.

発表者名	発表標題	
矢部敬之, 我妻賢司, 内田靖人, 新居秀郎, 天野英夫, 戸田幹人, 池田隆徳, 山崎純一	MDCT における冠動脈石灰化指数と患者背景、全身の石灰化及び冠動脈病変との関連について.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

139.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	不整脈治療における β 遮断薬の役割：心室性不整脈で β 遮断薬をどう使うか？.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

140.

発表者名	発表標題	
木内俊介, 平島 修, 川崎宗泰, 新谷陽道, 新津勝士, 池田隆徳, 山崎純一	レニンアンジオテンシン系抑制薬はカルシウム拮抗薬により増加した cardio-ankle vascular index を低下させる.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

141.

発表者名	発表標題	
小原 浩, 我妻賢司, 内田靖人, 矢部敬之, 新居秀郎, 天野英, 戸田幹人, 池田隆徳, 山崎純一	糖尿病合併女性に対する薬物溶出ステントの臨床成績.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

142.

発表者名	発表標題	
新居秀郎, 我妻賢司, 若倉真吾, 内田靖人, 天野英夫, 戸田幹人, 山崎純一, 池田隆徳	薬物溶出性ステントを留置した慢性腎臓病患者における微量アルブミン尿の臨床的意義について.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

143.

発表者名	発表標題	
矢部敬之, 我妻賢司, 内田靖人, 新居秀郎, 天野英夫, 戸田幹人, 池田隆徳, 山崎純一	中期の LDL-C/HDL-C ratio が及ぼすエベロリムス溶出性ステントの中期成績について.	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

144.

発表者名	発表標題	
新居秀郎, 我妻賢司, 若倉真吾, 内田靖人, 天野英夫, 戸田幹人, 山崎純一, 池田隆徳	薬物溶出性ステントを留置した慢性腎臓病患者において慢性期に high sensitivity CRP を計測する意義について.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

145.

発表者名	発表標題	
天野英夫, 我妻賢司, 戸田幹人, 新居秀郎, 内田靖人, 矢部敬之, 池田隆徳, 山崎純一	SES ステント留置後の新生内膜増殖速度に影響を与える因子についての検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 60 回日本心臓病学会	金沢	2012 年 9 月

146.

発表者名	発表標題	
Kiuchi S, Hirashima O, Kawasaki M, Shintani Y, Niitsu K, Ikeda T, Yamazaki J	Calcium channel blocker increased cardio ankle vascular index, however addition of inhibitor of renin angiotensin aldosterone system ameliorated this result in hypertensive patients.	
学会名	開催地	発表年月
第 44 回日本動脈硬化学会	福岡	2012 年 7 月

147.

発表者名	発表標題	
Amano H, Wagatsuma K, Toda M, Nii H, Uchida Y, Yabe T, Ikeda T, Yamazaki J	Differences between restenosis with stent fractures and restenosis without stent fractures after SES implantation.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

148.

発表者名	発表標題	
Amano H, Wagatsuma K, Toda M, Nii H, Uchida Y, Yabe T, Ikeda T, Yamazaki J	Are there differences in plaque composition in the angiographic definition of eccentric plaque and IVUS definition of eccentric plaque ?.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

149.

発表者名	発表標題	
Uchida Y, Wagatsuma K, Yabe T, Nii H, Amano H, Toda M, Ikeda T, Yamazaki	Late outcomes of nondialysis patients receiving DES following rotational atherectomy in severely calcified lesions: SES vs. PES vs. EES.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

150.

発表者名	発表標題	
Yabe T, Wagatsuma K, Uchida Y, Nii H, Amano H, Toda M, Ikeda T, Yamazaki J	The effect of mid-term LDL-C/HDL-C ratio on mid-term outcomes of Everolimus-Eluting Stent.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

151.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Uchida Y, Wagatsuma K, Yabe T, Nii H, Amano H, Toda M, <u>Ikeda T</u> , Yamazaki J	Late outcomes in non-bifurcation lesions of small vessels: Comparison of sirolimus, paclitaxel and everolimus-eluting stents.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

152.

発表者名	発表標題	
Toda M, Wagatsuma K, Yabe T, Uchida Y, Nii H, Amano H, <u>Ikeda T</u> , Yamazaki J :	Impact of Living Alone On The 3 years Long-term Outcomes Of Acute Myocardial Infarction.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

153.

発表者名	発表標題	
Nii H, Wagatsuma K, Sakurai M, Yabe T, Uchida Y, Amano H, Toda M, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Therapeutic outcomes of PCI chronic total occlusions using both radial arteries.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

154.

発表者名	発表標題	
Sakurai M, Wagatsuma K, Ohara H, Yabe T, Uchida Y, Nii H, Amano H, Toda M, Koike H, <u>Ikeda T</u> , Yamazaki J	Comparison of clinical outcomes of first-generation drug-eluting stents (DES) and everolimus-eluting stents in very elderly patients.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

155.

発表者名	発表標題	
Toda M, Wagatsuma K, Yabe T, Uchida Y, Nii H, Amano H, <u>Ikeda T</u> , Yamazaki J	One of the factors associated with women in long-term prognosis of patients with AMI.	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

156.

発表者名	発表標題	
<u>池田隆徳</u>	持続性心房細動の管理	
学会名	開催地	発表年月
第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会	新潟	2012 年 7 月

157.

発表者名	発表標題	
袖須 悟, 米良尚晃, 星田京子, 宮越 睦, 三輪陽介, 塚田雄大, 佐藤俊明, 副島京子, 吉野秀朗, <u>池田隆徳</u>	房室ブロック患者に対する右室中位中隔ペーシングの心房性不整脈と心機能への影響: 長期フォローによる評価.	
学会名	開催地	発表年月
第 27 日本不整脈学会	横浜	2012 年 7 月

158.

発表者名	発表標題	
芦原貴司, 小澤友哉, 伊藤 誠, 堀江 稔, 原口 亮, 稲田 慎, 中沢一雄, <u>池田隆徳</u>	持続性心房細動における complex fractionated atrial electrogram 領域の電位的特徴に関する理論的研究.	
学会名	開催地	発表年月
第 27 日本不整脈学会	横浜	2012 年 7 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

159.

発表者名	発表標題		
岡野喜史, 小林建三郎, 湯澤ひとみ, 佐藤秀之, 福永俊二, 藤野紀之, 山崎純一, 池田隆徳	甲状腺機能亢進症により頻回の心室細動発作を起こした特発性心室細動の1例.		
学会名	開催地	発表年月	
第27日本不整脈学会	横浜	2012年7月	

160.

発表者名	発表標題		
小林建三郎, 阿部敦子, 湯澤ひとみ, 佐藤秀之, 藤野紀之, 福永俊二, 岡野喜史, 山崎純一, 池田隆徳	心室性不整脈患者における心室 late potential の長期再現性と経年変化に関する検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第27日本不整脈学会	横浜	2012年7月	

161.

発表者名	発表標題		
西川健太, 小原 浩, 高村和久, 湯澤ひとみ, 藤野紀之, 久武真二, 池田隆徳, 山崎純一	急性心筋梗塞後遅発性に発症した収縮性心膜炎の1例.		
学会名	開催地	発表年月	
第224回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2012年6月	

162.

発表者名	発表標題		
矢部敬之, 我妻賢司, 戸田幹人, 天野英夫, 新居秀郎, 内田靖人, 池田隆徳, 山崎純一	AMIにDESを留置しSATを来した症例に対するPCIで、一部ステントストラットにcrushを来し、バルーンにて内腔を確保した1例.		
学会名	開催地	発表年月	
第224回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2012年6月	

163.

発表者名	発表標題		
伊藤 博, 坪田貴也, 鈴木健也, 佐藤大輔, 一林 亮, 横田京介, 本多 満, 池田隆□, 吉原克則	下壁誘導にJ波を有する心室細動蘇生後の1例.		
学会名	開催地	発表年月	
第15回日本臨床救急医学会総会	熊本	2012年6月	

164.

発表者名	発表標題		
井内亜美, 石川由起雄, 赤坂喜清, 深澤由里, 下川伶子, 木下利雄, 小竹遙香, 石井壽晴	左冠状動脈前下行枝の内膜病変に与える心筋架橋被覆部の解剖学的環境の影響.		
学会名	開催地	発表年月	
第101回日本病理学会総会	東京	2012年4月	

165.

発表者名	発表標題		
下川伶子, 石川由起雄, 井内亜美, 深澤由里, 赤坂喜清, 木下利雄, 猪股直美, 石井壽晴	膝窩動脈の外膜囊腫の一例.		
学会名	開催地	発表年月	
第101回日本病理学会総会	東京	2012年4月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

166.

発表者名	発表標題		
石川由起雄、下川伶子、井内亜美、深澤由里、赤坂喜清、木下利雄、横尾智子、石井壽晴	右総腸骨静脈から右外腸骨静脈に及ぶ静脈内平滑筋肉腫の一切除例。		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

167.

発表者名	発表標題		
木下利雄、赤坂喜清、鈴木健也、石川由起雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、横尾智子、猪股直美、山崎純一、石井壽晴	**5. Basic Fibroblast Growth Factor(bFGF)による高血圧性心不全の心筋リモデリング抑制機序。		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

168.

発表者名	発表標題		
赤坂喜清、石川由起雄、小野一郎、木下利雄、深澤由里、井内亜美、藤田和子、猪股直美、石井壽晴	創傷治癒期の線維芽細胞アポトーシスによる組織修復の実行メカニズム。		
学会名	開催地	発表年月	
第 101 回日本病理学会総会	東京	2012 年 4 月	

169.

発表者名	発表標題		
北原健、中村裕二、恒岡弥生、鈴木早苗、赤羽悟美、田中光、高原章、山崎純一、杉山篤	オセルタミビルの生体に対する電気薬理学的作用。		
学会名	開催地	発表年月	
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 3 月	

170.

発表者名	発表標題		
Kabuki T, Yamazaki J, Ikeda T, Namiki A, Nanjo S, Harada M, Hisatake S, Fukunaga S	Improvement of cardiac function in patients with chronic heart failure by autotest CS.		
学会名	開催地	発表年月	
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 3 月	

171.

発表者名	発表標題		
Nanjo S, Ishikawa Y, Hisatake S, Takamura K, Fujimoto S, Nakanishi R, Namiki A, Ikeda T, Yamazaki J	Hypertension enhances risk of acute myocardial infarction in patients with myocardial bridge in the left anterior descending coronary artery.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012 年 3 月	

172.

発表者名	発表標題		
天野英夫、我妻賢司、戸田幹人、新居秀郎、内田靖人、池田隆徳、山口 純一	Differences between Restenosis with Stent Fractures and Restenosis Without Stent Fractures after SES Implantation.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012 年 3 月	

173.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Amano H, Wagatsuma K, Toda M, Nii H, Yabe T, Ikeda T, Yamazaki J	Differences between restenosis with stent fractures and restenosis without stent fractures after SES implantation.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

174.

発表者名	発表標題		
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Takahashi Y, Okubo K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Clinical factors associating successful catheter ablation procedure for atrial fibrillation in a younger Japanese patient population.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

175.

発表者名	発表標題		
Kabuki T, Yamazaki J, Ikeda T, Namiki A, Nanjo S, Harada M, Hisatake S, Fukunaga S	Improvement of cardiac function in patients with chronic heart failure by the autotset CS.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

176.

発表者名	発表標題		
内田靖人, 我妻賢司, 矢部敬之, 新居秀郎, 天野英夫, 戸田幹人, 池田隆徳, 山崎純一	Outcomes of Nondialysis Patients Receiving DES Following Rotational Atherectomy in Severely Calcified Lesions: Comparison of Sirolimus, Paclitaxel and Everolimus-eluting Stents.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

177.

発表者名	発表標題		
Ashihara T, Haraguchi R, Nakazawa K, Namba T, Ikeda T, Ozawa T, Nakazawa Y, Ito M, Horie M	Theoretical studies on the machanisms of electrogram-based catheter ablation for chronic atrial ablation.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

178.

発表者名	発表標題		
Miwa Y, Ikeda T, Hoshida K, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Sato T, Yoshino H :	T-wave alternans using the modified-moving-average method measured from Holter electrocardiograms during daily activity can predict life-threatening events following myocardial infarction.		
学会名	開催地	発表年月	
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月	

179.

発表者名	発表標題		
------	------	--	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Hara H, Nakayama T, Matsuura H, Harada M, Hara F, Yoshikawa H, Ikehara S, Naoi K, Shimada H, Wagatsuma K, Suzuki M, Nakamura M, Saji T, Sugi K	Impact of Co-morbidities among Adult Patients undergoing Percutaneous Atrial Septal Defect Closure at Japanese Cardiovascular Intervention Therapeutics Institution.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

180.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Takahashi Y, Okubo K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Improvement in left ventricular hypertrophy after catheter ablation of atrial fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

181.

発表者名	発表標題	
Nanjo S, Ishikawa Y, Hisatake S, Takamura K, Fujimoto S, Nakanishi R, Namiki A, Ikeda T, Yamazaki J	Hypertension enhances risk of acute myocardial infarction in patients with myocardial bridge in the left anterior descending coronary artery.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

182.

発表者名	発表標題	
Ikeda T, Mera H, Miwa Y, Yusu S	Pharmacological management for life-threatening ventricular tachyarrhythmias complicating severe heart failure.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

183.

発表者名	発表標題	
Fujino T, Takahashi A, Kuwahara T, Takahashi Y, Okubo K, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Characteristics of twelve-lead electrocardiogram in differentiating right from left atrial tachycardias generated after catheter ablation or cardiac surgery.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

184.

発表者名	発表標題	
Miwa Y, Ikeda T, Hoshida K, Miyakoshi M, Tsukada T, Yusu S, Sato T, Yoshino H	Combination of heart rate turbulence and nonsustained ventricular tachycardia facilitates predictive power for identifying patients at risk.	
学会名	開催地	発表年月
The 76 th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Fukuoka	2012年 3月

185.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

木内俊介、川崎宗泰、平島修、新津勝士、新谷陽道、池田隆徳、山崎純一	植え込み型ループレコーダー記録から意識消失発作が心外性と診断し得た一例。	
学会名	開催地	発表年月
第 223 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2012 年 2 月

186.

発表者名	発表標題	
櫻井牧子、藤井悠一郎、小林建三郎、山崎純一、池田隆徳	α -Streptococcus による化膿性脊椎炎発症から 4 年後に感染性心内膜炎を発症した一例。	
学会名	開催地	発表年月
第 223 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2012 年 2 月

188.

発表者名	発表標題	
矢部敬之、我妻賢司、内田靖人、新居秀郎、天野英夫、戸田幹人、山崎純一、池田隆徳	MDCT における冠動脈石灰化指数と患者背景及び冠動脈病変との関連について. .	
学会名	開催地	発表年月
第 25 回日本冠疾患学会学術集会	大阪	2012 年 2 月

189.

発表者名	発表標題	
Miwa Y, Ikeda T, Hoshida K, Miyakoshi M, Tsukada T, Abe A, Mera H, Yusu S, Sato T, Yoshino H	Risk stratification for sudden cardiac death and serious arrhythmic events using heart rate turbulence and nonsustained ventricular tachycardia from 24-hour Holter electrocardiogram in patients with impaired left ventricular function.	
学会名	開催地	発表年月
AHA (American Heart Association) 2011	Orlando,U.S.A	2011 年 11 月

190.

発表者名	発表標題	
Shimizu W, Ikeda T, Takahashi N	Strategies for patients with atrial fibrillation and congestive heart failure.	
学会名	開催地	発表年月
AHA (American Heart Association) 2011	Orlando,U.S.A	2011 年 11 月

191.

発表者名	発表標題	
Tsukada T, Ikeda T, Mera H, Yoshino H, Matsuda T, Ymanaguchi Y, Yonemoto N, Nonogi H, Kimura T, Nagao K	Circadian variation in out-of-hospital cardiac arrests in a nationwide Japanese patient population: A difference between survivors and nonsurvivors.	
学会名	開催地	発表年月
AHA (American Heart Association) 2011	Orlando,U.S.A	2011 年 11 月

192.

発表者名	発表標題	
Abe A, Tsukada T, Hoshida K, Miyakoshi M, Miwa Y, Mera H, Yusu S, Sato T, Yoshino H, Ikeda T	Pharmacological Assessment in Young Patients with J-Wave Variation and Idiopathic Ventricular Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of	Fukuoka	2011 年 09 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Electrocardiology		
-------------------	--	--

193.

発表者名	発表標題		
Fukunaga S, Okano Y, Yuzawa H, Sato H, Fujino T, Kobayashi K, Yamashina S, Yamazaki J, Ikeda T	Assessment of 123I-MIBG Scintigraphy as a Diagnostic Tool for Neurally Mediated Syncope.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

194.

発表者名	発表標題		
Sato H, Okano Y, Kobayashi K, Fukunaga S, Fujino T, Yuzawa H, Yamazaki J, Ikeda T	A Young Case of IntraFascicular Ventricular Tachycardia with Narrow QRS Complex.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

195.

発表者名	発表標題		
Yanagisawa R, Abe A, Miwa Y, Yoshino H, Ikeda T	A Case of Breast Cancer with Chemotherapy-Induced Arrhythmias and No Cardiac Dysfunction by Trastuzumab, a Highly Effective Anticancer Agent.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

196.

発表者名	発表標題		
Yusu S, Mera H, Hoshida K, Yanagisawa R, Miyakoshi M, Miwa Y, Tsukada T, Ishiguro H, Sato T, Yoshino H, Ikeda T	Effect on Cardiac Function of the Right Ventricular Mid-Septal Pacing Procedure with Narrow QRS Complexes in Patients with Permanent Pacemaker Implantation.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology,	Fukuoka	2011 年 09 月	

197.

発表者名	発表標題		
Yuzawa H, Okano Y, Kobayashi K, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Yamazaki J, Ikeda T	High Incidence of Inappropriate ICD Therapies in Young Patients with Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS	Fukuoka	2011 年 09 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

(Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology		
--	--	--

199.

発表者名	発表標題		
Ando K, Shizuta S, Ikeda T, Goya M, Kimura T, Nobuyoshi M	Mortality Rate of Japanese SCD-HeFT or MADIT-II Criteria Population: Sub-Analysis from the PREVENT-SCD.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

200.

発表者名	発表標題		
Ikeda T, Abe A, Miwa Y	An Overview of Current Strategies of Risk Assessment for Sudden Cardiac Death.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

201.

発表者名	発表標題		
Ikeda T, Sakaki K, Miwa Y	T-wave alternans for identifying patients at risk.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

202.

発表者名	発表標題		
Okano Y, Kobayashi K, Yuzawa h, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Yamazaki J, Ikeda T	Single-Ring Isolation Connecting Four Ganglionated Plexi of the Posterior Left Atrium as an Alternative Procedure for Eliminating Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

203.

発表者名	発表標題		
Fujino T, Takahashi A, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J, Ikeda T	Assessment of the CHADS2 index and the Prevalence of Coronary Artery Disease in Patients with Atrial Fibrillation Desirable Ablation Procedure.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of	Fukuoka	2011年09月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Electrocardiology		
-------------------	--	--

204.

発表者名	発表標題		
<u>Ikeda T</u>	Noninvasive Risk Stratification for Sudden Death in Patients with Asymptomatic Brugada-Type Electrocardiograms		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

205.

発表者名	発表標題		
<u>Ikeda T</u>	Antiarrhythmia Drug Therapy for Atrial Fibrillation: Lessons from the JCS Guidelines.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

206.

発表者名	発表標題		
Kobayashi K, Okano Y, Fujino T, Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Yamazaki J, <u>Ikeda T</u>	Optimal Dual-Chamber Pacing Therapy Improves Cardiac Function in a Patient with Complex Congenital Heart Disease and Bradyarrhythmias.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

207.

発表者名	発表標題		
Sato H, Miwa Y, Hoshida K, Abe A, Yusu S, Kishino T, Yoshino H, Watanabe T, <u>Ikeda T</u>	No Circadian Changes of Heart Rate Turbulence Parameters in Patients with Myocardial Infarction.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 09 月	

208.

発表者名	発表標題		
Uesugi Y, Miwa Y, Miyakoshi M, Hoshida K, Tsukada T, Ishiguro H, Abe A, Mera H, Yusu S, Sato T, Yoshino H, <u>Ikeda T</u>	Effects of Age and Gender on Heart Rate Turbulence in Healthy Population.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of	Fukuoka	2011 年 09 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Electrocardiology		
-------------------	--	--

209.

発表者名	発表標題		
<u>Ikeda T</u>	Relationship between Hypertension and Atrial Fibrillation: Epidemiology and Clinical Outcome.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

210.

発表者名	発表標題		
<u>Ikeda T</u> , Yuzawa H, Sato H, Fukunaga S, Fujino T, Kobayashi K, Okano Y, Yamazaki J	Current Status of Rate Control for Clinical Management of Patients with Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

211.

発表者名	発表標題		
Kimura G, Miwa Y, Hoshida K, Taguchi H, Miyakoshi M, Kataoka M, Mera H, Yusu S, Sato T, Sato T, Yoshino H, <u>Ikeda T</u>	Assessment of Relationship between Heart Rate Turbulence Parameters and Hemodynamic Indices in Patients with Pulmonary Hypertension.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

212.

発表者名	発表標題		
Miyakoshi M, Yoshino H, Hoshida K, Miwa Y, Tsukada T, Mera H, Sato T, Nishiyama K, Shiokawa Y, <u>Ikeda T</u>	Evaluation of Risk Factors in Elderly Patients with Cerebral Embolism Due to Nonvalvular Atrial Fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
4th APHRS (Asia-Pacific Heart Rhythm Society) & 7th APAFS (Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium) & 26th Japanese Heart Rhythm Society & 28th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011年09月	

213.

発表者名	発表標題		
Turpie AGG, Hirayama A, <u>Ikeda T</u> , Murohara T	Paradigm shift on anti-coagulant therapy: Clinical benefit of factor Xa inhibitor.		
学会名	開催地	発表年月	
ESC (European Society of Cardiology) 2011	Paris, France	2011年08月	

214.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

発表者名	発表標題		
Coelho OR, Kaul U, Horowitz J, Ikeda T, de Poala AA, Ogawa H, Ma C-S, Sanchez CJ, Avezum	The Results of ARISTOTLE trial for stroke prevention in atrial fibrillation.		
学会名	開催地	発表年月	
ESC (European Society of Cardiology) 2011	Paris, France	2011 年 08 月	

215.

発表者名	発表標題		
Yusu S, Ikeda T, Mera H, Miwa Y, Yoshino H	Effect of the Right Ventricular Mid-Septal Pacing Procedure with a Narrow QRS Complex on Cardiac Function in Patients with Permanent Pacemaker Implantation.		
学会名	開催地	発表年月	
EHRA EUROPACE 2011	Madrid, Spain	2011 年 06 月	

216.

発表者名	発表標題		
Merchant FM, Zheng H, Ikeda T, Pedretti RFE, Salerno-Uriarte JA, Chow T, Chan PS, Bartone C, Hohnloser SH, Ruskin JN, Cohen RJ, Armoundas AA	Clinical Utility Of Microvolt T-wave Alternans Testing In Identifying Patients At High Or Low Risk Of Sudden Cardiac Death.		
学会名	開催地	発表年月	
32th HRS (Heart Rhythm Society)	San Francisco, U.S.A	2011 年 05 月	

217.

発表者名	発表標題		
Abe A, Yoshino H, Tsukada T, Ishiguro H, Hoshida K, Yanagisawa R, Miwa Y, Miyakoshi M, Mera H, Yusu S, Ikeda T	Comparison of Late Potentials for 24 Hours Using a Newly Developed Signal-Averaging System between Brugada Syndrome and Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy.		
学会名	開催地	発表年月	
36th ISCE (International Society of Computerized Electrocardiography)	San Jose, U.S.A	2011 年 04 月	

218.

発表者名	発表標題		
Ikeda T	Heart Rate Turbulence and Late Potentials Related to Autonomic Nerve System.		
学会名	開催地	発表年月	
36th ISCE (International Society of Computerized Electrocardiography)	San Jose, U.S.A	2011 年 04 月	

219.

発表者名	発表標題		
Ikeda T	Autonomic Nerve System and Electrophysiological Risk Stratification Indices: Overview.		
学会名	開催地	発表年月	
36th ISCE (International Society of Computerized Electrocardiography)	San Jose, U.S.A	2011 年 04 月	

220.

発表者名	発表標題		
Ikeda T	QT measures and T wave alternans.		
学会名	開催地	発表年月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

60th ACC (American College of Cardiology)	New Orleans, U.S.A	2011 年 04 月
---	--------------------	-------------

221.

発表者名	発表標題	
小原浩、高村和久、並木温、池田隆徳、山崎純一、吉原克則、伊藤博、坪田貴也、仲村敬和、岩崎泰雄	膝窩静脈瘤を合併し、肺塞栓、膝窩動脈塞栓症を発症した奇異性脳塞栓症の一例。	
学会名	開催地	発表年月
第 222 回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京	2011 年 12 月

222.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	明日からの診療に実践できる心房細動の診かたと治療。	
学会名	開催地	発表年月
第 48 回日本臨床生理学会	東京	2011 年 11 月

213.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	心臓突然死のリスク層別化：世界レベルでみた有用な指標を知る。	
学会名	開催地	発表年月
第 39 回日本救急医学会	東京	2011 年 10 月

214.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	不整脈治療における β 遮断薬の魅力を探る。	
学会名	開催地	発表年月
第 64 回日本胸部外科学会	名古屋	2011 年 10 月

215.

発表者名	発表標題	
酒井浩多、我妻賢司、矢部敬之、内田靖人、新居秀郎、天野英夫、戸田幹人、池田隆徳、山崎純一	分岐部病変のプラーク部位による臨床的予後に関する検討。	
学会名	開催地	発表年月
第 25 回日本心臓血管内視鏡学会	京都	2011 年 10 月

216.

発表者名	発表標題	
Hisatake S, Iga A, Sakai K, Saito D, Nanjo S, Yamashina S, Ikeda T, Yamazaki J	Efficacy of PDE-III inhibitor, olprinone, for acute heart failure: Study on clinical scenario.	
学会名	開催地	発表年月
The 15th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society	Kagoshima	2011 年 10 月

217.

発表者名	発表標題	
Ikeda T	Pharmacological Treatment in Patients with Heart Failure: Upstream Therapy.	
学会名	開催地	発表年月
The 15th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society	Kagoshima	2011 年 10 月

218.

発表者名	発表標題	
Okano Y, Kobayashi K, Fujino T, Yuzawa	Single-Ring Isolation Connecting Four Ganglionated Plexi of the	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

H, Sato H, Fukunaga S, Yamazaki J, Ikeda T	Posterior Left Atrium as an Alternative Procedure for Eliminating Atrial Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
The 28 th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 9 月

219.

発表者名	発表標題	
Ikeda T, Abe A, Miwa Y	Risk Stratification and Pharmacological Management in Patients with Idiopathic Ventricular Fibrillation.	
学会名	開催地	発表年月
The 28 th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 9 月

220.

発表者名	発表標題	
Nakamura Y, Kitahara K, Adachi-Akahane S, Sugiyama A	Oseltamivir lacks torsadogenic potential leading to the onset of torsades de pointes.	
学会名	開催地	発表年月
The 28 th Japanese Society of Electrocardiology	Fukuoka	2011 年 9 月

221.

発表者名	発表標題	
久武真二、伊賀淳、佐藤秀之、湯澤ひとみ、南條修二、山科昌平、池田隆徳、山崎純一	回収可能型下大静脈フィルターを超えて右心房付近へ著名な浮遊血栓を認めた一例。	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

222.

発表者名	発表標題	
高村和久、藤本進一郎、坪田貴也、伊藤博、冠木敬之、並木温、池田隆徳、山崎純一、吉原克則	心原性ショックおよび心電性心肺停止症例におけるプロカルシトニンと予後との検討。	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

223.

発表者名	発表標題	
久武真二、伊賀淳、鈴木健也、湯澤ひとみ、南條修二、山科昌平、池田隆徳、山崎純一	PDE-III 阻害薬オルピリノンの急性心不全に対する有効性：Clinical scenario による検討。	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

224.

発表者名	発表標題	
戸田幹人、我妻賢司、藤井悠一郎、内田靖人、新居秀郎、天野英夫、山崎純一	緊急 PCI 施行した急性心筋梗塞例の予後に性差が与える影響。	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

225.

発表者名	発表標題	
池田隆徳、塚田雄大、吉野秀朗、山口芳裕	全国急性冠症候群コホート研究シンポジウム：日本における心原性院外心停止発現の概日リズムの評価。	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

226.

発表者名	発表標題	
池田隆徳、湯澤ひとみ、佐藤秀之、福永俊	心房細動への最新のアプローチ：リズムコントロール治療とレートコ	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

二、藤野紀之、小林建三郎、岡野喜史、山崎純一	ントロール治療の意義.	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

227.

発表者名	発表標題	
高村和久, 藤本進一郎, 坪田貴也, 伊藤博, 冠木敬之, 並木 温, 池田隆徳, 山崎純一, 吉原克則	心原性ショック及び心原性心肺停止症例におけるプロカルシトニンと予後との検討.	
学会名	開催地	発表年月
第 59 日本心臓病学会	神戸,	2011 年 9 月

228.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	不整脈のトータルマネージメント：Ⅲ群薬の使い方から脳塞栓の予防まで.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

229.

発表者名	発表標題	
池田隆徳	心臓突然死（致死性不整脈）の予知：どの指標が有用か、今のトレンドは？	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

230.

発表者名	発表標題	
Abe A, Ikeda T, Tsukada T, Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Mera H, Yusu S, Yoshino H	Long-term prognosis of elderly patients with paroxysmal atrial tachyarrhythmias showing Brugada-type electrocardiogram by class IC antiarrhythmic drugs.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

231.

発表者名	発表標題	
Miwa Y, Ikeda T, Hoshida K, Yanagisawa R, Miyakoshi M, Abe A, Tsukada T, Ishiguro H, Mera H, Yusu S, Yoshino H	Clinical value of deceleration capacity of heart rate as a predictor of cardiac mortality in patients after myocardial infarction.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

232.

発表者名	発表標題	
Yanagisawa R, Ikeda T, Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Abe A, Ishiguro H, Tsukada T, Mera H, Yusu S, Yoshino H	Prognostic value of T-wave alternans using the modified moving average method in post-myocardial infarction patients with a reduced cardiac function.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

233.

発表者名	発表標題	
Yusu S, Ikeda T, Hoshida K, Miwa Y, Miyakoshi M, Abe A, Tsukada T, Mera H, Yoshino H	Effect on atrial function of right ventricular mid-septal pacing as physiological pacemaker procedure: A long-term study.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

234.

発表者名	発表標題	
Ashihara T, Haraguchi R, Nakazawa K, Namba T, Ikeda T, Ozawa T, Nakazawa Y, Ito H, Ito M, Horie M	**6. Roles of fibroblasts/myofibroblasts in the mechanisms of CFAEs during chronic atrial fibrillation and CFAE-targeted catheter ablation: A simulation study.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

235.

発表者名	発表標題	
Miwa Y, Ikeda T, Hoshida K, Yanagisawa R, Miyakoshi M, Abe A, Tsukada T, Ishiguro H, Mera H, Yusu S, Yoshino H	Heart rate turbulence can predict cardiac mortality in post-myocardial infarction patients with type 2 diabetes mellitus.	
学会名	開催地	発表年月
第 75 回日本循環器学会	横浜	2011 年 8 月

8. 「超小型ミニブタによる慢性炎症性疾患モデル開発」

1.

発表者名	発表標題	
山崎大樹, 安藤博之, 吉永貴志, 山本渉, 朝倉圭一, 谷口智彦, 宇田宗晃, 諫田泰成, 長田智治, 林誠治, 宮本憲優, 葛西智恵子, 田洪弘行, 犬塚隆志, 杉山篤, 澤田光平, 関野祐子	ヒト iPS 細胞由来分化心筋細胞を用いた TdP リスク評価-JiCSA60 化合物を用いて.	
学会名	開催地	発表年月
第 89 回日本薬理学会年会	横浜	2016 年 3 月

2.

発表者名	発表標題	
Wada T, Ohara H, Nakazato Y, Sugiyama A	Impact of Precordial Percussion on the Cardiac Standstill: Comparison with standard chest compression and ventricular electrical pacing in microminipig.	
学会名	開催地	発表年月
第 80 回日本循環器学会 学術集会	仙台	2016 年 3 月

3.

発表者名	発表標題	
Izumi-Nakaseko H, Nakamura Y, Wada T, Ando K, Sugiyama A	**1. The characterization of the conduction property of human iPS cell-derived cardiomyocytes sheet.	
学会名	開催地	発表年月
第 7 回日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2016 年 2 月

4.

発表者名	発表標題	
杉山篤, 中村裕二, 岸江拓也, 曹新, 和田剛, 中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎	**2. 超小型ミニブタ心筋梗塞モデルを用いた慢性心不全病態モデル開発: iPS 細胞由来心筋シート移植の有効性と有害作用の評価.	
学会名	開催地	発表年月
平成 27 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業報告会	東京	2016 年 3 月

5.

発表者名	発表標題	
和田剛, 中村裕二, 曹新, 中瀬古寛子, 安東賢太郎, 杉山篤	The efficacy and limitation of microminipig as an experimental model for assessing the drug-induced change in QT-interval.	
学会名	開催地	発表年月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 7 回日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2016 年 2 月
---------------------	----	------------

6.

発表者名	発表標題	
中瀬古 (泉) 寛子, 安東賢太郎	**3. iPS 由来心筋細胞シートの病的心筋モデルとしての特徴づけ.	
学会名	開催地	発表年月
第 147 回東邦医学会例会	東京	2016 年 2 月

7.

発表者名	発表標題	
Sugiyama A	Drug-induced QT prolongation:from ion channels and cardiac arrhythmia to regulatory guidance.	
学会名	開催地	発表年月
12th Annual meeting DIA Japan	Tokyo	2015 年 11 月

8.

発表者名	発表標題	
Tanaka K, Izumi-Nakaseko H, Li W, Cao X, Nakamura Y, Okamura M, Kishie T, Azjargal E, Wada T, Ando K, Koike K, Sugiyama A	In vivo and in vitro analysis of cardiac safety profile of a Mongolian medicinal plant Adonis mongolica with guinea pigs.	
学会名	開催地	発表年月
9Th Joint Seminar on Biomedical Sciences	Chiang Mai, Thailand	2015 年 11 月

9.

発表者名	発表標題	
Cao X, Nakamura Y, Wada T, Izumi-Nakaseko H, Ando K, Zhu B, Xu B, Takahara A, Saitoh M, Sugiyama A	Comparison of anti-ischemic effect of cilnidipine with those of nifedipine and nifedipine in the vasopressin-induced angina model of rats.	
学会名	開催地	発表年月
International Experimental Biology and Medicine Conference	Chengdu, China	2015 年 10 月

10.

発表者名	発表標題	
Sugiyama A	Current situation and future plan in Japanese activity of Kirishima Meeting.	
学会名	開催地	発表年月
Safety Pharmacology Society 15th annual meeting	プラハ, チェコ共和国	2015 年 10 月

11.

発表者名	発表標題	
杉山篤	**4. 薬物性致死性不整脈の発生をいかに予知し回避するかーiPS 細胞由来心筋の実用化例ー.	
学会名	開催地	発表年月
第 10 回医療連携学術セミナー	東京	2015 年 8 月

12.

発表者名	発表標題	
Ando K	Paradoxical use of rodent as an animal model of drug-induced emesis - Assessment method for supplemental study of gastrointestinal system in ICH S7A safety pharmacology.	
学会名	開催地	発表年月
The 4th International symposium in Chinese Safety Pharmacology Society,	Guangzhou city, Guangdong province, China	2015 年 5 月

13.

発表者名	発表標題
------	------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Ohara H, Takahara A, Kitahara K, Murakoshi N, Satoh A, Aonuma K, Ikeda T, Sugiyama A	Characterization of antiarrhythmic potential of renal denervation in the chronic atrioventricular block dogs: Comparison with that of amiodarone.		
学会名	開催地	発表年月	
第 79 回日本循環器学会学術集会	大阪	2015 年 4 月	

14.

発表者名	発表標題		
Izumi-Nakaseko H, Ando K, Sugimaya A	**5. <u>Electropharmacological characterization of the conduction property of a human iPS cell-derived cardiomyocyte sheet.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 88 回日本薬理学会年会	名古屋	2015 年 3 月	

15.

発表者名	発表標題		
Nakamura Y, Ando K, Sugiyama A	**6. <u>Relationship between mechanical contraction and field potential in the human iPS cell-derived cardiomyocyte sheets: by using motion-vector method.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 88 回日本薬理学会年会	名古屋	2015 年 3 月	

16.

発表者名	発表標題		
中瀬古(泉)寛子, 中村裕二, 安東賢太郎, 杉山篤	**7. <u>Effects of class I antiarrhythmic drugs on the electrical excitation and conduction in the human iPS cell-derived cardiomyocyte sheet.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 6 回 日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2015 年 2 月	

17.

発表者名	発表標題		
曹新, Shengfeng Lu, 小原浩, 中村裕二, 中瀬古寛子, 安東賢太郎, Bing-Mei Zhu, Bin Xu, 杉山篤	**8. <u>Evaluation of efficacy and safety profile of electroacupuncture assessed in the chronic atrioventricular block canine model with severe hypertension and heart failure.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
SAR-CAAM International Symposium of Acupuncture Research 2014	北京, 中国	2014 年 5 月	

18.

発表者名	発表標題		
中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎	**9. <u>Na⁺チャンネル装飾薬を用いた iPS 由来心筋細胞シートの特徴付け.</u>		
学会名	開催地	発表年月	
第 68 回東邦医学会総会	東京	2014 年 11 月	

19.

発表者名	発表標題		
Sugiyama A	Overview and raising issues.		
学会名	開催地	発表年月	
The 5th DIA cardiac safety workshop in Japan	Tokyo	2014 年 10 月	

20.

発表者名	発表標題		
Sugiyama A	The current trends and issues on integrated cardiac safety.		
学会名	開催地	発表年月	
The 5th DIA cardiac safety workshop in Japan	Tokyo	2014 年 10 月	

21.

発表者名	発表標題		
安東賢太郎, 中村裕二, 星合清隆, 岸江拓也, 柏木克彦, 曹新, 小原浩,	正常犬と正常ブタ間での dipyridamole 負荷後の心電図変化の差異: 側副血行路が coronary steal の原因か?.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

中瀬古(泉)寛子, 高原章, 赤坂喜清, 杉山篤		
学会名	開催地	発表年月
第 41 回比較心電図研 究会	東京	2014 年 9 月

21.

発表者名	発表標題	
Adachi-Akahane S, Izumi-Nakaseko H, Sugiyama A, I shikawa Y.	Crosscommunication between the L-type Ca ²⁺ channel and β -adrenergic receptor/adenylyl cyclase/cAMP pathway in mouse ventricular myocytes.	
学会名	開催地	発表年月
第 90 回日本生理学会大会	東京	2013 年 03 月

22.

発表者名	発表標題	
横山浩史, 中村裕二, 秋江靖樹, 齊藤裕之, 永山幸利, 星合清隆, 杉山 篤	ハロセン麻酔マイクロミニピッグを用いた薬物の臨床心血管反応性の予測.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

23.

発表者名	発表標題	
Maruyama H, Sugiyama A, Adachi-Akahane S.	Molecular mechanism linking the lipid metabolism and the cardiac pacemaker activity.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

24.

発表者名	発表標題	
山崎有希子, 中村裕二, 本川佳幸, 北原健, 小原浩, 赤羽悟美, 池田隆徳, 山崎純一, 山崎浩史, 杉山 篤	Fluvoxamine の電気薬理学的作用 : ハロセン麻酔犬モデルでの評価.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

25.

発表者名	発表標題	
小原浩, 中村裕二, 曹新, 山崎有希子, 本川佳幸, 上田直也, 北原健, 赤羽悟美, 山崎純一, 池田隆徳, 杉山 篤	アミトリプチリンの電気薬理学的特徴.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

26.

発表者名	発表標題	
赤羽悟美, 中瀬古寛子, 杉山 篤	心筋興奮収縮連関における L 型 Ca ²⁺ チャネルの Ca ²⁺ 依存性調節機構.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

27.

発表者名	発表標題	
中村裕二, 北原健, 長坂智, 曹新, 福田尚司, 恵木康壮, 赤羽悟美, 杉山 篤	ヒト内胸動脈スパズムモデルに対する臨床使用可能な血管拡張薬の作用の比較.	
学会名	開催地	発表年月
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

28.

発表者名	発表標題		
北原健, 中村裕二, 恒岡弥生, 赤羽悟美, 田中光, 山崎浩史, 高原章, 山崎純一, 池田隆徳, 杉山 篤	オセルタミビルの心行動態および電気生理学的作用		
学会名	開催地	発表年月	
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月	

29.

発表者名	発表標題		
本川佳幸, 中村裕二, 曹新, 小原浩, 山崎有希子, 北原健, 原田拓真, 矢來幸弘, 赤羽悟美, 山崎浩史, 杉山 篤	Dronedarone の電気薬理学的作用 : amiodarone との比較.		
学会名	開催地	発表年月	
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月	

30.

発表者名	発表標題		
泉康雄, 川口博明, 田和正志, 淵上淳一, 岡真優子, 塩田正之, 杉山 篤, 岡村富夫, 岩尾洋	内皮障害モデルの作成と心血管機能評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 86 回日本薬理学会年会	福岡	2013 年 03 月	

31.

発表者名	発表標題		
杉山 篤, 中村裕二	安全性評価から偶然見つかった新しい薬効について		
学会名	開催地	発表年月	
第 4 回日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2013 年 02 月	

32.

発表者名	発表標題		
中村裕二, 北原健, 小原浩, 矢來幸弘, 曹新, 山崎有希子, 赤羽悟美, 杉山篤	Fingolimodの心臓電気薬理作用 : ハロセン麻酔犬モデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 4 回日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2013 年 02 月	

33.

発表者名	発表標題		
矢來幸弘, 北原健, 中村裕二, 原田拓真, 赤羽悟美, 杉山 篤	S1P受容体修飾薬の安全性心臓薬理試験 : ハロセン麻酔モルモットモデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 4 回日本安全性薬理研究会学術年会	東京	2013 年 02 月	

34.

発表者名	発表標題		
Maruyama H, Izumi-Nakaseko H, Ito M, Sugiyama A, Adachi-Akahane S	Contribution of fatty acid metabolism to the regulation of cardiac pacemaker activity.		
学会名	開催地	発表年月	
第 29 回国際心臓研究学会	Fukuoka, Japan	2012 年 10 月	

35.

発表者名	発表標題		
Hayashi T, Matsumoto S, Sakaguchi Yi, Sakamoto K, Morikawa H, Sato S, Hombo	Assessment of clinical proarrhythmic risks of bepridil, verapamil and tolterodine using the chronic atrioventricular block monkey		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

T, Sugiyama A	model.		
学会名	開催地	発表年月	
Safety Pharmacology Society 12th Annual Meeting	Phenyx, USA	2012 年 10 月	

36.

発表者名	発表標題		
Sugiyama A.	False positive and false negative results of QT effects based on non-clinical data.		
学会名	開催地	発表年月	
3rd DIA Cardiac Safety Workshop in Japan	Tokyo, Japan	2012 年 05 月	

37.

発表者名	発表標題		
Sugiyama A.	Assessing the drug-induced electrophysiological effects on the heart.		
学会名	開催地	発表年月	
3rd DIA Cardiac Safety Workshop in Japan	Tokyo	2012 年 05 月	

38.

発表者名	発表標題		
Chiba K, Takasuna K, Sanbuissho A, Sugiyama A	Which pathological condition is the most critical for druginduced torsades de pointes?		
学会名	開催地	発表年月	
11 th Safety Pharmacology Society	Innsbruck, Austria	2011 年 09 月	

39.

発表者名	発表標題		
Sugiyama A	**10. Proarrhythmia in vivo model of microminipigs: Comparison with those of other animal models.		
学会名	開催地	発表年月	
4th Asia Pacific Heart Rhythm Society	Fukuoka, Japan	2011 年 09 月	

40.

発表者名	発表標題		
山崎有希子, 中村裕二, 本川佳幸, 北原健, 小原浩, 赤羽悟美, 池田隆徳, 山崎純一, 杉山 篤	Fluvoxamineの電気薬理学的作用: ハロセン麻酔犬モデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 127 回 日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 10 月	

41.

発表者名	発表標題		
小原浩, 本川佳幸, 中村裕二, 北原健, 山崎有希子, 原田拓真, 矢來幸弘, 赤羽悟美, 池田隆徳, 山崎純一, 杉山 篤	Dronedarone および amiodarone の心房・心室有効不応期に対する作用: ハロセン麻酔犬モデルでの比較.		
学会名	開催地	発表年月	
第 127 回 日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 10 月	

42.

発表者名	発表標題		
矢來幸弘, 北原健, 中村裕二, 原田拓真, 赤羽悟美, 杉山 篤	Fingolimod (FTY720) の心臓電気薬理作用: ハロセン麻酔モルモットモデルの有用性.		
学会名	開催地	発表年月	
第 29 回 日本心電学会学術集会	千葉	2012 年 10 月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

43.

発表者名	発表標題		
杉山 篤	薬物性 QT 延長症候群の予知と予防.		
学会名	開催地	発表年月	
第 29 回日本心電学会学術集会	千葉	2012 年 10 月	

44.

発表者名	発表標題		
杉山 篤	薬物性心機能毒性：基礎と臨床		
学会名	開催地	発表年月	
第61回日本感染症学会東日本地方会学術集会 第51回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	東京	2012 年 10 月	

45.

発表者名	発表標題		
杉山 篤	**11. 薬物性心毒性：動物からヒトへのトランスレーショナルリサーチ.		
学会名	開催地	発表年月	
第 2 回レギュラトリーサイエンス学会	東京	2012 年 09 月	

46.

発表者名	発表標題		
長 茂, 山田陽一郎, 深瀬広幸, 杉山 篤	日本人および白人健康成人男子におけるモキシフロキサシンの QT/QTc間隔への影響の検討.		
学会名	開催地	発表年月	
医療薬学フォーラム 2012	福岡	2012 年 07 月	

47.

発表者名	発表標題		
伊藤雅方, 山梨義英, 豊田優, 中瀬古寛子, 杉山篤, 鈴木洋史, 高田龍平, 赤羽悟美	脂質転移タンパク質STARD10の胆汁酸調節への関与.		
学会名	開催地	発表年月	
第 126 回日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 07 月	

48.

発表者名	発表標題		
上田直也, 中村裕二, 北原健, 本川佳幸, 山口有希子, 赤羽悟美, 杉山 篤	選択的IKrチャンネル遮断の生体心に対する作用.		
学会名	開催地	発表年月	
第 126 回日本薬理学会関東部会	東京	2012 年 07 月	

49.

発表者名	発表標題		
本川佳幸, 中村裕二, 北原健, 原田拓真, 矢來幸弘, 赤羽悟美, 杉山 篤	Dronedaroneの電気薬理学的作用：ハロセン麻酔犬モデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	
第 126 回日本薬理学会関東部会,	東京	2012 年 07 月	

50.

発表者名	発表標題		
三森義崇, 中村裕二, 北原健, 上田直也, 山口 有希子, 本川佳幸, 赤羽悟美, 福田尚司, 杉山 篤	選択的IKrチャンネル遮断薬E-4031およびクラスIII抗不整脈薬の心血管系に対する電気薬理学的作用：ハロセン麻酔犬モデルでの評価.		
学会名	開催地	発表年月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

第 27 回日本不整脈学会学術大会	横浜	2012 年 07 月
-------------------	----	-------------

51.

発表者名	発表標題	
杉山 篤, 上田直也, 中村裕二	**12. 薬物性致死的不整脈予測モデル	
学会名	開催地	発表年月
第 59 回日本実験動物学会総会	大分	2012 年 05 月

52.

発表者名	発表標題	
伊藤雅方, 中瀬古寛子, 杉山 篤, 赤羽悟美	Steroidogenic acute regulatory protein-related lipid transfer (START) domain containing 10 (STARD10) is involved in the positive modulation of PPAR α mediated gene regulation.	
学会名	開催地	発表年月
第 35 回日本分子生物学会年会	福岡	2012 年 12 月

53.

発表者名	発表標題	
杉山 篤	**13. 動物からヒトへのトランスレーショナルリサーチ：薬物性QT延長症候群モデルおよび慢性持続性心房細動モデル	
学会名	開催地	発表年月
第 153 回日本獣医学会学術集会	埼玉	2012 年 03 月

54.

発表者名	発表標題	
中村裕二, 北原健, 佐々木梨江子, 赤羽悟美, 田中光, 高原章, 杉山 篤	オセルタミビルはQT延長症候群を誘発しない	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

55.

発表者名	発表標題	
北原健, 中村裕二, 恒岡弥生, 鈴木早苗, 赤羽悟美, 田中光, 高原章, 山口 純一, 杉山 篤	オセルタミビルの生体に対する電気薬理学的作用	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

56.

発表者名	発表標題	
丸山 博子, 中瀬古 寛子, 伊藤 雅方, 杉山 篤, 赤羽 悟美	心房の自動能制御に脂肪酸が及ぼす影響	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

57.

発表者名	発表標題	
秋江靖樹, 斉藤裕之, 永山幸利, 星合清隆, 中村裕二, 杉山 篤	**14. マイクロミニピッグの安全性薬理心血管系評価ツールとしての可能性	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

58.

発表者名	発表標題	
杉山 篤, 中村裕二, 北原健, 斉藤裕之, 秋江靖樹	**15. 「マイクロミニピッグ」を用いた薬物性心電図変化の総合的評価	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

59.

発表者名	発表タイトル	
齊藤裕之, 秋江靖樹, 中村裕二, 星合清隆, 永山幸利, 齋藤明美, 杉山 篤	**16. <u>Bepridilの心血管系に対する作用 : * (マイクロミニピッグ) を用いて</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回日本安全性薬理研究会	東京	2012 年 02 月

60.

発表者名	発表タイトル	
中村裕二, 北原健, 赤羽悟美, 杉山 篤	**17. <u>Oseltamivir の電気薬理学的作用 : In vivo モデル動物での評価</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 3 回日本安全性薬理研究会	東京	2012 年 02 月

61.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤	QT 延長誘発薬の非臨床試験における成績	
学会名	開催地	発表年月
瀬戸内国際臨床試験カンファレンス	愛媛	2011 年 10 月

62.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤	**18. <u>日本発超小型ミニブタ : 医学研究ツールとしての有用性</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 13 回応用薬理シンポジウム	千葉	2011 年 09 月

63.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤	心毒性をいかに回避するか : 臨床試験および非臨床試験の果たす役割	
学会名	開催地	発表年月
安全性評価研究会 2011年八ヶ岳フォーラム	長野	2011 年 09 月

64.

発表者名	発表タイトル	
桑野康一, 松下大輔, 平山知子, 本門忠文, 軸菌竜也, 亀之園剛, 和泉博之, 洲加本孝幸, 福崎好一郎, 永田良一, 川口博明, 泉康雄, 杉山 篤	**19. <u>薬物性 QT 延長評価モデル動物としてのマイクロミニピッグの有用性</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 38 回日本トキシコロジー学会学術年会	横浜	2011 年 07 月

65.

発表者名	発表タイトル	
安東賢太郎, 中村裕二, 齊藤裕之, 秋江靖樹, 桑原正貴, 杉山 篤, 局博一	**20. <u>マイクロミニピッグにおける心電図パラメータの日内変動</u>	
学会名	開催地	発表年月
第 38 回日本トキシコロジー学会 学術年会	横浜	2011 年 07 月

66.

発表者名	発表タイトル	
秋江靖樹, 齊藤裕之, 星合清隆, 永山幸利, 中村裕二, 杉山 篤	**21. <u>マイクロミニピッグを用いた心毒性評価—心電図解析におけるイヌ及びサルとの比較</u>	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

学会名	開催地	発表年月
第 38 回日本トキシコロジー学会 学術年会	横浜	2011 年 07 月

67.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤, 中村裕二, 斉藤裕之, 秋江靖樹	**22. 「ブタを用いた非臨床毒性試験」マイクロミニピッグを用いた慢性房室ブロックモデル (薬物性致死的不整脈予測モデル) の開発	
学会名	開催地	発表年月
第 38 回日本トキシコロジー学会 学術年会	横浜	2011 年 07 月

68.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤	交感神経からみた降圧治療 - N 型 Ca チャネル遮断薬の魅力に迫る -	
学会名	開催地	発表年月
第 54 回日本腎臓学会学術総会	横浜	2011 年 06 月

69.

発表者名	発表タイトル	
杉山 篤	**23. 循環薬理における動物からヒトへの外挿: 薬物性 QT 延長症候群モデルおよび慢性持続性心房細動モデル	
学会名	開催地	発表年月
第 124 回日本薬理学会関東部会	東京	2011 年 06 月

70.

発表者名	発表タイトル	
中村裕二, 北原健, 赤羽悟美, 杉山 篤	Oseltamivir および d-sotalol hydrochloride の催不整脈作用 - 慢性完全房室ブロック犬を用いての評価 -	
学会名	開催地	発表年月
第 124 回日本薬理学会関東部会	東京	2011 年 06 月

71.

発表者名	発表タイトル	
北原健, 中村裕二, 赤羽悟美, 山崎純一, 杉山 篤	Oseltamivir の電気薬理学的作用: ハロセン麻酔イヌモデルでの評価	
学会名	開催地	発表年月
第 124 回日本薬理学会関東部会	東京	2011 年 06 月

72.

発表者名	発表タイトル	
田邊思帆里, 伊藤雅方, 中瀬古寛子, 佐藤陽治, 杉山 篤, 赤羽悟美	Stard10/PCTP-L ノックアウトマウスを用いた機能解析	
学会名	開催地	発表年月
日本ケミカルバイオロジー学会 第 6 回年会	東京	2011 年 05 月

73.

発表者名	発表タイトル	
中瀬古寛子, 杉山 篤, 赤羽悟美	Uncharged amino acids at ascending limbs of the pore region are involved in the Ca ²⁺ selectivity of the L-type Ca ²⁺ channel CaV1.3.	
学会名	開催地	発表年月
The 89th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Matsumoto	2012 年 03 月

74.

発表者名	発表タイトル
------	--------

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

Izumi-Nakaseko H, <u>Sugiyama A</u> , <u>Adachi-Akahane S</u>	L-type Ca ²⁺ channel (LTCC) activity and the response to beta-AR stimulation are negatively regulated by Ca ²⁺ -induced Ca ²⁺ -release (CICR) in cardiac myocytes.	
学会名	開催地	発表年月
第 85 回日本薬理学会年会	京都	2012 年 03 月

75.

発表者名	発表標題	
Maruyama H, Ito M, Izumi-Nakaseko H, <u>Sugiyama A</u> , <u>Adachi-Akahane S</u>	Involvement of lipid binding protein in the modulation of parasympathetic receptor signaling in atria.	
学会名	開催地	発表年月
The 28th Annual Meeting of the International Society for Heart Research Japanese Section	Tokyo	2011 年 12 月

76.

発表者名	発表標題	
Izumi-Nakaseko H, <u>Sugiyama A</u> <u>Adachi-Akahane S</u>	Cross-regulation between Ca ²⁺ and beta-AR signaling of LTCC in atrial and ventricular myocytes.	
学会名	開催地	発表年月
The 7th Joint Seminar on Biomedical Sciences	Hatyal, Thailand	2011 年 10 月

77.

発表者名	発表標題	
Kitahara K, Nakamura Y, Yamazaki J, <u>Adachi-Akahane S</u> , <u>Sugiyama A</u>	Electropharmacological effects of oseltamivir assessed in the halothane-anesthetized in vivo canine model.	
学会名	開催地	発表年月
第 28 回日本心電学会学術集会	福岡	2011 年 09 月

78.

発表者名	発表標題	
Nakamura Y, Kitahara K, <u>Adachi-Akahane S</u> , <u>Sugiyama A</u>	Oseltamivir lacks torsadogenic potential leading to the onset of torsades de pointes.	
学会名	開催地	発表年月
第 28 回日本心電学会学術集会	福岡	2011 年 09 月

79.

発表者名	発表標題	
杉山 篤	高血圧治療薬としてのカルシウム拮抗薬の進化と分類	
学会名	開催地	発表年月
第 76 回日本循環器学会学術集会	福岡	2012 年 03 月

9. 「超小型ミニブタ iPS 細胞移植による慢性心不全の治療法創生」

1.

発表者名	発表標題	
<u>Kobayashi H</u> , Tai T, Nagao K, Nakajima K	Genome-wide DNA methylation analysis of testis tissue from azoospermic men.	
学会名	開催地	発表年月
IFFS/JSRM international meeting 2015	Yokohama	2015 年 4 月

2.

発表者名	発表標題	
Tamura K, Nagao K, Tai T, <u>Kobayashi H</u> , Nakajima K	Microsurgical excision of urethral hair rots in patients with a history of surgical treatment of hypospadias during childhood.	
学会名	開催地	発表年月
IFFS/JSRM international meeting 2015	Yokohama	2015 年 4 月

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

3.

発表者名	発表標題		
小林秀行, 田村公嗣, 松井幸英, 齋藤雅亨, 中西雄亮, 笠原瑞希, 田井俊宏, 永田雅人, 山辺史人, 鈴木九里, 中祝江, 永尾光一, 中島耕一	**1. ラインフェルター症候群由来 iPS 細胞からの拍動性心筋細胞の誘導.		
学会名	開催地	発表年月	
第 103 回日本泌尿器科学会総会	金沢	2015 年 4 月	

4.

発表者名	発表標題		
小林秀行	**2. 精子幹細胞の制御機構.		
学会名	開催地	発表年月	
第 103 回日本泌尿器科学会総会	金沢	2015 年 4 月	

5.

発表者名	発表標題		
Matsushita K, Tai T, Nagao K, Mulhall J	Penile rehabilitation following radical prostatectomy is not common among Japanese. Urological Association members.		
学会名	開催地	発表年月	
16th World Meeting on Sexual Medicine	Sao Paulo, Brazil	2014 年 10 月	

6.

発表者名	発表標題		
Nagao K, Tai T, Saigou R, Tanaka N, Kobayashi H, Nakajima K	Effectiveness of surgical treatment for Peyronie's Disease.		
学会名	開催地	発表年月	
16th World Meeting on Sexual Medicine	Sao Paulo, Brazil	2014 年 10 月	

7.

発表者名	発表標題		
Tai T, Nagao K, Kobayashi H, Tanaka N, Nakajima K	Controlled clinical study of effectiveness and adverse effects of imipramine and amoxapine for treatment of retrograde ejaculation.		
学会名	開催地	発表年月	
16th World Meeting on Sexual Medicine	Sao Paulo, Brazil	2014 年 10 月	

8.

発表者名	発表標題		
Nagao K	Role of varicocele repair for male infertility in the era of assisted reproductive technologies.		
学会名	開催地	発表年月	
GTAUF2014 and APSMHA2014 conference (lecture)	Beijing, China	2014 年 10 月	

9.

発表者名	発表標題		
Suzuki K, Oka Y, Tai T, Yamabe F, Takasugi K, Kamimura S, Kobayashi H, Tanaka N, Nagao K, Nakajima K	Clinical Investigation of Severe Upper Urinary Tract Infection (Excluding Acute Obstructive Pyelonephritis due to Urolithiasis).		
学会名	開催地	発表年月	
32th Congress of the Societe Internationale d'Urologie	Fukuoka	2012 年 10 月	

10.

発表者名	発表標題		
Nagao K, Kimura M, Shimura S, Kobayashi H, Tai T, Baba S, Chikano Y, Kano M	Profiling Characteristics of Men Who Use Phosphodiesterase Type-5 Inhibitor Based on Purchasing Patterns-Data from the Nationwide Japanese Population.		
学会名	開催地	発表年月	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

The 15th World Meeting of the International Society for Sexual Medicine	Chicago, USA	2012年08月
---	--------------	----------

11.

発表者名	発表標題	
Nagao K, Kimura M, Shimura S, Kobayashi H, Tai T, Baba S, Chikano Y, Kano M	Exploring the Factors Influence a Man's Confidence in his Ability to Satisfy a Partner during Intercourse - Data from Web-Based 7710 Japanese Cohort.	
学会名	開催地	発表年月
The 15th World Meeting of the International Society for Sexual Medicine	Chicago, USA	2012年08月

12.

発表者名	発表標題	
Hu J, Nagao K, Tai T, Ozaki Y, Kobayashi H, Nakajima K	A randomized crossover trial of amoxapine and vitamin B12 in the treatment of retrograde ejaculation.	
学会名	開催地	発表年月
The 5th Greatwall Translational Andro-Urology Forum,	Haikou, China	2012年 3月

13.

発表者名	発表標題	
Hu J, Nagao K, Tai T, Ozaki Y, Kobayashi H, Nakajima K	Experiences in treating idiopathic scrotal drooping.	
学会名	開催地	発表年月
The 5th Greatwall Translational Andro-Urology Forum,	Haikou, China	2012年 3月

14.

発表者名	発表標題	
Nagao K, Hu J, Tai T, Kobayashi H, Ozaki Y, Nakajima K	Microsurgical varicocelectomy at Toho University.	
学会名	開催地	発表年月
The 5th Greatwall Translational Andro-Urology Forum,	Haikou, China	2012年 3月

15.

発表者名	発表標題	
Nagao K, Hu J, Tai T, Ozaki Y, Kobayashi H, Nakajima K	Microsurgical excision of urethral hair roots in patients with a history of surgical treatment of hypospadias during childhood.	
学会名	開催地	発表年月
The 13th Biennial meeting of Asia-Pacific Society for Sexual Medicine	Kaohsiung, China	2011年 11月

16.

発表者名	発表標題	
Kobayashi H, Nagao K, Oka Y, Nagata M, Yamabe F, Takasugi K, Kamimura S, Suzuki K, Tanaka N, Nakajima K	**3. Introduction of VASA, DAZL, DAZ3, and BOULE in the direct reprogramming of germ cells from fibroblasts derived from adult testis tissue.	
学会名	開催地	発表年月
The 106rd Annual Meeting of American Urological Association	Washington	2011年 5月

17.

発表者名	発表標題	
小林秀行, 田井 俊宏, 尾崎 由美, 永尾 光一, 中島 耕一	男性不妊症および性機能障害患者における性交回数検討	
学会名	開催地	発表年月
第 23 回日本性機能東部総会	仙台	2012年 03月

18.

発表者名	発表標題	
------	------	--

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

小林秀行, 田井 俊宏, 永尾光一, 中島耕一	非閉塞性無精子症患者に対する HCG 療法の試み	
学会名	開催地	発表年月
第 57 回日本生殖医学会学術講演会・総会	長崎	2012 年 11 月

19.

発表者名	発表標題	
松井幸英, 田井俊宏, 尾崎由美, 小林秀行, 鈴木九里, 中島耕一, 片桐由起子, 永尾光一	男性不妊外来で偶然発見された精巣腫瘍 3 例	

20.

発表者名	発表標題	
尾崎由美, 永尾光一, 田井俊宏, 小林秀行, 澤田喜友, 竹内康晴, 黒田加奈美, 関戸哲利, 中島耕一	不妊症を契機に発見された 47, XYY 症候群の 1 例	
学会名	開催地	発表年月
第 57 回日本生殖医学会総会	長崎	2012 年 11 月

21.

発表者名	発表標題	
田井俊宏, 永尾光一, 尾崎由美, 小林秀行, 中島耕一, 片桐由起子	尿道狭窄に対する口腔粘膜移植術の検討	
学会名	開催地	発表年月
第 14 回関東アンドロロジーカンファレンス	東京	2012 年 09 月

22.

発表者名	発表標題	
木村将貴, 志村 哲, 小林秀行, 田井俊宏, 千鹿野 裕, 馬場志郎, 狩野宗英, 永尾光一	薬剤購入パターンによる PDE5 阻害薬使用者の特長に関する検討: インターネットによる全国調査データベースより	
学会名	開催地	発表年月
第 23 回日本性機能学会総会	東京	2012 年 09 月

23.

発表者名	発表標題	
尾崎由美, 永尾光一, 胡 劍麟, 田井俊宏, 小林秀行, 澤田喜友, 竹内康晴, 黒田加奈美, 関戸哲利, 中島耕一	女性性機能外来の実践と現況, 鼎談、女性の健康と社会活動	
学会名	開催地	発表年月
第 23 回日本性機能学会総会 (ワークショップ)	東京	2012 年 09 月

24.

発表者名	発表標題	
田井俊宏, 永尾光一, 胡 劍麟, 尾崎由美, 笠原瑞希, 岡 祐輔, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 鈴木九里, 田中祝江, 中島耕一	治療に良好な反応を示した 47XXY モザイクの一例	
学会名	開催地	発表年月
第 31 回日本アンドロロジー学会総会	神戸	2012 年 06 月

25.

発表者名	発表標題	
中島陽太, 青木 洋, 齋藤雅亨, 清水俊博, 中西雄亮, 松井幸英, 笠原瑞希,	IDC コイルおよびマイクロコイルによる塞栓術を行った多発性腎動静脈瘻の一例	

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

岡 祐輔, 田井俊宏, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 田中祝江, 鈴木九里, 永尾光一, 中島耕一, 白神伸之	
学会名	開催地
第 609 回日本泌尿器科学会東京地方会	東京
	発表年月
	2012 年 06 月

26.

発表者名	発表標題
鈴木九里, 笠原瑞樹, 岡祐輔, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 田中祝江, 田井俊宏, 永尾光一, 中島耕一	重症上部尿路感染症 (結石性腎盂腎炎を除く) の検討
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

27.

発表者名	発表標題
笠原瑞希, 岡 祐輔, 田井俊宏, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 鈴木九里, 田中祝江, 中島耕一, 永尾光一	当院で経験した精巣腫瘍腎腫瘍
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

28.

発表者名	発表標題
小林 秀行	**4. 幹細胞研究を基盤とした男性不妊症のメカニズムの解明および新規治療の開発
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

29.

発表者名	発表標題
小林秀行, 胡 剣麟, 田井 俊宏, 尾崎 由美, 永尾 光一	精索静脈瘤手術と補助的生殖医療
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

30.

発表者名	発表標題
小林秀行, 笠原瑞希, 岡祐輔, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 田中祝江, 鈴木九里, 永尾光一, 中島耕一	非閉塞性無精子症患者に対する HCG 療法による高 FSH 値の改善
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

31.

発表者名	発表標題
胡 剣麟, 田井俊宏, 尾崎由美, 小林秀行, 中島耕一, 永尾光一	尿道内発毛に対する顕微鏡下尿道内毛根切除術の考案.
学会名	開催地
第 100 回日本泌尿器科学会総会	横浜
	発表年月
	2012 年 04 月

32.

発表者名	発表標題
小林秀行, 笠原瑞希, 岡祐輔, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 田中祝江, 鈴木九	**5. 精巣組織由来繊維芽細胞への VASA, DAZL, DAZ3, BOULE 導入によるダイレクトリプログラミングの試み.

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

里, 永尾光一, 中島耕一			
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本生殖医学会学術講演会	横浜	2011 年 12 月	

33.

発表者名	発表標題		
永尾光一, 小林秀行, 田井 俊宏, 尾崎 由美, 中島耕一, 吉田 淳, 三浦一陽	日帰り顕微鏡下低位精索静脈 瘤手術における精管静脈結紮.		
学会名	開催地	発表年月	
第 56 回日本生殖医学会学術講演会	横浜	2011 年 12 月	

34.

発表者名	発表標題		
小林秀行, 岡祐輔	**6. 293FT 細胞への OCT4, SOX2, NANOG, LIN28 の導入による ES 様細胞の誘導.		
学会名	開催地	発表年月	
第 70 回日本癌学会学術総会	名古屋	2011 年 10 月	

35.

発表者名	発表標題		
Hu Jian-Lin, 田井俊宏, 尾崎由美, 小林秀行, 中島耕一, 永尾光一	尿道内発毛に対する顕微鏡下尿道内毛 根切除術の試み.		
学会名	開催地	発表年月	
第 22 回日本性機能学会	倉敷	2011 年 9 月	

36.

発表者名	発表標題		
小林秀行, 笠原瑞希, 岡祐輔, 田井俊宏, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 田中祝江, 鈴木九里, 永尾光一, 中島耕一	男性透析患者における性機能障害の検討.		
学会名	開催地	発表年月	
第 22 回日本性機能学会	倉敷	2011 年 9 月	

37.

発表者名	発表標題		
永尾光一, 田井俊宏, 小林秀行, 尾崎由美, 中島耕一, 三浦一陽	当科における日帰り顕微鏡下低位精索静脈瘤手術.		
学会名	開催地	発表年月	
第 30 回日本アンドロロジー学会総会	東京	2011 年 7 月	

38.

発表者名	発表標題		
小林秀行, 笠原瑞希, 岡祐輔, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 田中祝江, 鈴木九里, 永尾光一, 中島耕一	**7. 生殖細胞発現因子導入によるダイレクトリプログラミングの試み.		
学会名	開催地	発表年月	
第8回泌尿器科再建再生研究会	京都	2011 年 6 月	

39.

発表者名	発表標題		
鈴木九里, 岡祐輔, 石渡誉郎, 神戸茂樹, 永田雅人, 山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 田中祝江, 原啓, 永尾光一,	女性急性単純性膀胱炎患者の生活環境調査.		

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

石井延久			
学会名	開催地	発表年月	
第 99 回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2011 年 4 月	

40.

発表者名	発表標題		
神戸茂樹, 永尾光一, 中島耕一, 田井俊宏, 尾崎由美, 石渡誉郎, 岡祐輔, 永田雅人, 山辺史人, 高杉啓一, 上村修一, 小林秀 行, 鈴木九里, 田中祝江, 原 啓, 石井延 久	陰莖海綿体自己注射と PDE5 阻害薬の併用治療の 2 例.		
学会名	開催地	発表年月	
第 21 回日本性機能学会東部総会	札幌	2011 年 4 月	

14. <研究成果の公開状況> (上記以外)

- 【東邦大学プレスリリースNo. 668】 膜透過型蛋白質を用いて神経幹細胞 遊走能を直接増強させることに成功 - 脳か持つ自己再生能力を活かした神経再生医療へ 応用に期待 - 浜之上 誠 (平成28年4月13日) (http://www.toho-u.ac.jp/press/2016_index/036188.html)

シンポジウム・学会等の実施状況、インターネットでの公開状況等
<既に実施しているもの>

[事業報告会]

1. 第 1 回：平成 23 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」報告会 (平成 24 年度 3 月 23 日、東京)
2. 第 2 回：平成 24 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」報告会 (平成 25 年度 3 月 22 日、東京)
3. 第 3 回：平成 25 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」報告会 (平成 26 年度 3 月 25 日、東京) (http://www.med.toho-u.ac.jp/lab/sentan_lab_index/srfpu/20140116.html)
4. 第 4 回：平成 26 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」報告会 (平成 27 年度 3 月 25 日、東京) (http://www.med.toho-u.ac.jp/lab/sentan_lab_index/srfpu/20150128.html)
5. 第 5 回：平成 27 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」報告会 (平成 28 年度 3 月 25 日、東京) (http://www.med.toho-u.ac.jp/lab/sentan_lab_index/srfpu/20160325.html)

[学外公開学術講演会]

- 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「慢性炎症性疾患の再生医学を応用した革新的予防法・治療法創成の拠点形成」学術講演会 (平成 25 年度 11 月 30 日、東京)「再生医学と組織リモデリングによる治療法開発の最前線」(http://www.med.toho-u.ac.jp/event/e2013_index/info20130729.html)

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

<これから実施する予定のもの>

本事業に関連した報告会の今後の実施予定はない。

14 その他の研究成果等

特許出願（特願2013-019723）：中型動物の動物保定台を開発した(2013年2月4日)

(<http://www.cenken.co.jp/pig/pig.htm>)

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

15 「選定時」及び「中間評価時」に付された留意事項及び対応

<「選定時」に付された留意事項> (平成 23 年 5 月 25 日)

「研究者の数が多いため、研究成果の集約に留意されたい。」

➡<対応>

- ① 研究代表者(赤坂喜清)は、8 班の研究成果を有機的に結合させるため、合計 5 回の事業報告会を開催し、各グループの進捗状況を定期的に点検し研究計画の迅速な立案に役立てた。
- ② プロジェクト検討委員会(赤坂喜清、高松 研医学部長、川合眞一 副医学部長)を年間 2 回開催し、各班のグループ責任者との研究進捗状況を詳細に検討し、各グループの研究計画の立案や共同研究の迅速な調整を図った。
- ③ 各グループ間の緊密な連絡によりチーム間連携の研究を企画した。例 1. 超小型ミニブタ由来 iPS 細胞の超小型ミニブタ移植実験(小林班と杉山班) 例 2. bFGF による脊髄癒痕抑制実験(赤坂班と浜之上班)。
- ④ 公開学術講演会(http://www.med.toho-u.ac.jp/event/e2013_index/info20130729.html)を開催し、学外研究者との相互討論から多面的知見の集約に努め、研究の進展方向の決定に役立てた。

<「中間評価時」に付された留意事項への対応> (平成 26 年 5 月 13 日)

1. 評価者 1 からの指摘事項

- 1) 研究組織について：研究分野が多岐にわたっているもののしっかりした連携をもって統合できる体制を整えようとしている組織編成はよい。
- 2) 研究プロジェクトの新歩状況：研究成果が上がってきているので市民公開講座もあると良い。

➡<対応> 市民公開講座を企画したが、資金や時間的問題から実施は見送られた。

- 3) その他：真の連携や結合が図られているか。その見直しは出来ているか。外部評価に対する対処について具体的書かれない。

➡<対応> ①研究の進展方向や実施すべき軌道修正を全員が協議し、それぞれの研究班の方向性の共通点や相違性を明確にして、共通性があれば共同研究による研究の効率化を図った。②研究進捗度に差異が生じた際は、目標の見直しや軌道修正とともに新たな研究方法の採用による研究継続から再度目標達成に努めた。③外部評価のコメントには研究方向の軌道修正や新規方法の選択を全員が討論し次年度の研究成果に反映させた。

2. 評価者 2 からの指摘事項

- 1) 研究組織について：4 つの目標で 8 班での研究者で構成された研究体制が整備されている。
- 2) 研究施設設備等について：設備および初年度購入した設備が活用されている。
- 3) 研究プロジェクトの新歩状況：4 つの目標間で各々の成果の達成度に若干の差が認められる。

➡<対応> ①班員全員が研究成果の情報の共有化を図り、研究進捗度に遅延の原因、軌道修正に伴う新たな研究方法の選択を検討し効率的な目標達成を図った。

- 4) 総合所見：下半期でのテーマの絞り込みと成果の包括的な解析がより求められる

➡<対応> ①研究班の方向性の共通性があれば共同研究による研究の効率化を図った。②成果が期待できる研究課題は研究時間を増加させて更なる研究成果を追求した。②研究成果の乏しい研究課題は、そのなかで成果の期待できる分野を選択し集中的な研究継続から可能なかぎり目標達成に努めた。

法人番号	131061
プロジェクト番号	S1101016

16 施設・装置・設備・研究費の支出状況(実績概要)

(千円)

年度・区分	支出額	内 訳						備 考
		法 人 負 担	私 学 助 成	共同研 究機関 負担	受託 研究等	寄付金	その他()	
平成 23 年度	施設	101,563	76,273	25,290				
	装置	65,000	32,500	32,500				
	設備	72,754	25,648	47,106				
	研究費	19,999	11,000	8,999				
平成 24 年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	20,000	10,000	10,000				
平成 25 年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	20,018	10,018	10,000				
平成 26 年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	20,011	10,011	10,000				
平成 27 年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	20,001	10,001	10,000				
総 額	施設	101,563	76,273	25,290	0	0	0	0
	装置	65,000	32,500	32,500	0	0	0	0
	設備	72,754	25,648	47,106	0	0	0	0
	研究費	100,029	51,030	48,999	0	0	0	0
総 計	339,346	185,451	153,895	0	0	0	0	

※ 最終年度は予定額。

法人番号

131061

17 施設・装置・設備の整備状況 (私学助成を受けたものはすべて記載してください。)

《施設》(私学助成を受けていないものも含め、使用している施設をすべて記載してください。) (千円)

施設名称	整備年度	研究施設面積	研究室等数	使用者数	事業経費	補助金額	補助主体
マイクロニフタ実験飼育施設	H23	73 m ²	2	200 人/週	41,662	8,657	私学助成
RI施設	H23	145 m ²	7	5 人/週	59,901	16,633	私学助成
研究基盤センター	H21	450 m ²	14	100 人/週	147,000	73,500	私学助成
実験動物センター	S57	1,510 m ²	43	200 人/週	-	-	
中型動物実験区域	H23	66 m ²	2	40 人/週	41,239	8,429	私学助成
総合研究部実験センター	H16	614 m ²	15	200 人/週	52,866	-	
生理学講座(細胞生理学)	S47	272 m ²	13	34 人/週	-	-	
薬理学講座	S47	272 m ²	14	28 人/週	-	-	
免疫学講座	S47	272 m ²	8	28 人/週	34,000	-	
病理学講座	S55	586 m ²	29	45 人/週	-	-	

※ 私学助成による補助事業として行った新增築により、整備前と比較して増加した面積

_____ m²

《装置・設備》(私学助成を受けていないものは、主なもののみを記載してください。)

(千円)

装置・設備の名称	整備年度	型番	台数	稼働時間数	事業経費	補助金額	補助主体
(研究装置) FACSAria III セルソーター	H23	FACSAria III	1	25 h/週 h	65,000	32,500	私学助成
(研究設備) マイクロフォーカスX線CT画像 解析システム	H23	InspeXio SMX-100CT	1	30 h/週	33,589	20,996	私学助成
共焦点レーザー顕微鏡 システム	H23	AIRsi Ti-E	1	30 h/週	39,165	26,110	私学助成
FACSCanto II フローサイトメーター	H20	FACSCanto II	1	20 h/週	16,800	11,200	私学助成
自動細胞分析分離システム	H10		1	25 h/週	39,900	26,600	私学助成
Real-time PCR システム	H21		1	30 h/週	7,245	4,830	私学助成
Amersham Imager 600	H26		1	30 h/週	8,964	5,530	私学助成
(情報処理関係設備)				h h h			

18 研究費の支出状況

(千円)

年 度	平成 23 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	17,782	試薬・実験機器・実験材料・文具	17,782	牛胎児血清・フィタ細胞試薬・実験動物・細胞株・液体窒素・文具類
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	0			
印 刷 製 本 費	0			
旅 費 交 通 費	677	学会参加・海外共同研究打合せ	677	日本癌学会・米国心不全学会ほか
報 酬 ・ 委 託 料 ()	0			
計	18,459			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼 務 職 員)				
教 育 研 究 経 費 支 出 計	0			
設 備 関 係 支 出 (1 個 又 は 1 組 の 価 格 が 5 0 0 万 円 未 満 の も の)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	1,540	実験用機器	1,540	遠心器・冷凍冷蔵庫・PCRサーマルサイクラー
図 書				
計	1,540			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

年 度	平成 24 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	17,200	試薬・実験機器・実験材料・文具	17,200	グライナー・電気泳動槽・試薬・実験動物・細胞株・液体窒素・文具類
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	44	送料	44	検体搬送費・物品送料
印 刷 製 本 費	90	報告書・ポスター 作成	90	報告書印刷製本・報告会ポスター作成
旅 費 交 通 費	400	学会参加費等	400	日本分子生物学会・日本不整脈学会・アンチロジニ学会 他
報 酬 ・ 委 託 料	1,500	委託費用	1,500	中型動物飼育・検体検査 (RNAアレン解析) ほか
(雑 費 他)	82	雑費用	82	論文掲載料・英文論文校正・諸会費・備品修理ほか
計	19,316			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼 務 職 員)				
教 育 研 究 経 費 支 出 計	0			
設 備 関 係 支 出 (1 個 又 は 1 組 の 価 格 が 5 0 0 万 円 未 満 の も の)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	684	実験用機器	684	メディカルフリーザー・チタンライトルーペ
図 書				
計	684			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号	131061
------	--------

年 度	平成 25 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	11,825	試薬・実験機器・実験材料・文具	11,825	rno-miR-350・液体窒素・試薬・実験動物・細胞株・文具類
光 熱 水 費				
通 信 運 搬 費	13	送料	13	商品送料(MMPペレット・実験動物 ほか)
印 刷 製 本 費	19	報告書・ポスター 作成	19	公開講座ポスター作成 ほか
旅 費 交 通 費	489	学会参加費等	489	APSS学会 アントロロジー学会 ほか
報 酬 ・ 委 託 料	2,067	委託費用	2,067	英文校正・検体検査・データ解析 ほか
(機 器 備 品 修 理 費 他)	153	雑費用	153	備品修理・諸会費・公租公課・雑費 ほか
計	14,566			
ア ル パ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)				
教育研究経費支出				
計	0			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	5,452	実験用機器	5,452	小動物用麻酔装置・フリーズ超低温槽
図 書				NDコンバータ付入力BOX、皮膚粘弾性測定装置、
計	5,452			グリーンベンチ卓上型
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

年 度	平成 26 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	16,458	試薬・実験機器・実験材料・文具	16,458	MMPペレット・液体窒素・試薬・研究機材・文具類ほか
光 熱 水 費				
通 信 運 搬 費	12	送料	12	商品送料(MMPペレット ほか)
印 刷 製 本 費	9	報告書・ポスター 作成	9	公開講座ポスター作成 ほか
旅 費 交 通 費	191	学会参加費等	191	CBI学会 ほか
報 酬 ・ 委 託 料	332	委託費用	332	データ解析 ほか
(雑 費 他)	206	雑費用	206	諸会費・公租公課・雑費 ほか
計	17,208			
ア ル パ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)				
教育研究経費支出				
計	0			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	2,803	実験用機器	2,803	皮膚粘弾性測定装置、リコーダーWR3320A-4H、
図 書				冷却遠心機、スイングローター
計	2,803			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号	131061
------	--------

年 度	平成 27 年度			
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	15,099	試薬・実験機器・実験材料・文具	15,099	実験動物、細胞株、試薬、文具類 ほか
光 熱 水 費				
通 信 運 搬 費	52	送料	52	商品送料(細胞送料 ほか)
印 刷 製 本 費	40	報告書・ポスター 作成	40	研究報告書 ほか
旅 費 交 通 費	679	学会参加費等	679	創傷治療学会、循環器学会 ほか
報 酬 ・ 委 託 料	1,436	委託費用	1,436	データ解析、委託検査代 ほか
(機器備品修理費他)	704	雑費用	704	諸会費・公租公課・雑費 ほか
計	18,010			
ア ル パ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)				
教育研究経費支出				
計	0			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	2,003	実験用機器	2,003	リコーダーWR3320A-4H、サーシトロン・デュアルDualEMC
図 書				
計	2,003			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			